

2026 年度 高知大学 入学者選抜に 関する要項

2025 年 11 月 7 日改訂版

- ・ P20【大学入学共通テスト・個別試験等の配点等】欄について追加しました（変更箇所は赤字表記）（7 月 11 日変更）。
- ・ 医学部医学科の募集人員を変更しました（変更箇所は赤字表記）（11 月 7 日変更）。

お 知 ら せ

本学への出願方法は、インターネット出願です。（但し、「国際バカロレア選抜」「社会人選抜」「私費外国人留学生選抜」「編入学試験」は紙出願です。）

「編入学試験」を除く学部入試の学生募集要項については冊子を作成しませんので、次のホームページから閲覧またはダウンロードしてください。

高知大学受験生サイト（<https://nyusi.kochi-u.jp/nyushi>）

目 次

I 「アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）」及び 「入学者選抜方法と評価する能力」	1
II 入学者選抜関係日程の概要	13
III 入学定員及び募集人員	15
IV 入学者選抜方法等	
1 一般選抜	17
2 学校推薦型選抜 I（大学入学共通テストを課さない選抜）	28
3 学校推薦型選抜 II（大学入学共通テストを課す選抜）	35
4 総合型選抜 I（大学入学共通テストを課さない選抜）	43
5 国際バカロレア選抜（総合型選抜 I（大学入学共通テストを課さない選抜））	50
6 総合型選抜 II（大学入学共通テストを課す選抜）	54
7 社会人選抜	57
8 私費外国人留学生選抜	58
V 障害等のある者の出願	60
VI 個別の入学資格審査	63
VII 入学試験に関する情報開示	64
1 受験者の入学試験成績に関する事項	
2 入学者選抜実施状況資料	
3 問題・正解・解答例、出題意図	
VIII 2025 年度入学者選抜実施状況	65
IX 2027 年度（2026 年度実施）入学者選抜の変更点（予告）	66
X 学生募集要項の公表及び請求方法	
1 学生募集要項の公表時期	81
2 学生募集要項等の請求方法	82
◎ 交通アクセス・各キャンパス案内図	84
入試情報	裏表紙

I 「アドミッション・ポリシー(入学者受入方針)」及び「入学者選抜方法と評価する能力」

高知大学のアドミッション・ポリシーは、学部・学科(コース)ごとに、「養成する人物像」、「求める学生像及び高等学校段階で修得すべき内容・水準」及び「入学者選抜方法と評価する能力」を示しています。

なお、「入学者選抜方法と評価する能力」では、選抜ごとの「選抜方法と評価する能力の対応表」を示します。表にある◎、○は、当該能力の重要度又はそれを評価する比重・目安を示しています(◎は必須・最重要項目、○は必要・重点項目)。なお、◎、○は配点の内訳とは直接関係はありません。

また、「主体性・多様性・協働性」は、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を示します。

なお、養成する人物像で記載されている「〇〇学」の具体的な内容については、各学部のホームページ等を参照してください。

人文社会科学部

■人文社会科学科

人文科学コース

【養成する人物像】

人文科学コースは、「哲学・心理学・歴史学・地理学・文学等について学び、グローバルな視点とローカルな視点の双方から過去や現在の地域文化の特性や、人間そのものに対する考え方について批判的な精神をもって理解し、社会・文化の維持・発展に貢献できる人間」を養成します。

【求める学生像及び高等学校段階で修得すべき内容・水準】

知識・技能

1. 高等学校等で諸科目を幅広く履修し、基礎的な素養を身につけている。
2. 主として言語による、正確で論理的な表現技術を身につけている。

思考力・判断力・表現力

1. 物事を論理的にとらえ、判断し、的確に表現することができる。

主体性・多様性・協働性

1. 地域の文化や地域社会の課題、人類全体に共通の普遍的な問題について、主体的に考えることができる。

関心・意欲

1. 地域の文化や地域社会の課題、人類全体に共通の普遍的な問題について関心を持ち、取り組む意欲がある。

【入学者選抜方法と評価する能力】

一般選抜（前期）

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
大学入学共通テスト		◎	○		
個別試験等	英語	○	◎		
	活動報告書			◎	○

一般選抜（後期）

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
大学入学共通テスト		◎	○		
個別試験等	面接		○	○	◎

学校推薦型選抜 I（大学入学共通テストを課さない選抜）

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
英語		◎	○		
面接			○	◎	○

国際社会コース

【養成する人物像】

国際社会コースは、「多様な視点を持って異文化・自文化を理解し、グローバル化に対する批判的考察ができる人間、また言語・文化・社会に関する専門的知識と外国語の運用能力を生かして、グローバル社会の課題解決に貢献できる人間」を養成します。

【求める学生像及び高等学校段階で修得すべき内容・水準】

知識・技能

1. 多面的価値を学び、理解するのに必要な基礎的な素養、すなわち高等学校卒業程度の教科学習(「外国語」を中心とした教科)に関する知識があり理解している。
2. 十分な日本語力と高等学校卒業程度の外国語によるコミュニケーションの技能を有する。

思考力・判断力・表現力

1. 得られた知識を相互に関連づけて、グローバル化に対して批判的に思考し判断する能力を有する。
2. 目的や場面に応じて適切な言語とメディアを選択し、学習の成果などを発信する基礎的な力を有する。

主体性・多様性・協働性

1. 言語・文化・社会の多様性を理解しつつ、多様な人々と協働する能力を身につけている。
2. 世界の人々と積極的に関わり、地域社会に貢献する素養がある。

関心・意欲

1. 世界における多様な言語・文化・社会の問題に強い関心を持っている。
2. 世界の人々と積極的に関わり、地域社会に貢献する意欲がある。

【入学者選抜方法と評価する能力】

一般選抜（前期）

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
大学入学共通テスト		◎	○		
個別試験等	英語	○	◎		
	活動報告書			○	○

一般選抜（後期）

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
大学入学共通テスト		◎	○		
個別試験等	面接			○	◎

学校推薦型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない選抜）

選抜区分	選抜方法	評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
A選抜	小論文	○	◎		
	面接		◎	○	◎
B選抜	面接	◎	◎	○	○

国際バカロレア選抜（大学入学共通テストを課さない選抜）

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
書類審査		◎	○	○	○
面接			◎	○	◎

社会科学コース

【養成する人物像】

社会科学コースは、「経済学・経営学・会計学・法学・政治学等について複合的に学び、社会制度に関する幅広い教養と専門的能力を身につけ、社会的問題に実践的に取り組む人間」を養成します。

【求める学生像及び高等学校段階で修得すべき内容・水準】

知識・技能

1. 高等学校等で履修した科目について基礎的事項を理解している。

思考力・判断力・表現力

1. 社会に存在する諸問題の解決に、専門・学際両面から取り組むための論理的思考力と理性的判断力を有する。
2. 社会や自己を客観的にとらえることができ、自己の考えを他者に伝わるように表現することができる。

主体性・多様性・協働性

1. 社会科系の科目を積極的に学び、読書等を通じ、社会制度、社会問題に関する知識や理解力を高める習慣を獲得している。

関心・意欲

1. 経済・経営・会計・法律・政治等に関連する社会的なことからについて、主体的に課題を発見し、多面的に課題を検討して、課題の解決に取り組む意思がある。

【入学者選抜方法と評価する能力】

一般選抜（前期）A選抜・B選抜

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
大学入学共通テスト		◎	○		
個別試験等	小論文	○	◎		
	活動報告書			○	○

学校推薦型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない選抜）

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
口頭試問を含む面接		○	◎	○	○

学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す選抜）

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
大学入学共通テスト		◎	○		
個別試験等	面接		◎	○	○

総合型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない選抜）

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
第1次選抜	講義理解力試験（小論文）	○	◎		
	志願理由書		◎	○	◎
第2次選抜	※講義理解力試験（小論文）	○	◎		
	ゼミナール活動適性試験	○	◎	◎	○
	作文	○	◎	○	
	面接		◎	○	○

※第1次選抜で実施した講義理解力試験の結果を利用

教育学部

■学校教育教員養成課程

【養成する人物像】

教育学部は、「幅広い教養と教育（保育）とりわけ学校教育に関する総合的な理解を持ち、教育を深く探求して学校教育をめぐる諸課題の解決に向け適切な方策を考えることができ、確かな教育実践に必要な高い技能と豊かなコミュニケーション能力を身につけ、教育（保育）という営みや教師（保育士）という仕事に深い関心を持って主体的に探求し続けることができる人材」を養成します。

【求める学生像及び高等学校段階で修得すべき内容・水準】

知識・技能

1. 教育実践に必要とされる教養や教育（保育）に関する専門的な知識を修得するために必要となる幅広い分野の基礎知識として、高等学校卒業程度の各教科に関する知識・技能を有する。

思考力・判断力・表現力

1. 学習した内容を理解する能力を有する。
2. 論理的に思考する能力を有する。
3. 学習した内容を状況や課題に応じて活用したり応用したりする能力を有する。
4. 学習した内容や自分の意見を他者に対して適切に表現する能力を有する。

主体性・多様性・協働性

1. 主体的に課題を探究する態度を有する。
2. 課題について多様な考え方を有する態度を有する。
3. さまざまな人々と協働して課題を解決する態度を有する。

関心・意欲

1. 教育(保育)と教師(保育士)の仕事について強い関心を持っている。
2. 教職への意欲を持っている。

【入学者選抜方法と評価する能力】

幼児教育コース

一般選抜（前期日程）

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
大学入学共通テスト		◎	○		
個別試験等	科目試験・小論文	○	◎		
	活動報告書・志願理由書			○	○

学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す選抜）

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
大学入学共通テスト		◎	○		
個別試験等	小論文	○	◎		
	集団討論		○	◎	○

教育科学・教科教育※・特別支援教育コース

一般選抜（前期日程）

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
大学入学共通テスト		◎	○		
個別試験等	科目試験・小論文	○	◎		
	活動報告書・志願理由書			○	○

学校推薦型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない選抜）

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
講義理解力試験		◎	◎		
問題解決型グループワーク		○	◎	◎	○
振り返り作文		○	◎		

学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す選抜）

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
大学入学共通テスト		◎	○		
個別試験等	小論文	○	◎		
	集団討論		○	◎	○

国際バカロレア選抜（大学入学共通テストを課さない選抜）

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
書類審査		◎	◎		○
面接			○	○	◎

※教科教育コースは募集枠の名称であり、2年次から「国語教育・社会科教育・数学教育・理科教育・英語教育・技術教育・家庭科教育・音楽教育・美術教育・保健体育教育の各コース」のいずれかに分属されます。

音楽教育・美術教育コース

一般選抜（前期日程）

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
大学入学共通テスト		◎	○		
個別試験等	実技	◎	◎		
	活動報告書・志願理由書			○	○

保健体育教育コース

一般選抜（前期日程）

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
大学入学共通テスト		◎	○		
個別試験等	実技、実技実績調べ	◎	◎		
	活動報告書・志願理由書			○	○

学校推薦型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない選抜）

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
講義理解力試験		◎	◎		
問題解決型グループワーク		○	◎	◎	○
振り返り作文		○	◎		
実技、実技実績調べ		◎	◎		

科学技術教育コース

一般選抜（前期日程）

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
大学入学共通テスト		◎	○		
個別試験等	口頭試問を含む面接	○	◎	◎	◎

国際バカロレア選抜（大学入学共通テストを課さない選抜）

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
書類審査		◎	◎		○
面接			○	○	◎

理工学部

■数学物理学科

【養成する人物像】

数学物理学科は、「数学や物理学の専門的知識の修得を通じて理学の発展・活用に寄与し、またグローバル化する社会の中で自ら課題を発見し解決する能力を身に付けることで社会に貢献できる人材」を養成します。

【求める学生像及び高等学校段階で修得すべき内容・水準】

知識・技能

- 高等学校卒業程度の教科学習に関する知識を有する。特に、専門的知識を習得するために必要な事項として、数学あるいは理科についての内容を十分に理解している。

思考力・判断力・表現力

- 筋道を立てて物事をとらえることができる。
- 知識・技能を活用して自ら課題を見出し、その解決に向けた探求心が旺盛である。
- 自分が理解している事柄をわかりやすく説明することができる。

主体性・多様性・協働性

- 問題に対し、自ら考えて解法を導くことができる。
- 課題解決に向け、多様な人々と協力する意志を持っている。

関心・意欲

- 数や図形、自然の現象等に関連する数学的な事柄に関心があり、理解を深めたり課題を解決したりする意欲がある。あるいは、自然の現象や法則に関心があり、実験等を通じて理解を深めたり課題を解決したりする意欲がある。
- 基礎理学として数学又は物理学を学ぶ意欲がある。
- 数学又は物理学を核として学びつつ、他の分野にも知見を広める意欲がある。
- 科学と社会のあり方、科学と倫理のあり方について関心がある。

【入学者選抜方法と評価する能力】

一般選抜（前期日程）

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
大学入学共通テスト		◎	○		
個別試験等	科目試験	○	◎		
	活動報告書			○	○

一般選抜（後期日程）

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
大学入学共通テスト		◎	○		
個別試験等	面接	○	◎	○	◎

学校推薦型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない選抜）

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
プレゼンテーション（数学）を含む面接		○	◎	○	◎

学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す選抜）

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
大学入学共通テスト		◎	○		
個別試験等	口頭試問を含む面接	○	◎	○	◎

総合型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない選抜）

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
第1次選抜	志願理由書・調査書	◎	○	○	○
第2次選抜	口頭試問を含む面接	○	◎	○	◎

国際バカロレア選抜（大学入学共通テストを課さない選抜）

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
書類審査		◎	○	○	○

■情報科学科

【養成する人物像】

情報科学科では、情報科学、情報工学の「計算システム科学」「ソフトウェア科学」「数理情報学」分野に関する知識及び情報処理能力を涵養し、その学習を通して論理的思考力を身に付け、さらには高度情報化社会で活躍できる人材を養成します。

【求める学生像及び高等学校段階で修得すべき内容・水準】

知識・技能

- 理工学を学ぶにあたって必要となる数学・理科・英語の基礎的事項に関して、高等学校卒業程度の知識があり理解している。
- 情報科学の専門知識を修得するために必要となる幅広い分野の基礎知識として、高等学校卒業程度の教科学習に関する事項の知識と理解及び技能を有する。

思考力・判断力・表現力

- 知識・技能を活用して自ら課題を見出し、その解決に向け

- た探求心が旺盛である。
- 物事の考え方や判断基準を科学的・論理的にとらえることが得意である。
 - 自分が理解している事柄をわかりやすく説明することができる。

主体性・多様性・協働性

- 主体的に学習に取り組む習慣が身についている。
- さまざまな考え方を持つ人とコミュニケーションを取り、良好な協働ができる。

関心・意欲

- コンピュータや情報通信技術、アルゴリズムやプログラミング等に関心がある。
- 情報科学の広範な学問分野を学び、高度情報化社会で活躍する意欲がある。
- 情報科学を核として学びつつ、数学や物理学にも知見を広める意欲がある。

【入学者選抜方法と評価する能力】

一般選抜（前期日程）

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
大学入学共通テスト		◎	○		
個別試験等	科目試験	○	◎		
	活動報告書			○	○

一般選抜（後期日程）

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
大学入学共通テスト		◎	○		
個別試験等	面接		○	○	○

学校推薦型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない選抜）

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
口頭試問を含む面接		○	◎	◎	◎

■生物科学科

【養成する人物像】

生物科学科は、「地球生態系から分子レベルの現象を扱う生物科学(分類学、生態学、古生物学、比較生化学、細胞生物学、生理学、分子進化学の諸分野)についての専門的な知識と野外調査・室内実験の技術を修得し、生物及び生物圏の在り方をさまざまな視点から理解し、生物多様性の保全や自然環境教育などを通じて広く社会に貢献できる人材」を養成します。

【求める学生像及び高等学校段階で修得すべき内容・水準】

知識・技能

- 理学を修得するために必要となる数学・理科・英語の基礎的事項に関して、高等学校卒業程度の知識を有する。
- 生物科学の専門知識を修得するために必要となる幅広い分野の基礎知識として、高等学校卒業程度の教科学習に関する知識があり理解している。

思考力・判断力・表現力

- 知識・技能を活用して自ら課題を見出し、その解決に向け

た探求心が旺盛である。

- 物事の考え方や判断基準を科学的・論理的にとらえることが得意である。
- 自分が理解している事柄をわかりやすく説明することができる。
- 事実を客観的にとらえ、合理的な思考により判断できる。

主体性・多様性・協働性

- 科学に関する活動等で自然に親しみ、多様な人々と社会の課題解決に取り組むことができる。
- 実験や演習等に積極的に取り組むことができる。

関心・意欲

- 生物科学のさまざまな分野に興味・関心がある。
- 自然法則や科学者・科学技術者の守るべき倫理、あるいは応用的な科学を学ぶことに興味・関心がある。

【入学者選抜方法と評価する能力】

一般選抜（前期日程）

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
大学入学共通テスト		◎	○		
個別試験等	科目試験	○	◎		
	活動報告書			◎	○

一般選抜（後期日程）

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
大学入学共通テスト		◎	○		
個別試験等	面接		◎	○	◎

学校推薦型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない選抜）

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
口頭試問を含む面接		◎	◎	○	○

国際バカロレア選抜(大学入学共通テストを課さない選抜)

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
書類審査				◎	○
口頭試問を含む面接		◎	◎	○	○

■化学生命理工学科

【養成する人物像】

化学生命理工学科では、化学反応の仕組み、物質の性質や機能、細胞でおこる生命現象の仕組みを分子や原子レベルで理解するための基礎的な知識と技術を身につけます。それらを土台として、化学と生命科学分野の基礎科学研究及び環境、エネルギー、材料科学、ナノテクノロジー、バイオテクノロジー等に関連する応用研究に取り組むことで、社会で生じるさまざまな問題の解決へとつながる革新的な発見や発展に貢献できる研究者・技術者を養成します。

【求める学生像及び高等学校段階で修得すべき内容・水準】

知識・技能

1. 理工学を学ぶために必要となる幅広い分野の基礎知識として、高等学校卒業程度の教科学習に関する知識を有する。
2. 化学や生命科学の専門知識を修得するために必要となる理科・数学・英語の基礎的事項に関して、高等学校卒業程度の知識・技能を身につけ、理解している。

思考力・判断力・表現力

1. 知識・技能を活用して自ら問題点を見出し、原因の探求、解決に向けた課題設定ができる。
2. 自然現象や身近な現象を科学的に考えることができる。
3. 物事を筋道立てて考えたり、明確な基準や理由をもって判断したりすることが得意である。
4. 自分が理解している事柄を他者にわかりやすく説明することができる。

主体性・多様性・協働性

1. 自己の向上及び自身に関わるさまざまな活動の活性化のために、自ら学び、行動できる。
2. 持続可能な社会を実現するためのさまざまな課題に目を向け、化学や生命科学の領域から主体的に課題に取り組むことができる。
3. 多様な人々と協働して、学んだり、さまざまな課題に取り組んだりすることができる。

関心・意欲

1. 科学が好きで、特に化学反応や生命現象に強い関心がある。
2. 化学や生命科学の分野で、新たな法則や原理を発見したり、新たな技術、材料等を開発したりする意欲がある。

【入学者選抜方法と評価する能力】

一般選抜（前期日程）

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
大学入学共通テスト		◎	○		
個別試験等	科目試験	○	◎		
	活動報告書			◎	○

一般選抜（後期日程）

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
大学入学共通テスト		◎	○		
個別試験等	面接		◎	○	◎

学校推薦型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない選抜）

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
口頭試問を含む面接		◎	◎	○	○

■地球環境防災学科

【養成する人物像】

地球環境防災学科では、地球を作っている物質の特性、自然現象や災害が起こる仕組み、災害から命や暮らしを守る方法について教育・研究を行い、自然共生型社会の構築・発展に貢

献できる人材を養成します。

【求める学生像及び高等学校段階で修得すべき内容・水準】

知識・技能

1. 理工学を学ぶにあたって必要となる数学・理科・英語の基礎的事項に関して、高等学校卒業程度の知識を有する。
2. 地球の成り立ち、自然現象の発生機構、防災の専門知識を修得するために必要な基礎的事項を理解している。
3. 実験や実習等に積極的に取り組むための知識や技能を有する。

思考力・判断力・表現力

1. 知識・技能を活用して自ら課題を見出し、その解決に向けた探究心が旺盛である。
2. 物事の考え方や判断基準を科学的・論理的にとらえることが得意である。
3. 自分が理解している事柄をわかりやすく説明することができる。

主体性・多様性・協働性

1. 自然法則や科学者・技術者の守るべき倫理、あるいは応用的な科学を主体的に学ぶことができる。
2. 科学に関する活動等で自然に親しみ、多様な人々と社会の課題解決に取り組むことができる。

関心・意欲

1. 自然との共生や国土の望ましい姿を模索・創造するための広い視野と柔軟な思考力を身に付ける意欲がある。

【入学者選抜方法と評価する能力】

一般選抜（前期日程）

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
大学入学共通テスト		◎	○		
個別試験等	科目試験	○	◎		
	活動報告書			◎	○

一般選抜（後期日程）

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
大学入学共通テスト		◎	○		
個別試験等	面接			○	◎

学校推薦型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない選抜）

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
口頭試問を含む面接		◎	◎	○	○

総合型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない選抜）

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
第1次選抜	志願理由書・調査書	○	○	○	◎
第2次選抜	理解力と思考力を問う面接	○	◎	○	◎

医学部

■医学科

【養成する人物像】

医学科は、「医師としての倫理観を持ち、良識のある社会人として行動する力」、「コミュニケーション力」、「医学に関する幅広い知識と技能」、「地域の医療へ貢献する力」及び「自ら真理の探求に取り組む力」を有する人材を養成します。

【求める学生像及び高等学校段階で修得すべき内容・水準】

知識・技能

1. 医学知識を修得するために必要となる幅広い分野の基礎知識として、高等学校卒業程度の教科学習に関する知識があり理解している。

思考力・判断力・表現力

1. 学習及び生活の中で自ら積極的に問題点をみつけ、解決方法を探求することができる。
2. 科学的根拠に基づいて問題を分析的、批判的に考え、解決することができる。
3. 自分の考えを口頭あるいは図や文章を用いて筋道を立てて明確に表現することができる。

主体性・多様性・協働性

1. 自発的で継続的な自己学習の習慣を身につけている。
2. 協調性や他者への深い思いやりがあり、周囲と良好なコミュニケーションをとることができる。
3. 多様な背景を持つ他者の能力を認め、同じ目標に向かって協働することができる。

関心・意欲

1. 生命科学や医学・医療に対する強い関心・意欲を持っている。
2. 高知県内の地域医療に従事する強い意欲がある。(一般選抜[地域枠(大学独自枠)]、学校推薦型選抜Ⅱ、総合型選抜Ⅰ)
3. 社会的な善悪に対して正しく判断し、自分の発言や行動に責任を持つことができる。

【入学者選抜方法と評価する能力】

一般選抜（前期日程）

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
大学入学共通テスト		◎	○		
個別試験等	科目試験(数・理)	○	◎		
	科目試験(外国語)	◎	○		
	面接		○	◎	◎

学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す選抜）

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
大学入学共通テスト		◎	○		
個別試験等	面接		◎	◎	◎

総合型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない選抜）

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
第1次選抜	総合問題	◎	◎		
	英語資格・検定試験	◎	◎		
第2次選抜	態度・習慣領域評価	○	◎	◎	◎
	面接		◎	◎	◎

国際バカロレア選抜（大学入学共通テストを課さない選抜）

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
書類審査		◎	◎	○	◎
面接			◎	◎	◎

■看護学科

【養成する人物像】

看護学科は、「教養と専門知識を基盤に、人々のところに寄り添う感性と高い社会正義感を持って、看護実践能力を用いて、人々の健康と生活を支えることができる看護専門職」を養成します。同時に、「社会に生じてくるさまざまな問題を看護の視点でとらえ、多職種と協働しながら課題の解決に向かうよう自ら学びつづけ、よりよい医療・看護を実現できる革新力を備えた人材」の養成を目指します。

【求める学生像及び高等学校段階で修得すべき内容・水準】

知識・技能

1. 看護学・医学を学ぶために必要な高等学校卒業程度の知識があり、特に理科・社会・英語の基礎学力を有する。

思考力・判断力・表現力

1. 筋道を立てて物事を考え、的確な判断ができる。
2. 自分の考えや思いをわかりやすく伝えることができる。

主体性・多様性・協働性

1. 他の人と協働しながら、主体的に取り組むことができる。
2. 自ら学び、挑戦することができる。
3. 相手の立場に敬意を払い、関心を持って他の人の話を聞くことができる。

関心・意欲

1. 人と触れ合うことが好きであり、人々の健康と生活を支える専門職を目指す意欲がある。

【入学者選抜方法と評価する能力】

一般選抜（前期日程）

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
大学入学共通テスト		◎	○		
個別試験等	面接		◎	◎	◎

一般選抜（後期日程）

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
大学入学共通テスト		◎	○		
個別試験等	面接		◎	◎	◎

学校推薦型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない選抜）

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
総合問題		◎	○		
面接			◎	◎	◎

農林海洋科学部

■農林資源科学科

【養成する人物像】

農林資源の有効活用による持続的社会的創造を志し、俯瞰的に問題を分析し、データに基づく論理的考察により問題の本質を把握し、実際に行動し解決できる能力を有するとともに、農林業に関わるフィールド科学または農芸化学に関する専門的な知識、並びに農林業に関わるデータサイエンスや DX の知識を併せもった持続的資源開発・利用、環境保全等の諸課題や6次産業化に対応できる実践力のある専門人材を育成します。

【求める学生像及び高等学校段階で修得すべき内容・水準】

知識・技能

- 農学分野の専門知識と技能修得や一次産業の DX に資するデータサイエンスに関する専門的な知識を修得するために必要となる、高等学校卒業程度の教科学習に関する知識・技能を有する。

思考力・判断力・表現力

- 物事を客観的にとらえることができる。
- 得られた知識及びデータに基づいて科学的・論理的思考ができる。
- 言語や数式を使って、自らの思考を適切に表現することができる。

主体性・多様性・協働性

- さまざまな人と意見交換ができる。
- 主体的に学ぶことができる。
- チームの一員として積極的に活動することができる。

関心・意欲

- 専門分野の修得について強い関心と意欲を持っている。
- DX やスマート化、先端的生物生産・利用、生産基盤の環境保全の様々な問題について高い関心を持ち、地域の課題を率先的に学び、解決に導く意欲がある。
- データサイエンスに関する専門的な知識を修得し、地域社会及び国際社会に役立つ研究・開発を行う意欲がある。

フィールド科学コース

【養成する人物像】

フィールド科学コースは、「農林業や環境保全を対象としたフィールド科学に関連する専門的知識、技術及び研究能力を有し、地域の課題を積極的に解決できる人材」を養成します。

【求める学生像及び高等学校段階で修得すべき内容・水準】

知識・技能

- 専門的知識の修得に必要な、高等学校卒業程度の教科学習に関する知識・技能を有する。

思考力・判断力・表現力

- 物事を客観的にとらえることができる。
- 得られた知識及びデータに基づいて科学的・合理的思考ができる。
- 正しい日本語、英語や数式を使って、自らの思考を適切に表現することができる。

主体性・多様性・協働性

- さまざまな人と意見交換ができる。
- 主体的に学ぶことができる。
- チームの一員として積極的に活動することができる。

関心・意欲

- 常識ある社会人として社会に貢献する熱意がある。
- 地域の課題を率先的に学び、解決に導く意欲がある。
- 専門分野の修得について強い関心と意欲を持っている。

【入学者選抜方法と評価する能力】

一般選抜（前期日程）

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
大学入学共通テスト		◎	○		
個別試験等	科目試験	○	◎		
	活動報告書			○	○

一般選抜（後期日程）

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
大学入学共通テスト		◎	○		
個別試験等	面接		◎	○	◎

学校推薦型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない選抜）

選抜区分	選抜方法	評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
一般推薦 A 選抜	口頭試問を含む面接	○	◎	○	◎
一般推薦 B 選抜 (地域志向枠)	小論文	◎	◎	○	○
	口頭試問を含む面接	○	◎	○	◎
専門推薦	口頭試問を含む面接	○	◎	○	◎

総合型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない選抜）

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
第1次選抜	志願理由書・調査書	○	○	○	◎
第2次選抜	模擬授業及び小論文	○	◎	○	○
	口頭試問を含む面接	○	◎	○	◎

総合型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す選抜）

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
大学入学共通テスト		◎	○		
個別試験等	口頭試問を含む面接	○	◎	○	◎
	志願理由書・調査書	○	○	○	◎

国際バカロレア選抜（大学入学共通テストを課さない選抜）

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
書類審査		◎	○	○	○
面接			○	◎	◎

農芸化学コース

【養成する人物像】

農芸化学コースは、「化学的視点から生物生産を幅広く探求でき、その成果を地域社会への貢献に結びつけられる人材」を養成します。

【求める学生像及び高等学校段階で修得すべき内容・水準】

知識・技能

1. 農芸化学分野、DX に関連する専門的知識を修得するために必要となる幅広い分野の基礎知識として、高等学校卒業程度の教科学習に関する知識があり理解している。

思考力・判断力・表現力

1. 生命現象や食料生産の場を取り巻く生態系を化学的に観察し考察できる。
2. 言語や数式を使って、自らの思考を適切に表現する基礎が身につけている。
3. 物事を客観的にとらえることができる。
4. 得られた知識やデータに基づいて科学的・論理的に判断することができる。

主体性・多様性・協働性

1. 主体的かつ真摯に学ぶことができる。
2. さまざまな分野に興味を持つ多様な人々と、理科、特に化学や生物に関する意見交換ができる。
3. チームの一員として主体的・積極的に活動することができる。
4. 豊かな感性、高い倫理観、協調性を備えている。

関心・意欲

1. 生命現象を遺伝子やタンパク質、生理的な機能を持つ化合物など、目に見えない分子レベルで解明し、我々の生活に役立つ技術開発を行う意欲がある。
2. 食料生産の場を取り巻く生態系に興味を持ち、土壌・動物・植物・微生物が果たす役割について理解し、生活環境の改善に役立てる意欲がある。
3. 健康増進作用など食品が持つ多様な機能について学ぶ意欲がある。
4. 生命現象、生物が生産する物質、食と健康、多様な生態系などを化学の視点から理解し、それらを利用して地域社会に役立つ研究・開発を行う意欲がある。
5. データサイエンスに関する専門的な知識を修得し、地域社会及び国際社会に役立つ研究・開発を行う意欲がある。
6. 理科、特に化学や生物に関連する学問や研究に強い関心を持っている。

【入学者選抜方法と評価する能力】

一般選抜（前期日程）

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
大学入学共通テスト		◎	○		
個別試験等	面接		○	○	◎

一般選抜（後期日程）

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
大学入学共通テスト		◎	○		
個別試験等	面接		○	○	◎

学校推薦型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない選抜）

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
口頭試問を含む面接		○	○	○	◎

総合型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない選抜）

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
第1次選抜	志願理由書・調査書	○	○	○	◎
第2次選抜	小論文	○	◎	○	○
	面接	○	◎	○	◎

■海洋資源科学科

【養成する人物像】

海洋資源の有効活用による持続的社会の創造を志し、俯瞰的に問題を分析し、データに基づく論理的考察により問題の本質を把握し、実際に行動し解決できる能力を有するとともに、海洋生物生産、海底資源環境、または海洋生命科学に関する専門的な知識、並びに海洋科学の DX に資するデータサイエンスの知識を併せもった海洋資源管理に長けた実践力のある海洋専門人材を育成します。

【求める学生像及び高等学校段階で修得すべき内容・水準】

知識・技能

1. 専門的知識の修得に必要な、高等学校卒業程度の教科学習に関する知識・技能を有する。

思考力・判断力・表現力

1. 「海洋資源」及び「海洋資源管理」に関する諸問題や疑問となることを理解し、解決策を探索するうえで必要となる論理的思考力、読解力を有する。
2. 言語や数式を使って、自らの思考を適切に表現する基礎を身につけている。

主体性・多様性・協働性

1. 「海洋資源」及び「海洋資源管理」に関心を持ち、地域社会及び国際社会に役立つ研究・開発を行いたいと考えている。
2. 本学の教育研究環境を最大限活用して、自ら主体的に学

び、成長しようという意志を持ち、多様な人々と協働しながら学ぶことで知を深めていこうとする能動的な姿勢を持っている。

関心・意欲

1. 専門分野の修得について強い関心と意欲を持っている。

海洋生物生産学コース

【養成する人物像】

海洋生物生産学コースは、「海洋生物資源の育成・管理・利用に関する知識・技術を身につけ、“持続可能な海洋生物生産”に関わる課題を科学的な観点・思考から理解・解決できる人材」を養成します。

【求める学生像及び高等学校段階で修得すべき内容・水準】

知識・技能

1. 海洋の生物生産に関する専門的な知識を修得するために必要となる高等学校卒業程度の教科学習に関して知識があり理解している。

思考力・判断力・表現力

1. 科学的・論理的な思考で物事を分析しながら、解決すべき問題や方策を考えることができる。
2. 言語や数式を使って、自らの思考を論理的に表現する基礎が身についている。

主体性・多様性・協働性

1. 主体的に学ぶことができる。
2. 異分野を含む多様な人々と協働できる。

関心・意欲

1. 「海洋生物資源」及び「海洋資源管理」に関心を持ち、海洋生物資源の育成・管理・利用に関することに取り組もうとする意欲がある。

【入学者選抜方法と評価する能力】

一般選抜（前期日程）

選抜方法	評価する能力			
	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
大学入学共通テスト	◎	○		
個別試験等	面接	○	○	◎

一般選抜（後期日程）：海洋資源科学科で一括募集

選抜方法	評価する能力			
	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
大学入学共通テスト	◎	○		
個別試験等	面接	○	◎	◎

学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す選抜）

選抜方法	評価する能力			
	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
大学入学共通テスト	◎	○		
個別試験等	面接	○	◎	○

国際バカロレア選抜（大学入学共通テストを課さない選抜）

選抜方法	評価する能力			
	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
書類審査	◎	◎	○	○
面接		○	◎	○

海底資源環境学コース

【養成する人物像】

海底資源環境学コースは、地学、化学、物理学の分野から、「海底資源」の探査と環境保全も視野に入れた開発に貢献することができ、周囲の環境からその形成メカニズムを理解することができる人材を養成します。

【求める学生像及び高等学校段階で修得すべき内容・水準】

知識・技能

1. 海底資源環境に関する専門的知識を修得するために必要となる高等学校の教科、特に理科に関する基礎的な知識を有する。

思考力・判断力・表現力

1. さまざまな問題について、科学的思考から総合的に判断し、行動、解決する基礎が身についている。
2. 言語や数式を使って、自らの思考を適切に表現する基礎が身についている。

主体性・多様性・協働性

1. 理科に関して主体的に学ぶことができる。
2. 異分野を含む多様な人々と協調・協働できる。

関心・意欲

1. 「海底資源」及び「海洋資源を管理すること」に関心を持ち、地域社会及び国際社会に役立つ研究や開発を行う意欲がある。

【入学者選抜方法と評価する能力】

一般選抜（前期日程）

選抜方法	評価する能力			
	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
大学入学共通テスト	◎	○		
個別試験等	面接	○	◎	◎

一般選抜（後期日程）：海洋資源科学科で一括募集

選抜方法	評価する能力			
	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
大学入学共通テスト	◎	○		
個別試験等	面接	○	◎	◎

学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す選抜）

選抜方法	評価する能力			
	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
大学入学共通テスト	◎	○		
個別試験等	面接	○	◎	◎

海洋生命科学コース

【養成する人物像】

海洋生命科学コースは、「海洋で起こる生命現象や海洋生物由来の有用物質等について、生物学並びに化学的視点から幅広く探求でき、その成果を国際社会及び地域社会への貢献に結びつけられる人材」を養成します。

【求める学生像及び高等学校段階で修得すべき内容・水準】

知識・技能

1. 海洋フィールドでみられる、生命現象や海洋生物由来の有用物質や海洋資源の管理に関連する専門的知識を修得するために必要となる、高等学校卒業程度の教科学習に関する知識・技能を有する。

思考力・判断力・表現力

1. 海洋フィールドでみられる生命現象、海洋生物由来の有用物質や海洋資源の管理について、化学あるいは生物学の視点から観察し考察するための基礎的な思考力と判断力を有する。
2. 言語や数式を使って、自らの思考を適切に表現するための基礎が身についている。
3. 物事を客観的に捉えるための基礎が身についている。
4. 得られた知識やデータに基づいて科学的・論理的に判断するための基礎が身についている。

主体性・多様性・協働性

1. 海洋フィールドでみられる生命現象や海洋生物由来の有用物質に関係する知識及び最新成果について、主体的かつ真摯に学ぶための基礎が身についている。
2. 理科に関して主体性を持って学ぶことができる。
3. 異分野を含むさまざまな人々と、海洋生命科学に関連した意見交換を行い協働するための基礎が身についている。
4. 豊かな感性、高い倫理観、協調性を備えるための基礎が身についている。
5. チームの一員として主体的・積極的に活動するための基礎が身についている。

関心・意欲

1. 生物をはじめとする海洋資源、海洋フィールドでみられる生命現象、並びに海洋生物由来の有用物質について関心を持ち、生物学ならびに化学的視点から地域社会及び国際社会に役立つ研究・開発を行う意欲がある。

【入学者選抜方法と評価する能力】

一般選抜（前期日程）

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
大学入学共通テスト		◎	○		
個別試験等	科目試験	○	◎		
	活動報告書			○	○

一般選抜（後期日程）：海洋資源科学科で一括募集

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
大学入学共通テスト		◎	○		
個別試験等	面接		○	◎	◎

学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す選抜）

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
大学入学共通テスト		◎	○		
個別試験等	面接		○	◎	◎

地域協働学部

■地域協働学科

【養成する人物像】

地域協働学部は、地域理解力・企画立案力・協働実践力の3つの能力を統合した「地域協働マネジメント力」を有し、多様で複雑な地域の課題を発見しその解決のための取り組みを行う中で、立場や利害を越えて人や組織などの協働を創出・促進することができる「地域協働人材」を育成します。

【求める学生像及び高等学校段階で修得すべき内容・水準】

知識・技能

1. 地域協働に関連する専門的知識を修得するために必要となる、理系・文系を問わない幅広い分野の基礎知識として、高等学校卒業程度の教科学習に関する知識・技能を有している。

思考力・判断力・表現力

1. 物事を論理的に思考する能力を有している。
2. 物事を客観的に分析し判断する能力を有している。
3. 自分の意見を口頭と文章の両面で他者に適切に伝えることができる表現能力を有している。

主体性・多様性・協働性

1. 主体的に課題の探求や解決にあたる態度を有している。
2. 課題について多様な考え方を受け入れる態度を有している。
3. 考え方や価値観の異なるさまざまな人と協働し課題の解決にのぞむ態度を有している。

関心・意欲

1. 地域社会に存在する諸課題とその実践的解決に関心を持っている。
2. 地域課題解決や地域振興に向けた協働的活動に粘り強く取り組む意欲を持っている。
3. 地域での協働的取り組みの中で自分が成長することに意欲を持っている。

【入学者選抜方法と評価する能力】

一般選抜（前期日程）

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
大学入学共通テスト		◎	○		
個別試験等	小論文	◎	◎		○
	面接	○	◎	◎	◎

学校推薦型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない選抜）

選抜方法	評価する能力			
	知識・ 技能	思考力・ 判断力・ 表現力	主体性・ 多様性・ 協働性	関心・ 意欲
グループ活動及び 振り返り演習適性試験	○	◎	◎	◎
作文	○	◎	◎	◎
面接	○	◎	◎	◎

総合型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない選抜）

選抜方法		評価する能力			
		知識・ 技能	思考力・ 判断力・ 表現力	主体性・ 多様性・ 協働性	関心・ 意欲
第1次 選抜	講義理解力 試験	◎	◎		○
	ゼミナール 活動適性試験	○	◎	◎	◎
第2次 選抜	口頭試問を 含む面接	○	◎	◎	◎

Ⅱ 入学者選抜関係日程の概要

大学入学共通テストを課さない														
総合型選抜Ⅰ (インターネット出願)						国際バカロレア選抜 (紙出願)		学校推薦型選抜Ⅰ (インターネット出願)		社会人選抜 (紙出願)	私費外国人留学生選抜 (紙出願)			
人文社会科学部 人文社会科学科 社会科学コース		理工学部 数学物理学科 地球環境防災学科		医学部 医学科	農林海洋科学部 農林資源科学科 フィールド科学コース 農芸化学コース	地域協働学部	人文社会科学部 国際社会コース 教育学部 学校教育教員 養成課程 (幼児教育コースを 除く) 理工学部 数学物理学科、 生物科学科	農林海洋科学部 農林資源科学科 フィールド科学コース 海洋資源科学科 海洋生物生産学コース	医学部 医学科	人文社会科学部 教育学部 学校教育教員養成課程 (幼児教育コース、 科学技術教育コース を除く)	理工学部 医学部 看護学科	農林海洋科学部 農林資源科学科 地域協働学部	人文社会科学部 理工学部 農林海洋科学部	医学部
募集要項 公表時期	6月上旬					6月上旬		6月上旬		6月上旬	6月上旬			
出願期間	9/1(月)～5(金) (必着)					1/19(月)～23(金) (必着)		11/17(月)～21(金) (必着)	11/2(日)～7(金) (必着)		11/2(日)～7(金) (必着)	1/19(月)～23(金) (必着)		
試験日	9/12(金) (第1次選抜)	出願書類による選抜 (第1次選抜)	9/13(土) (第1次選抜)	出願書類による選抜 (第1次選抜)	9/12(金) (第1次選抜)	1/31(土)	12/19(金)	人文社会科学部人文社会科学科 人文科学コース 人文社会科学部人文社会科学科 国際社会コースA選抜 教育学部学校教育教員養成課程(保健体育教育コース以外) 11/16(日) 教育学部学校教育教員養成課程保健体育教育コース 11/15(土)・16(日)の2日間実施 上記以外の学部・学科・コース 11/15(土)		11/15(土)	1/31(土)	2/25(水)・28(木) 看護学科において は2/25(水)のみ		
合格者 発表日	9/28(金) (第1次選抜)		10/18(木) (第1次選抜)	9/28(金) (第1次選抜)										
試験日	10/11(土) (第2次選抜)		10/28(火)～ 11/7(金)のうち2日間 (1日～3日は除く) (第2次選抜)	10/11(土) (第2次選抜)										
合格者 発表日	11/1(土)		11/13(木)	11/1(土)		2/11(水)		12/1(月)		12/1(月)	2/11(水)	3/8(金)		
入学手続 期間	11/2(日)～ 7(金)		11/14(金)～28(水)	11/2(日)～ 7(金)		2/12(木)～18(水)		12/2(火)～9(火)		12/2(火)～9(火)	2/12(木)～27(金)	3/7(土)～15(日)		
入学式	4/3(金)													
その他	事前説明会 7/25(金)													

大学入学共通テストを課す

大学入学共通テストを課す							
総合型選抜Ⅱ (インターネット出願)		学校推薦型選抜Ⅱ (インターネット出願)				一般選抜(分離・分割方式)	
農林海洋科学部 農林資源科学科 フィールド科学コース		人文社会科学部 人文社会科学科 社会科学コース	理工学部 数学物理学科	教育学部 学校教育教員養成課程 (科学技術教育コースを除く)	農林海洋科学部 海洋資源科学科	医学部 医学科	人文社会科学部 人文社会科学科 (人文科学、国際社会コース) 理工学部 医学部 看護学科 農林海洋科学部
募集要項 公表時期		6月上旬	6月上旬				10月下旬
出願期間		12/2(火)～8(月) (必着)	12/2(火)～8(月) (必着)	1/19(月)～23(金) (必着)		11/17(月)～21(金) (必着)	1/26(月)～2/4(水) (必着)
試験日		12/13(土)	12/13(土)	1/31(土)		12/17(水) ～19(金)のうち1日	※ 2/25(水)・26(木) 3/12(木)
合格者 発表日		2/11(水)	2/11(水)				3/6(金) 3/23(月)
入学手続 期間		2/12(木)～18(水)	2/12(木)～18(水)				3/7(土)～15(日) 3/24(火)～27(金)
入学式		4/3(金)					
その他							医学部医学科 (入学志願者が募集人員の 4倍を超えた場合) 第1段階選抜の結果通知 2/11(水)

※ 各学部の試験日については10月下旬公表予定の学生募集要項
(一般選抜)をご確認ください。

学部	学科・課程等		入学定員	募 集 人 員																			
				一 般 選 抜		総合型選抜Ⅰ	(総合型選抜Ⅰ選抜) バカロレア選抜	総合型選抜Ⅱ	学校選抜Ⅰ薦型	学校選抜Ⅱ薦型	社会人選抜	留学生選抜A 私費外国人	留学生選抜B 私費外国人										
				前期日程	後期日程																		
人文社会科学学部	人文社会科学科	人文科学コース	275	64	10	—	—	—	20	—	—	若干名	—										
		国際社会コース		38	10	—	若干名	—	A選抜 23 B選抜 12	—	—	若干名	—										
		社会科学コース		A選抜 55 B選抜 10	—	8	—	—	20	5	—	若干名	—										
	計		275	167	20	8	—	—	75	5	—	—	—										
教育学部	学校教育教員養成課程	幼児教育コース	130	6	—	—	—	—	—	一般枠 2 高知県枠 2	—	—	—										
										教育科学コース				教科教育コース	国語教育コース	—	—	—	—	—	—		
		社会科教育コース		—	—	—	—	—	—		—												
		数学教育コース		—	—	—	—	—	—		—												
		理科教育コース		—	—	—	一般枠 7	一般枠 14	—		—	—	—										
		英語教育コース		—	—	—	高知県枠 7	高知県枠 14	—		—	—	—										
		技術教育コース		—	—	—			—		—	—											
		家庭科教育コース		—	—	—			—		—	—											
		音楽教育コース		7	—	—	—	—	—		—	—	—										
		美術教育コース			—	—	—	—	—		—	—											
		保健体育教育コース		6	—	—	注1) 6	—	—		—	—	—										
		特別支援教育コース		—	—	—	—	—	—		—	—	—										
		科学技術教育コース		5	—	—	若干名	—	—		—	—	—										
		計		130	78	—	—	—	—		20	32	—		—	—							
		理工学部		数学物理学科	55	数学受験 19 理科受験 15	2	4	若干名	—	10	4	1	数学受験 若干名 理科受験 若干名	数学受験 若干名 理科受験 若干名								
	情報科学科		30	数学受験 9 情報・物理受験 9	3	—	—	—	8	—	1	若干名	若干名										
生物科学科	45		29	5	—	若干名	—	10	—	1	若干名	若干名											
化学生命理工学科	70		48	8	—	—	—	13	—	1	若干名	若干名											
地球環境防災学科	40		19	5	7	—	—	8	—	1	若干名	若干名											
計			240	148	23	11	—	—	49	4	5	—	—										
医学科	注2) 医学科		109	59	一般枠 54 地域枠 (大学独自枠) 5	—	30	若干名	—	—	地域枠 20	—	若干名	—									
		看護学科			60						27				6	—	—	27	—	—	若干名		
	計		169	86	6	30	—	—	27	20	—	—	—										
農林海洋科学部	農林資源科学科	フィールド科学コース	95	40	15	若干名	地域志向枠 5	一般枠 10 高知県枠 5	一般推薦 (A選抜) 7 一般推薦 (B選抜 (地域志向枠)) 5 専門推薦 3 専門推薦 (高知県枠) 5	—	—	若干名	—										
								農芸化学コース	45					30	5	地域志向枠 5	—	—	高知県枠 5	—	—	若干名	—
								海洋資源科学科	海洋生物生産学コース					65	18	—	若干名	—	—	一般推薦 6 専門推薦 2	—	若干名	—
									海底資源環境学コース						9	—	—	—	—	5	—	若干名	—
	海洋生命科学コース	14	—	—	—	—	4		—	若干名	—												
	計		205	111	27	20	—	5	25	17	—	—	—										
	地域協働学部	地域協働学科	60	35	—	15	—	—	10	—	—	—	—										
計		60	35	—	15	—	—	10	—	—	—												
合 計			1079	625	76	84	—	5	206	78	5	—	—										

次ページの注意事項も参照してください。

(注意事項)

1. 学校推薦型選抜については、国公立大学において学校推薦型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない選抜）・学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す選抜）をあわせ、出願することができるのは、一つの大学・学部です。
ただし、本学の学校推薦型選抜Ⅰに出願し不合格となった場合は、本学学校推薦型選抜Ⅱの同じ募集区分（コース）に限り出願することができます。
2. 全ての学部・学科（課程）等で各入学者選抜毎の募集人員に欠員が生じた場合は、以降実施される入学者選抜試験で欠員分を補充します。
3. 教育学部学校教育教員養成課程の学校推薦型選抜Ⅰ及び学校推薦型選抜Ⅱでは、高知県以外の高等学校の卒業（修了）見込みの出願者は「一般枠」とします。高知県の高等学校の卒業（修了）見込み者は、出願時に「一般枠」又は「高知県枠」のいずれかを選択してもらいます。（高知県内の住所から、他県の高等学校に隣接通学している者を含みます。）
4. 教育学部学校教育教員養成課程の教科教育コースは募集枠の名称であり、2年次から「国語教育・社会科教育・数学教育・理科教育・英語教育・技術教育・家庭科教育・音楽教育・美術教育・保健体育教育の各コース」のいずれかに分属されます。
前期日程の54人は、音楽・美術・保健体育教育コースへの分属も可能です。（幼児教育コース、科学技術教育コースへの分属は不可）
学校推薦型選抜Ⅰの一般枠7人、高知県枠7人は保健体育教育コースにも分属可能です。（幼児教育コース、科学技術教育コースへの分属は不可）
5. 医学部医学科の一般選抜前期日程の「地域枠(大学独自枠)」は、出身学校の所在地に制限はありません。
また、学校推薦型選抜Ⅱの地域枠は、出身学校の所在地が四国・瀬戸内(四国4県及び兵庫県、岡山県、広島県、山口県)地域です。
医学部医学科の一般選抜前期日程の「地域枠(大学独自枠)」募集人員5人に欠員が生じた場合は、一般枠の募集人員に加えます。
医学部医学科の一般選抜前期日程の一般枠の募集人員には、国際バカロレア選抜（総合型選抜Ⅰ）の募集人員（若干名）を含みます。
6. 農林海洋科学部農林資源科学科フィールド科学コースの総合型選抜Ⅰでは、高知県の高等学校の卒業（修了）者又は卒業（修了）見込み者は、出願時に「一般枠」又は「高知県枠」のいずれかを選択してもらいます。（高知県枠については、高知県内の住所から他県の高等学校に隣接通学している者及び高等学校在学中隣接通学していた者を含みます。）高知県以外の高等学校の卒業（修了）者又は卒業（修了）見込みの出願者は「一般枠」で出願してください。
また、学校推薦型選抜Ⅰの専門推薦では、高知県の高等学校の卒業（修了）者又は卒業（修了）見込み者は、出願時に「専門推薦」又は「専門推薦（高知県枠）」のいずれかを選択してもらいます。（高知県枠については、高知県内の住所から他県の高等学校に隣接通学している者及び高等学校在学中隣接通学していた者を含みます。）高知県以外の高等学校の卒業（修了）者又は卒業（修了）見込みの出願者は「専門推薦」で出願してください。
7. 農林海洋科学部農林資源科学科農芸化学コースの学校推薦型選抜Ⅰでは、「高知県枠」のみ実施のため、高知県の高等学校の卒業（修了）者又は卒業（修了）見込み者を対象とします。
8. 農林海洋科学部の「高知県枠」は入学後に本学部が開設する「次世代農業教育プログラム」の「次世代農業科学コース」を履修します。
9. 農林海洋科学部の「地域志向枠」は入学後に、地域への理解、地域の課題とその解決に関する講義・演習科目である地方創生推進士育成科目および指定の準正課活動を履修します。

IV 入学者選抜方法等

1 一般選抜

1 選抜試験実施方式・併願

本学の一般選抜の実施は、分離分割方式(「前期日程」及び「後期日程」)によって行います。

国公立大学志願者は、「前期日程」で試験を実施する大学・学部から一つ、「後期日程」で試験を実施する大学・学部から一つ、合計二つの大学・学部に出願し、受験することができます。(但し、一部の公立大学で募集している、中期日程へ出願することができます。)

したがって、試験日程グループ間の併願について、「前期－前期」、「後期－後期」の併願はできません。

本学の学内併願については、「前期日程」の学部・学科等と、「後期日程」の学部・学科等はすべて出願することができますが、「後期日程」を実施しない募集単位もありますので、注意してください。

なお、併願の場合は、それぞれに出願書類を提出し、入学検定料を納めなければなりません。

2 出願資格

次の(1) から(3) のいずれかに該当し、かつ、志望する学部・学科等が指定する令和 8 年度大学入学共通テストの教科・科目を受験した者としてします。(19～27 ページ参照)

- (1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者又は 2026 年 3 月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者又は 2026 年 3 月修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則(昭和 22 年文部省令第 11 号)第 150 条(第 6 号を除く)の規定により、高等学校卒業者と同等以上の学力があると認められる者又は 2026 年 3 月 31 日までにこれに該当する見込みの者

上記の(3)に該当する者は、次のとおりです。

- ① 外国において、学校教育における 12 年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- ② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- ③ 専修学校の高等課程(修業年限が 3 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- ④ 文部科学大臣の指定した者
- ⑤ 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者(旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。)で、2026 年 3 月 31 日現在満 18 歳以上の者
- ⑥ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18 歳に達した者

(注)上記⑥により出願しようとする者は、個別の入学資格審査を行う必要がありますので、「VI 個別の入学資格審査(63～64 ページ)」の実施要項に従って申請してください。また、大学入学共通テストに出願する際には、いずれかの大学の認定を受けたことを証明する書類が必要になります。

3 出願方法・期間

出願方法 : インターネット出願

出願期間 : 前期日程・後期日程とも、2026 年 1 月 26 日(月)～ 2 月 4 日(水) (必着)

4 入学者選抜方法

入学者の選抜は、令和 8 年度大学入学共通テストの成績、本学が実施する個別試験の成績等の内容を総合して判定します。

ただし、医学部では、面接評価のみで不合格にすることがあります。

なお、次の学部・学科等の後期日程においては、入学者選抜を実施しません。

・人文社会科学部人文社会科学科社会科学コース、教育学部、医学部医学科、地域協働学部

2段階選抜

医学部医学科の前期日程においては、志願者数が募集人員の4倍を超えた場合、個別試験等を適切に実施するため大学入学共通テストの成績により第1段階の選抜を行い、その合格者に対して、本学が実施する個別試験等を行います。

メモ

5 入学者選抜の実施教科・科目等

(1) 各学部共通の注意事項

【表中の教科・科目名等の表記について】

① 大学入学共通テストの利用教科・科目名等は次のように略しています。

- 国語 → 国
「国語」→「国」
- 地理歴史 → 地歴
「地理総合,地理探究」→「地総,地探」、「歴史総合,日本史探究」→「歴総,日探」、「歴史総合,世界史探究」→「歴総,世探」、「地理総合/歴史総合/公共」→「地総/歴総/公共」
- 公民 → 公民
「公共,倫理」→「公共,倫理」、「公共,政治・経済」→「公共,政経」、「地理総合/歴史総合/公共」→「地総/歴総/公共」(再掲)
- 数学 → 数
「数学Ⅰ」→「数Ⅰ」、「数学Ⅰ,数学A」→「数Ⅰ,数A」
「数学Ⅱ,数学B,数学C」→「数Ⅱ,数B,数C」
- 理科 → 理
「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」→「物基/化基/生基/地学基」
「物理基礎/化学基礎/生物基礎」→「物基/化基/生基」
「物理」→「物」、「化学」→「化」、「生物」→「生」、「地学」→「地学」
- 外国語 → 外
「英語」→「英」、「ドイツ語」→「独」、「フランス語」→「仏」、「中国語」→「中」、「韓国語」→「韓」
- 情報 → 情
「情報Ⅰ」→「情報Ⅰ」

② 個別試験等の出題教科・科目名は、上記①と同様に略すほか、次のように略しています。

「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B・数学C」→「数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B・数C」
「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学C」→「数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C」
「物理基礎・物理」→「物基・物」、「化学基礎・化学」→「化基・化」、「生物基礎・生物」→「生基・生」、「地学基礎・地学」→「地学基・地学」

③ 個別試験等の科目の範囲については、次のように略しています。

論理・表現Ⅰ・論理・表現Ⅱ・英語コミュニケーションⅠ・英語コミュニケーションⅡ・英語コミュニケーションⅢ
→論表Ⅰ・論表Ⅱ・コⅠ・コⅡ・コⅢ
論理・表現Ⅰ・論理・表現Ⅱ・論理・表現Ⅲ・英語コミュニケーションⅠ・英語コミュニケーションⅡ・英語コミュニケーションⅢ
→論表Ⅰ・論表Ⅱ・論表Ⅲ・コⅠ・コⅡ・コⅢ

※教科は国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語、情報をそれぞれ1教科とします。

※科目は表中の「」内をそれぞれ1科目とします。

【個別試験等における各科目の出題範囲について】

個別試験等で課す各科目のうち特に出題範囲を指定していない科目については、すべてを出題範囲とします。

【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

- ・ 理科教科において「基礎を付した科目」とは、「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」を指し、「基礎を付していない科目」とは、「物理」「化学」「生物」「地学」を指します。
- ・ 利用教科・科目の中で、指定された教科・科目数を超えて受験している場合には、選択となる各教科・科目において、高得点の科目の成績を用います。ただし、地理歴史、公民及び理科については、本学の指定する利用科目数が1科目又は選択の結果、1科目のみの利用となった場合、2科目受験者については、第1解答科目の成績を用いることとし、第1解答科目が本学の指定する利用教科・科目でない場合は合格者となりません。(個別試験等を受験することも出来ません。)
- ・ 理科の基礎を付した科目は、大学入学共通テストにおいて2出題範囲を選択となります。選択した出題範囲が本学の指定する出題範囲でない場合、基礎を付した科目が採用できません。その結果、本学の必要科目を満たさない場合、合

格者となりません。

また、基礎を付した科目・基礎を付していない科目両方の得点を採用することになった場合、同一名称を含む選択(例：化学基礎と化学)は認められません。その結果、本学の必要科目を満たさない場合、合格者となりません。ご注意ください。

- ・ 地理歴史・公民においては共通テストにおいて、選択できる科目の組み合わせに制限があります。ご注意ください。
また、「地理総合/歴史総合/公共」は大学入学共通テストにおいて2出題範囲を選択となります。
- ・ 外国語の教科について「英語」は、リーディングとリスニングの成績を用います。

【大学入学共通テスト・個別試験等の配点等】欄

- ・ 数学①、数学②は、大学入学共通テストのグループの別を表します。
- ・ 配点に * を付している教科は選択科目を表します。
- ・ 大学入学共通テストの外国語配点の 200 点は英語を選択の場合、以下のように換算し、配点します。

教育学部以外：リーディング(100 点)とリスニング(100 点)を換算し配点します。
その配点割合は、リーディングを 160 点、リスニングを 40 点とします。

教育学部 一般選抜：リーディング(100 点)とリスニング(100 点)を換算し配点します。
その配点割合は、リーディングを 120 点、リスニングを 80 点とします。

教育学部 学校推薦型選抜Ⅱ：リーディング(100 点)とリスニング(100 点)を換算し配点します。
その配点割合は、リーディングを 12 点、リスニングを 8 点とします。

ただし、受験上の配慮により、リスニングの免除が認められた方はリーディングを 200 点(教育学部の学校推薦型選抜Ⅱは 20 点)に換算して配点します。

(2)各学部等の注意事項

次ページ以降の、内容が表示してある表の下にも注意事項を記載している学部がありますので、必ず参照してください。

※尚内容については、修正が生じる場合がありますので、以降も 2026 年度入学者選抜に関する要項及び学生募集要項を本学受験生サイトにて必ず確認してください。

①人文社会科学部(一般選抜)

日程	学科等名 (募集人員)	大学入学共通テストの利用教科・科目名			個別試験等		大学入学共通テスト・個別試験等の配点等													
		教科	科目名 ※1	受験を要する 科目数	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学		情報	理科	外国語	小論文	面接	活動報告書	配点 合計	
											①	②								
前期日程	人文社会科学科	人文科学 コース (64人)	国「国」	1科目	外 「英」 (論表Ⅰ・論表Ⅱ・ 論表Ⅲ・ⅡⅠ・ⅡⅡ・ⅡⅢ)	「活動報告書」	共通テスト	200	100		50		50	50	200					650
			地歴「地総、地探」、「歴総、日探」、 「歴総、世探」、「公共、倫理」、 「公共、政経」、「地総/歴総/公共」	1科目			個別試験等							150			※3	150		
			数「数Ⅰ」、「数Ⅰ、数A」、 「数Ⅱ、数B、数C」	1科目																
			理「物基/化基/生基/地学基」、 「物」、「化」、「生」、「地学」	1科目																
			外「英」、「独」、「仏」、「中」、「韓」	1科目																
			情「情報Ⅰ」	1科目																
			〔6教科6科目〕又は〔7教科6科目〕				計	200	100		50		50	50	350				800	
		国際社会 コース (38人)	国「国」	1科目	外 「英」 (論表Ⅰ・論表Ⅱ・ 論表Ⅲ・ⅡⅠ・ⅡⅡ・ⅡⅢ)	「活動報告書」	共通テスト	200	100		* 50			50	200					600
			地歴「地総、地探」、「歴総、日探」、 「歴総、世探」、「公共、倫理」、 「公共、政経」、「地総/歴総/公共」	1科目			1教科 1科目	個別試験等							200			※3	200	
			数「数Ⅰ」、「数Ⅰ、数A」、 「数Ⅱ、数B、数C」	1科目																
			情「情報Ⅰ」	1科目																
			理「物基/化基/生基/地学基」、 「物」、「化」、「生」、「地学」	1科目																
			外「英」、「独」、「仏」、「中」、「韓」	1科目																
			〔5教科5科目〕又は〔6教科5科目〕				計	200	100		* 50			50	400				800	
		社会科学 コース A選抜 (55人)	国「国」	1科目	その他	「小論文」 「活動報告書」	共通テスト	200	200 2科目 各100		100	20	100	200					820	
			地歴「地総、地探」、「歴総、日探」、 「歴総、世探」、「公共、倫理」、 「公共、政経」、「地総/歴総/公共」	2科目			個別試験等								400			※3	400	
			数「数Ⅰ」、「数Ⅰ、数A」、 「数Ⅱ、数B、数C」	1科目																
			理「物基/化基/生基/地学基」、 「物」、「化」、「生」、「地学」	1科目																
			外「英」、「独」、「仏」、「中」、「韓」	1科目																
			情「情報Ⅰ」	1科目																
			〔6教科7科目〕又は〔7教科7科目〕				計	200	200		100	20	100	200	400				1220	
		社会科学 コース B選抜 (10人)	国「国」	1科目	その他	「小論文」 「活動報告書」	共通テスト (パターン1)	100	200 2科目 各100		200	20	100	200					820	
			地歴「地総、地探」、「歴総、日探」、 「歴総、世探」、「公共、倫理」、 「公共、政経」、「地総/歴総/公共」	1科目 又は 2科目			共通テスト (パターン2)	100	100		200	20	200 2科目 各100	200					820	
			理「物基/化基/生基/地学基」、 「物」、「化」、「生」、「地学」	1科目 又は 2科目			個別試験等								400			※3	400	
			数「数Ⅰ、数A」、 「数Ⅱ、数B、数C」	1科目																
			外「英」、「独」、「仏」、「中」、「韓」	1科目																
			情「情報Ⅰ」	1科目																
			〔6教科7科目〕又は〔7教科7科目〕				計	100	◎300 ※2		200	20	◎300 ※2	200	400				1220	
後期日程	人文社会科学科	人文科学 コース (10人)	国「国」	1科目	その他	「面接」	共通テスト	200	100		50		50	200					650	
			地歴「地総、地探」、「歴総、日探」、 「歴総、世探」、「公共、倫理」、 「公共、政経」、「地総/歴総/公共」	1科目			個別試験等									100		100		
			数「数Ⅰ」、「数Ⅰ、数A」、 「数Ⅱ、数B、数C」	1科目																
			理「物基/化基/生基/地学基」、 「物」、「化」、「生」、「地学」	1科目																
			外「英」、「独」、「仏」、「中」、「韓」	1科目																
			情「情報Ⅰ」	1科目																
			〔6教科6科目〕又は〔7教科6科目〕				計	200	100		50		50	200		100		750		
		国際社会 コース (10人)	国「国」	1科目	その他	「面接」	共通テスト	200	100		* 50			50	200				600	
			地歴「地総、地探」、「歴総、日探」、 「歴総、世探」、「公共、倫理」、 「公共、政経」、「地総/歴総/公共」	1科目			個別試験等									200		200		
			数「数Ⅰ」、「数Ⅰ、数A」、 「数Ⅱ、数B、数C」	1科目			1教科 1科目													
			情「情報Ⅰ」	1科目																
			理「物基/化基/生基/地学基」、 「物」、「化」、「生」、「地学」	1科目																
			外「英」、「独」、「仏」、「中」、「韓」	1科目																
			〔5教科5科目〕又は〔6教科5科目〕				計	200	100		* 50			50	200		200		800	

【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

※1 表中の「」内を1科目として数えます。

【大学入学共通テスト・個別試験等の配点等】欄

※2 配点に◎を付してある教科は、地理歴史、公民及び理科から計300点を表します。

※3 「活動報告書」の評価は、合否境界上で同順位となった者に対してのみ行います。

②教育学部(一般選抜)

この表では、各コースの表記を次のようにします。

幼児教育コース「幼児教育」、教育科学コース「教育科学」、教科教育コース「教科教育」、特別支援教育コース「特別支援」、音楽教育コース「音楽教育」、美術教育コース「美術教育」、保健体育教育コース「保健体育」、科学技術教育コース「科学技術」

日程	学科等名 (募集人員)		大学入学共通テストの利用教科・科目名				個別試験等		大学入学共通テスト・個別試験等の配点等															
			教科	科目名 ※2	受験を要する 科目数		教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学		理科	外国語	情報	小論文	面接	実技	活動報告書	志願理由書	配点合計	
													①	②										
前期日程	学校教育教員養成課程	幼児教育 (6人)	国	「国」	1科目		数 外 その他	「数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B・数C」 ※3 「英」(論表Ⅰ・論表Ⅱ・Ⅲ) 「小論文」	1科目選択	共通テスト (パターン1)	200	2科目各100	100	100	100	200	50							950
			地歴	「地総、地探」、「歴総、日探」、「歴総、世探」、「公共、倫理」、「公共、政経」、「地総/歴総/公共」	1科目又は2科目	共通テスト (パターン2)				200	2科目各100	100	2科目各100	200	50					950				
		公民		3教科5科目又は4教科5科目	共通テスト (パターン3)	200				100	100	100	200	2科目各100	200	50					950			
		数	「数Ⅰ」、「数Ⅰ、数A」、「数Ⅱ、数B、数C」		1科目又は2科目	個別試験等							*250		*250		*250			※6	250			
		音楽教育 美術教育 (7人)	理	「物基/化基/生基/地学基」、「物」、「化」、「生」、「地学」	1科目又は2科目	その他	「実技」 ※4 「活動報告書」 「志願理由書」	計	200	500			200	50							1200			
									*250		*250		*250											
			外	「英」、「独」、「仏」、「中」、「韓」	1科目			共通テスト (パターン1)	200	2科目各100	100	100	100	200	50							950		
		保健体育 (6人)	情	「情報Ⅰ」	1科目	その他	「実技、実技実績調べ」 ※5 「活動報告書」 「志願理由書」	共通テスト (パターン2)	200	2科目各100	100		2科目各100	200	50							950		
								共通テスト (パターン3)	200	100	100	100	200	2科目各100	200	50					950			
			〔6教科8科目〕又は〔7教科8科目〕		個別試験等														250	※6	250			
		科学技術 (5人)	国 地歴 公民 数 理 外 情	「国」	1科目	その他	「理科に関する口頭試験を含む面接」	計	200	500			200	50								1200		
				「地総、地探」、「歴総、日探」、「歴総、世探」、「公共、倫理」、「公共、政経」、「地総/歴総/公共」	1科目			共通テスト	200	100	100	100	300 2科目各150	200	50							1050		
				「数Ⅰ」、「数Ⅰ、数A」	1科目			個別試験等										150			150			
				「数Ⅱ、数B、数C」	1科目			計	200	100	200	300	200	50	150									
				「物」、「化」、「生」、「地学」	2科目																			
				「英」、「独」、「仏」、「中」、「韓」	1科目																			
				「情報Ⅰ」	1科目																			
				〔6教科8科目〕又は〔7教科8科目〕																				

【学科等名(募集人員)】欄

※1 教科教育コースは募集枠の名称であり、2年次から「国語教育・社会科教育・数学教育・理科教育・英語教育・技術教育・家庭科教育・音楽教育・美術教育・保健体育教育」のいずれかに分属されます。

【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

※2 表中の「」内を1科目として数えます。

【個別試験等】欄

※3 数学I、数学A(図形の性質、場合の数と確率)、数学II、数学B(数列、統計的な推測)、数学C(ベクトル)から出題します。

※4 音楽教育コースは、実技の特技試験を実施します。 ① ピアノ、② 声楽、③ 管・弦・打楽器から1つを選択し演奏します。美術教育コースの「実技」は、鉛筆デッサンを実施します。

※5 保健体育教育コースの「実技」は基礎的運動能力試験を実施し、「実技実績調べ」と併せて評価します。

【大学入学共通テスト・個別試験等の配点等】欄

※6 「活動報告書」・「志願理由書」の評価は、可否境界上で同順位となった者に対してのみ行います。

③-1 理工学部（一般選抜）

日程	学科等名 (募集人員)	大学入学共通テストの利用教科・科目名			個別試験等		大学入学共通テスト・個別試験等の配点等															
		教科	科目名 ※2	受験を 要する 科目数	教科等	科目名等	試験の区分	国 語	地 歴	公 民	数 学		理 科	情 報	外 国 語	活 動 報 告 書	配 点 合 計					
											①	②										
前期日程	数学物理学科	数学 受験 ※1 (19人)	国	「国」	1科目	数	「数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・ 数A・数B・数C」 ※3	共通テスト	200	100		100	100	200 2科目 各100	50	200		950				
			地歴	「地総、地探」、「歴総、日探」、 「歴総、世探」、「公共、倫理」、 「公共、政経」、「地総/歴総/公共」	1科目				個別試験等				400				※4	400				
			公民	「地総、地探」、「歴総、日探」、 「歴総、世探」、「公共、倫理」、 「公共、政経」、「地総/歴総/公共」	1科目			計		200	100	600	200	50	200		1350					
			数	「数Ⅰ、数A」	1科目					その他	「活動報告書」	計	200	100	600	200	50	200		1350		
			理	「物」、「化」、「生」、「地学」	2科目			計					200	100	600	200	50	200		1350		
			外	「英」、「独」、「仏」、「中」、「韓」	1科目				計				200	100	600	200	50	200		1350		
		情	「情報Ⅰ」	1科目	計	200	100						600	200	50	200		1350				
		〔6教科8科目〕又は〔7教科8科目〕																				
		理科 受験 ※1 (15人)	国	「国」		1科目	理						「物基・物」、 「化基・化」	1科目 選択	共通テスト	200	100	100	100	200 2科目 各100	50	200
			地歴	「地総、地探」、「歴総、日探」、 「歴総、世探」、「公共、倫理」、 「公共、政経」、「地総/歴総/公共」		1科目				個別試験等							400				※4	400
			公民	「地総、地探」、「歴総、日探」、 「歴総、世探」、「公共、倫理」、 「公共、政経」、「地総/歴総/公共」		1科目		計			200	100		200	600	50	200		1350			
			数	「数Ⅰ」、「数Ⅰ、数A」		1科目			その他		「活動報告書」	計		200	100	200	600	50	200		1350	
			理	「数Ⅱ、数B、数C」	1科目	計		200						100	200	600	50	200		1350		
			外	「物」、「化」、「生」、「地学」	2科目			計		200				100	200	600	50	200		1350		
		情	「英」、「独」、「仏」、「中」、「韓」	1科目	計		200			100			200	600	50	200		1350				
		情	「情報Ⅰ」	1科目			計			200			100	200	600	50	200		1350			
		〔6教科8科目〕又は〔7教科8科目〕																				
		情報科学科	数学 受験 (9人) ※1	国					「国」	1科目	数	「数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・ 数A・数B・数C」 ※3	共通テスト	200	100	200	200	200 2科目 各100	50	200		1150
	地歴			「地総、地探」、「歴総、日探」、 「歴総、世探」、「公共、倫理」、 「公共、政経」、「地総/歴総/公共」		1科目			個別試験等							400				※4	400	
	公民			「地総、地探」、「歴総、日探」、 「歴総、世探」、「公共、倫理」、 「公共、政経」、「地総/歴総/公共」		1科目		計		200			100	800	200	50	200		1550			
	数			「数Ⅰ」、「数Ⅰ、数A」	1科目	その他				「活動報告書」			計	200	100	800	200	50	200		1550	
	理			「物」、「化」、「生」、「地学」	2科目		計	200						100	800	200	50	200		1550		
	外			「英」、「独」、「仏」、「中」、「韓」	1科目			計	200					100	800	200	50	200		1550		
	情		「情報Ⅰ」	1科目	計				200		100	800		200	50	200		1550				
	〔6教科8科目〕又は〔7教科8科目〕																					
	情報・ 物理 受験 (9人) ※1		国	「国」					1科目		情報	「情報Ⅰ」		1科目 選択	共通テスト	200	100	100	100	200 2科目 各100	50	200
			地歴	「地総、地探」、「歴総、日探」、 「歴総、世探」、「公共、倫理」、 「公共、政経」、「地総/歴総/公共」		1科目			個別試験等								400				※4	400
			公民	「地総、地探」、「歴総、日探」、 「歴総、世探」、「公共、倫理」、 「公共、政経」、「地総/歴総/公共」		1科目	計			200			100	200	*400				※4	400		
			数	「数Ⅰ」、「数Ⅰ、数A」		1科目		その他		「活動報告書」			計	200	100	200	*400				※4	400
			理	「数Ⅱ、数B、数C」	1科目	計	200							100	200	*400				※4	400	
			外	「物」、「化」、「生」、「地学」	2科目		計		200					100	200	*400				※4	400	
	情		「英」、「独」、「仏」、「中」、「韓」	1科目	計				200		100	200		*400				※4	400			
	情		「情報Ⅰ」	1科目					計		200	100		200	*400				※4	400		
	〔6教科8科目〕又は〔7教科8科目〕																					
	生物科学科 (29人)		国	「国」				1科目		理	「物基・物」、 「化基・化」、 「生基・生」、 「地学基・地学」	1科目 選択	共通テスト	200	100	100	100	200 2科目 各100	50	200		950
		地歴	「地総、地探」、「歴総、日探」、 「歴総、世探」、「公共、倫理」、 「公共、政経」、「地総/歴総/公共」	1科目		個別試験等										400				※4	400	
		公民	「地総、地探」、「歴総、日探」、 「歴総、世探」、「公共、倫理」、 「公共、政経」、「地総/歴総/公共」	1科目			計	200					100	200	600	50	200		1350			
		数	「数Ⅰ」、「数Ⅰ、数A」	1科目	その他			「活動報告書」					計	200	100	200	600	50	200		1350	
		理	「数Ⅱ、数B、数C」	1科目			計		200					100	200	600	50	200		1350		
		外	「物」、「化」、「生」、「地学」	2科目		計			200					100	200	600	50	200		1350		
		情	「英」、「独」、「仏」、「中」、「韓」	1科目					計					200	100	200	600	50	200		1350	
		情	「情報Ⅰ」	1科目										計	200	100	200	600	50	200		1350
		〔6教科8科目〕又は〔7教科8科目〕																				
	化学生命 理工学科 (48人)	国	「国」	1科目	理			「物基・物」、 「化基・化」、 「生基・生」		1科目 選択	共通テスト	200	100		100	100	200 2科目 各100	50	200		950	
		地歴	「地総、地探」、「歴総、日探」、 「歴総、世探」、「公共、倫理」、 「公共、政経」、「地総/歴総/公共」	1科目			個別試験等									400				※4	400	
		公民	「地総、地探」、「歴総、日探」、 「歴総、世探」、「公共、倫理」、 「公共、政経」、「地総/歴総/公共」	1科目		計					200	100	200		600	50	200		1350			
		数	「数Ⅰ」、「数Ⅰ、数A」	1科目					その他		「活動報告書」	計	200		100	200	600	50	200		1350	
		理	「数Ⅱ、数B、数C」	1科目		計							200	100	200	600	50	200		1350		
		外	「物」、「化」、「生」、「地学」	2科目			計						200	100	200	600	50	200		1350		
		情	「英」、「独」、「仏」、「中」、「韓」	1科目									計	200	100	200	600	50	200		1350	
		情	「情報Ⅰ」	1科目										計	200	100	200	600	50	200		1350
		〔6教科8科目〕又は〔7教科8科目〕																				
	地球環境 防災学科 (19人)	国	「国」	1科目	理			「物基・物」、 「化基・化」、 「生基・生」、 「地学基・地学」	1科目 選択	共通テスト	200	100			100	100	200 2科目 各100	50	200		950	
		地歴	「地総、地探」、「歴総、日探」、 「歴総、世探」、「公共、倫理」、 「公共、政経」、「地総/歴総/公共」	1科目		個別試験等										400				※4	400	
		公民	「地総、地探」、「歴総、日探」、 「歴総、世探」、「公共、倫理」、 「公共、政経」、「地総/歴総/公共」	1科目			計			200	100	200			600	50	200		1350			
		数	「数Ⅰ」、「数Ⅰ、数A」	1科目						その他	「活動報告書」	計	200		100	200	600	50	200		1350	
		理	「数Ⅱ、数B、数C」	1科目			計						200	100	200	600	50	200		1350		
		外	「物」、「化」、「生」、「地学」	2科目		計							200	100	200	600	50	200		1350		
情		「英」、「独」、「仏」、「中」、「韓」	1科目	計									200	100	200	600	50	200		1350		
情		「情報Ⅰ」	1科目										計	200	100	200	600	50	200		1350	
〔6教科8科目〕又は〔7教科8科目〕																						

③-2 理工学部(一般選抜)

日程	学科等名 (募集人員)	大学入学共通テストの利用教科・科目名			個別試験等		大学入学共通テスト・個別試験等の配点等									
		教科	科目名 ※1	受験を 要する 科目数	教科等	科目名等	試験の区分	国語	数学		理科	外国語	情報	面接	配点 合計	
									①	②						
後期日程	数学物理 学科 (2人)	国	「国」	1科目	その他	「面接」	共通テスト	200	100	100	200	200	50		850	
		数	「数Ⅰ」、「数Ⅰ, 数A」	1科目			個別試験等							200	200	
			「数Ⅱ, 数B, 数C」	1科目												
		理	「物」、「化」、「生」、「地学」	1科目			計	200	200	200	200	50	200	1050		
		外	「英」、「独」、「仏」、「中」、「韓」	1科目												
		情	「情報Ⅰ」	1科目												
	〔5教科6科目〕															
	情報科 学科 (3人)	国	「国」	1科目	その他	「面接」	共通テスト	200	100	100	200	200	50		850	
		数	「数Ⅰ」、「数Ⅰ, 数A」	1科目			個別試験等							200	200	
			「数Ⅱ, 数B, 数C」	1科目												
		理	「物」、「化」、「生」、「地学」	1科目			計	200	200	200	200	50	200	1050		
		外	「英」、「独」、「仏」、「中」、「韓」	1科目												
		情	「情報Ⅰ」	1科目												
	〔5教科6科目〕															
	生物科 学科 (5人)	国	「国」	1科目	その他	「面接」	共通テスト	200	100	100	200	200	50		850	
		数	「数Ⅰ」、「数Ⅰ, 数A」	1科目			個別試験等							200	200	
			「数Ⅱ, 数B, 数C」	1科目												
		理	「物」、「化」、「生」、「地学」	1科目			計	200	200	200	200	50	200	1050		
		外	「英」、「独」、「仏」、「中」、「韓」	1科目												
		情	「情報Ⅰ」	1科目												
	〔5教科6科目〕															
	化学生命 理工学科 (8人)	数	「数Ⅰ」、「数Ⅰ, 数A」	1科目	その他	「面接」	共通テスト		100	100	400 2科目 各200	200	50		850	
			「数Ⅱ, 数B, 数C」	1科目			個別試験等							200	200	
		理	「物」、「化」、「生」、「地学」	2科目												
		外	「英」、「独」、「仏」、「中」、「韓」	1科目			計		200	400	200	50	200	1050		
		情	「情報Ⅰ」	1科目												
		〔4教科6科目〕														
	地球環境 防災学科 (5人)	国	「国」	1科目	その他	「面接」	共通テスト	200	100	100	200	200	50		850	
		数	「数Ⅰ」、「数Ⅰ, 数A」	1科目			個別試験等								200	200
			「数Ⅱ, 数B, 数C」	1科目												
		理	「物」、「化」、「生」、「地学」	1科目			計	200	200	200	200	50	200	1050		
		外	「英」、「独」、「仏」、「中」、「韓」	1科目												
		情	「情報Ⅰ」	1科目												
	〔5教科6科目〕															

【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

※1 表中の「」内を1科目として数えます。

④医学部（一般選抜）

日程	学科等名 (募集人員)	大学入学共通テストの利用教科・科目名			個別試験等		大学入学共通テスト・個別試験等の配点等												
		教科	科目名 ※1	受験を要する 科目数	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学		理科	外国語	情報	面接	調査書	配点 合計	
											①	②							
前期日程	医学科 (59人) [うち地域 枠(大学独 自枠)5人]	国	「国」	1科目	数 理 外 その他	「数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・ 数A・数B・数C」 ※2 「物基・物」、 「化基・化」、「生基・生」 から2科目選択 「英」 (論表Ⅰ・論表Ⅱ・ 論表Ⅲ・ⅡⅠ・ⅡⅡ・ⅡⅢ)	共通テスト	200	100	100	100	200 2科目 各100	200	50				950	
		地歴 公民	「地総,地探」、「歴総,日探」、 「歴総,世探」、「公共,倫理」、 「公共,政経」	1科目															
		数	「数Ⅰ, 数A」	1科目			個別試験等			300 2科目 各150	300	100		1000					
			「数Ⅱ, 数B, 数C」	1科目															
		理	「物」、「化」、「生」	2科目											計	200	100	500	500
		外	「英」	1科目															
		情	「情報Ⅰ」	1科目															
		〔6教科8科目〕																	
	看護学科 (27人)	国	「国」	1科目	そ の 他	「面接」	共通テスト	200	100	100	100	200	50					750	
		地歴 公民	「地総,地探」、「歴総,日探」、 「歴総,世探」、「公共,倫理」、 「公共,政経」、「地総/歴総/公共」	1科目															
		数	「数Ⅰ, 数A」、 「数Ⅱ, 数B, 数C」	1科目			個別試験等						90	☆ ※3	90				
			理	「物基/化基/生基」、 「物」、「化」、「生」												1科目			
		外	「英」	1科目												計	200	100	100
		情	「情報Ⅰ」	1科目															
		〔6教科6科目〕又は〔7教科6科目〕																	
		後期日程	看護学科 (6人)	国			「国」	1科目	そ の 他	「面接」	共通テスト	200	100	100	100	200	50		
地歴 公民	「地総,地探」、「歴総,日探」、 「歴総,世探」、「公共,倫理」、 「公共,政経」、「地総/歴総/公共」			1科目															
数	「数Ⅰ, 数A」、 「数Ⅱ, 数B, 数C」			1科目	個別試験等									90	☆ ※3	90			
	理			「物基/化基/生基」、 「物」、「化」、「生」													1科目		
外	「英」			1科目													計	200	100
情	「情報Ⅰ」			1科目															
〔6教科6科目〕又は〔7教科6科目〕																			

【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

※1 表中の「 」内を1科目として数えます。

【個別試験等】欄

※2 数学B・数学Cは数列・ベクトル・平面上の曲線と複素数平面から出題します。

【大学入学共通テスト・個別試験等の配点等】欄

※3 ☆印は総合判定に加味します。

⑤農林海洋科学部(一般選抜)

日程	学科等名 (募集人員)	大学入学共通テストの利用教科・科目名			教科等	個別試験等	大学入学共通テスト・個別試験等の配点等												
		教科	科目名 ※1	受験を要する 科目数			科目名等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学		理科	外国語	情報	面接	活動報告書	配点合計
												①	②						
前期日程	農林資源科学科	フィールド科学コース (40人)	国	「国」	1科目	理	「物基・物」、 「化基・化」、 「生基・化」	1科目選択	共通テスト	200	100	100	100	100	200	50			850
			地歴	「地総、地探」、「歴総、日探」、 「歴総、世探」、「公共、倫理」、 「公共、政経」、「地総/歴総/公共」	1科目			個別試験等					200				※2	200	
			数	「数Ⅰ」、「数Ⅰ、数A」	1科目			計	200	100	200	300	200	50			1050		
				「数Ⅱ、数B、数C」	1科目														
			理	「物基/化基/生基/地学基」、 「物」、「化」、「生」、「地学」	1科目														
			外	「英」、「独」、「仏」、「中」、「韓」	1科目														
			情	「情報Ⅰ」	1科目														
			〔6教科7科目〕又は〔7教科7科目〕																
		農芸化学コース (30人)	国	「国」	1科目	その他	「面接」	共通テスト	200	100	100	100	100	200	50			850	
			地歴	「地総、地探」、「歴総、日探」、 「歴総、世探」、「公共、倫理」、 「公共、政経」、「地総/歴総/公共」	1科目			個別試験等						100		100			
			数	「数Ⅰ」、「数Ⅰ、数A」	1科目			計	200	100	200	100	200	50	100	950			
				「数Ⅱ、数B、数C」	1科目														
			理	「物基/化基/生基/地学基」、 「物」、「化」、「生」、「地学」	1科目														
			外	「英」、「独」、「仏」、「中」、「韓」	1科目														
			情	「情報Ⅰ」	1科目														
			〔6教科7科目〕又は〔7教科7科目〕																
	海洋資源科学科	海洋生物生産学コース (18人)	国	「国」	1科目	その他	「面接」	共通テスト	200	100	100	100	200	200	50			950	
			地歴	「地総、地探」、「歴総、日探」、 「歴総、世探」、「公共、倫理」、 「公共、政経」、「地総/歴総/公共」	1科目			個別試験等							100		100		
			数	「数Ⅰ」、「数Ⅰ、数A」	1科目			計	200	100	200	200	200	50	100	1050			
				「数Ⅱ、数B、数C」	1科目														
			理	「物基/化基/生基/地学基」、 「物」、「化」、「生」、「地学」	1科目														
			外	「英」、「独」、「仏」、「中」、「韓」	1科目														
			情	「情報Ⅰ」	1科目														
			〔6教科7科目〕又は〔7教科7科目〕																
		海底資源環境学コース (9人)	国	「国」	1科目	その他	「面接」	共通テスト	200			100	100	400 2科目各200	200	50			1050
			数	「数Ⅰ」、「数Ⅰ、数A」	1科目			個別試験等							200		200		
			「数Ⅱ、数B、数C」	1科目	計			200		200	400	200	50	200		1250			
			理	「物」、「化」、「生」、「地学」													2科目		
			外	「英」、「独」、「仏」、「中」、「韓」													1科目		
	情	「情報Ⅰ」	1科目																
	〔5教科7科目〕																		
	海洋生命科学コース (14人)	フィールド科学コース (14人)	国	「国」	1科目	理	「化基・化」、 「生基・生」	1科目選択	共通テスト	200	100	100	100	200	200	50			950
			地歴	「地総、地探」、「歴総、日探」、 「歴総、世探」、「公共、倫理」、 「公共、政経」、「地総/歴総/公共」	1科目			個別試験等					400				※2	400	
			数	「数Ⅰ」、「数Ⅰ、数A」	1科目			計	200	100	200	600	200	50		1350			
				「数Ⅱ、数B、数C」	1科目														
			理	「物基/化基/生基/地学基」、 「物」、「化」、「生」、「地学」	1科目														
			外	「英」、「独」、「仏」、「中」、「韓」	1科目														
			情	「情報Ⅰ」	1科目														
			〔6教科7科目〕又は〔7教科7科目〕																
農芸化学コース (5人)		国	「国」	1科目	その他	「面接」	共通テスト	200	100	100	100	100	200	50			850		
		地歴	「地総、地探」、「歴総、日探」、 「歴総、世探」、「公共、倫理」、 「公共、政経」、「地総/歴総/公共」	1科目			個別試験等							100		100			
		数	「数Ⅰ」、「数Ⅰ、数A」	1科目			計	200	100	200	100	200	50	100	950				
			「数Ⅱ、数B、数C」	1科目															
		理	「物基/化基/生基/地学基」、 「物」、「化」、「生」、「地学」	1科目															
外	「英」、「独」、「仏」、「中」、「韓」	1科目																	
情	「情報Ⅰ」	1科目																	
〔6教科7科目〕又は〔7教科7科目〕																			
農林資源科学科	フィールド科学コース (15人)	国	「国」	1科目	その他	「面接」	共通テスト	200	100	100	100	100	200	50			850		
		地歴	「地総、地探」、「歴総、日探」、 「歴総、世探」、「公共、倫理」、 「公共、政経」、「地総/歴総/公共」	1科目			個別試験等												
		数	「数Ⅰ」、「数Ⅰ、数A」	1科目			計	200	100	200	100	200	50	100	950				
			「数Ⅱ、数B、数C」	1科目															
		理	「物基/化基/生基/地学基」、 「物」、「化」、「生」、「地学」	1科目															
		外	「英」、「独」、「仏」、「中」、「韓」	1科目															
		情	「情報Ⅰ」	1科目															
		〔6教科7科目〕又は〔7教科7科目〕																	
	農芸化学コース (5人)	国	「国」	1科目	その他	「面接」	共通テスト	200	100	100	100	100	200	50			850		
		地歴	「地総、地探」、「歴総、日探」、 「歴総、世探」、「公共、倫理」、 「公共、政経」、「地総/歴総/公共」	1科目			個別試験等												
		数	「数Ⅰ」、「数Ⅰ、数A」	1科目			計	200	100	200	100	200	50	100	950				
			「数Ⅱ、数B、数C」	1科目															
		理	「物基/化基/生基/地学基」、 「物」、「化」、「生」、「地学」	1科目															
外	「英」、「独」、「仏」、「中」、「韓」	1科目																	
情	「情報Ⅰ」	1科目																	
〔6教科7科目〕又は〔7教科7科目〕																			
海洋資源科学科 (7人)		国	「国」	1科目	その他	「面接」	共通テスト	200			100	100	100	200	50			750	
		数	「数Ⅰ」、「数Ⅰ、数A」	1科目			個別試験等								100		100		
		「数Ⅱ、数B、数C」	1科目	計			200		200	100	200	50	100	850					
		理	「物基/化基/生基/地学基」、 「物」、「化」、「生」、「地学」												1科目				
		外	「英」、「独」、「仏」、「中」、「韓」												1科目				
		情	「情報Ⅰ」												1科目				
		〔5教科6科目〕																	

【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

※1 表中の「」内を1科目として数えます。

【大学入学共通テスト・個別試験等の配点等】欄

※2 「活動報告書」の評価は、可否境界上で同順位となった者に対してのみ行います。

⑥地域協働学部(一般選抜)

日程	学科等名 (募集人員)	大学入学共通テストの利用教科・科目名			個別試験等		大学入学共通テスト・個別試験等の配点等											
		教科	科目名 ※1	受験を要する 科目数	教科等 科目名等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学		理科	情報	外国語	小論文	面接	配点 合計	
										①	②							
前期 日程	地域協働 学科 (35人)	国	「国」	1科目	その他 「小論文」、「面接」	共通テスト	200	*100						200			500	
		地歴 公民	「地総,地探」、「歴総,日探」、 「歴総,世探」、「公共,倫理」、 「公共,政経」、「地総/歴総/公共」	1科目				1教科 1科目 又は 2教科 1科目										
		数	「数Ⅰ」、「数Ⅰ,数A」、 「数Ⅱ,数B,数C」	1科目		個別試験等										200	300	500
		理	「物基/化基/生基/地学基」、 「物」、「化」、「生」、「地学」	1科目														
		情 外	「情報Ⅰ」	1科目		計	200	*100						200	200	300	1000	
			「英」、「独」、「仏」、「中」、「韓」	1科目														
			〔3教科3科目〕又は〔4教科3科目〕															

【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

※1 表中の「」内を1科目として数えます。

2 学校推薦型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない選抜）

入学定員の一部について、大学入学共通テストを課さない「学校推薦型選抜Ⅰ」を実施します。

国公立大学の学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課す場合又は課さない場合を含めて）への出願は、一つの大学・学部に限ります。

ただし、本学の大学入学共通テストを課さない学校推薦型選抜Ⅰに不合格となった者は、同一学部・学科・コース等を志望する場合に限り、本学の大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜Ⅱに出願することができます。

1 実施学部等・募集人員・出願資格・選抜方法等

【共通の注意事項】

- ・ 出願資格欄の高等学校には、中等教育学校、高等専門学校（3年次）及び文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を含みます。
- ・ 推薦人員欄の学校長が推薦できる人員に制限がある場合は、分校は本校とは別に1校として扱います。

実施学部等	人文社会科学部人文社会科学科 人文科学コース	募集人員	20人
出願資格	高等学校を2026年3月卒業（修了）見込みの者で、次の各号に該当する者 (1) 調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者 (2) 学校長が責任をもって推薦できる者 (3) 合格した場合は、入学することを確約できる者		
選抜方法等	大学入学共通テストを課さず、外国語（英語）（50点）、面接（200点）、調査書、推薦書、志願理由書及び学修計画書を総合して判定します。 面接は、個人面接の方法で行い、志望動機、学習意欲、理解力、表現力、論理構成力等の項目について複数の採点者が評価します。調査書、推薦書、志願理由書及び学修計画書は面接の資料とします。面接時間はおよそ10分です。		
推薦人員	学校長が推薦できる人員は、1校につき2人以内とします。		

実施学部等	人文社会科学部人文社会科学科 国際社会コース（A選抜）	募集人員	23人
出願資格	高等学校を2026年3月卒業（修了）見込みの者で、次の各号に該当する者 (1) 調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者 (2) 学校長が責任をもって推薦できる者 (3) 合格した場合は、入学することを確約できる者		
選抜方法等	大学入学共通テストを課さず、小論文（100点）、面接（100点）、調査書、推薦書、志願理由書及び学修計画書を総合して判定します。 小論文は、課題文を提示し受験者の論述を求めるという形式をとり、読解力、思考力、判断力、表現力を総合的に評価します。解答時間は60分です。面接は、複数の面接担当者による集団面接の方法で行い、志望動機、目的意識、関心・意欲、適性、知識、論理的思考力などを総合的に評価します。調査書、推薦書、志願理由書及び学修計画書は面接の資料とします。面接時間は1組がおおよそ25分です。		
推薦人員	学校長が推薦できる人員に制限はありません。		

実施学部等	人文社会科学部人文社会科学科 国際社会コース（B選抜）	募集人員	12人
出願資格	高等学校を2026年3月卒業（修了）見込みの者で、次の各号に該当する者 (1) 調査書の「各学科に共通する教科・科目の外国語」の学習成績の状況が4.3以上の者 ただし、調査書の「主として専門学科において開設される各教科としての英語」も履修している場合は、前記の学習成績の状況4.3に加えて当該英語科目の学習成績の状況が4.0以上の者 調査書の「主として専門学科において開設される各教科としての英語」のみを履修している場合は、当該英語科目の学習成績が4.0以上の者 (2) 学校長が責任をもって推薦できる者 (3) 合格した場合は、入学することを確約できる者		
選抜方法等	大学入学共通テストを課さず、面接（200点）、調査書、推薦書及び志願理由書を総合して判定します。 面接は、英語による集団面接の方法で行い、英語によるコミュニケーション能力と積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度、そして志望動機、目的意識、適性、論理的思考力などを総合的に評価します。調査書、推薦書及び志願理由書は面接の資料とします。面接時間は1組がおおよそ25分です。		
推薦人員	学校長が推薦できる人員に制限はありません。		

実施学部等	人文社会科学部人文社会科学科 社会科学コース	募集人員	20 人
出 願 資 格	高等学校を 2026 年 3 月卒業（修了）見込みの者で、次の各号に該当する者 (1) 調査書の全体の学習成績の状況が 4.0 以上の者 (2) 学校長が責任をもって推薦できる者 (3) 合格した場合は、入学することを確約できる者		
選 抜 方 法 等	大学入学共通テストを課さず、口頭試問を含む面接(200 点)、調査書、推薦書及び志願理由書を総合して判定します。 口頭試問を含む面接は、数人が 1 組となる集団面接の方法で行い、複数の採点者が総合的に評価します。口頭試問を含む面接の内容は、時事問題を出題し、社会問題に対する知識や関心、理解力を問います。また、志願理由書等の出願書類に関する質問、本コースの教育方針や内容、アドミッション・ポリシーとの適合性及び関心の度合いをはかる質問を行い、理解力、思考力、表現力、勉学意欲を総合的に評価します。志願理由書は口頭試問を含む面接の資料とします。面接時間は 1 組がおおよそ 50 分です。		
推 薦 人 員	学校長が推薦できる人員は、1 校につき 2 人以内とします。		

実施学部等	教育学部学校教育教員養成課程 教育科学コース・教科教育コース（注 1）・特別支援教育コース（一般枠）（注 2）	募集人員	7 人
出 願 資 格	高等学校を 2026 年 3 月卒業（修了）見込みの者で、次の各号に該当する者 (1) 調査書の全体の学習成績の状況が 3.8 以上の者 (2) 学習への熱意と能力を有し、学校教員を目指す強い意志と情熱をもった者 (3) 学校長が責任をもって推薦できる者 (4) 合格した場合は、入学することを確約できる者		
選 抜 方 法 等	大学入学共通テストを課さず、講義理解力試験(100 点)、問題解決型グループワーク(100 点)、振り返り作文(100 点)の総点(300 点)と、調査書、推薦書及び志願理由書を総合して判定します。 講義理解力試験では、教員による講義を聴いた上で、その講義内容を理解しまとめる力を評価するための作文を課します。 問題解決型グループワークでは、課題に沿ってグループ活動を行います。その後、グループワークについての振り返り作文を課します。 グループワークでは受験者の活動の様子（発言、傾聴、行動等）について評価します。 振り返り作文では、グループワークを経た上での課題の理解度とそれをまとめる力を評価します。 調査書、推薦書及び志願理由書は、出願資格の確認にも用います。		
推 薦 人 員	学校長が推薦できる人員は、教育学部全体で 1 校につき 2 人以内とします。		

（注 1）、（注 2）は 34 ページを参照ください。

実施学部等	教育学部学校教育教員養成課程 教育科学コース・教科教育コース（注 1）・特別支援教育コース（高知県枠）（注 2）	募集人員	7 人
出 願 資 格	高等学校を 2026 年 3 月卒業（修了）見込みの者で、次の各号に該当する者 (1) 調査書の全体の学習成績の状況が 3.8 以上の者 (2) 学習への熱意と能力を有し、高知県の学校教員を目指す強い意志と情熱をもった者 (3) 学校長が責任をもって推薦できる者 (4) 合格した場合は、入学することを確約できる者		
選 抜 方 法 等	大学入学共通テストを課さず、講義理解力試験（100 点）、問題解決型グループワーク(100 点)、振り返り作文(100 点)の総点(300 点)と、調査書、推薦書及び志願理由書を総合して判定します。 講義理解力試験では、教員による講義を聴いた上で、その講義内容を理解しまとめる力を評価するための作文を課します。 問題解決型グループワークでは、課題に沿ってグループ活動を行います。その後、グループワークについての振り返り作文を課します。 グループワークでは受験者の活動の様子（発言、傾聴、行動等）について評価します。 振り返り作文では、グループワークを経た上での課題の理解度とそれをまとめる力を評価します。 調査書、推薦書及び志願理由書は、出願資格の確認にも用います。		
推 薦 人 員	学校長が推薦できる人員は、教育学部全体で 1 校につき 2 人以内とします。		

（注 1）、（注 2）は 34 ページを参照ください。

実施学部等	教育学部学校教育教員養成課程 保健体育教育コース (一般枠) (注2)	募集人員	4人
出願資格	高等学校を2026年3月卒業(修了)見込みの者で、次の各号に該当する者 (1) 調査書の全体の学習成績の状況が3.8以上で、人格・学力共に優れた者 (2) 学習への熱意と能力を有し、学校教員を目指す強い意志と情熱をもった者 (3) 学校長が責任をもって推薦できる者 (4) 合格した場合は、入学することを確約できる者 (5) 次に示す競技種目において競技実績を持つ者。 体操競技、陸上競技、バレーボール、バスケットボール、サッカー、硬式野球、硬式テニス、ソフトテニス、卓球、バドミントン、ダンス、剣道		
選抜方法等	大学入学共通テストを課さず、講義理解力試験(100点)、問題解決型グループワーク(100点)、振り返り作文(100点)、実技・実技実績調べ(200点)の総点(500点)と調査書、推薦書及び志願理由書を総合して判定します。 講義理解力試験では、教員による講義を聴いた上で、その講義内容を理解しまとめる力を評価するための作文を課します。 問題解決型グループワークでは、課題に沿ってグループ活動を行います。その後、グループワークについての振り返り作文を課します。 グループワークでは受験者の活動の様子(発言、傾聴、行動等)について評価します。 振り返り作文では、グループワークを経た上での課題の理解度とそれをまとめる力を評価します。 実技は、基礎的運動能力試験を実施します。実技実績調べは実技と併せて採点します。 調査書、推薦書及び志願理由書は、出願資格の確認にも用います。		
推薦人員	学校長が推薦できる人員は、教育学部全体で1校につき2人以内とします。		

(注2) は34ページを参照ください。

実施学部等	教育学部学校教育教員養成課程 保健体育教育コース (高知県枠) (注2)	募集人員	2人
出願資格	高等学校を2026年3月卒業(修了)見込みの者で、次の各号に該当する者 (1) 調査書の全体の学習成績の状況が3.8以上で、人格・学力共に優れた者 (2) 学習への熱意と能力を有し、高知県の学校教員を目指す強い意志と情熱をもった者 (3) 学校長が責任をもって推薦できる者 (4) 合格した場合は、入学することを確約できる者 (5) 次に示す競技種目において競技実績を持つ者。 体操競技、陸上競技、バレーボール、バスケットボール、サッカー、硬式野球、硬式テニス、ソフトテニス、卓球、バドミントン、ダンス、剣道		
選抜方法等	大学入学共通テストを課さず、講義理解力試験(100点)、問題解決型グループワーク(100点)、振り返り作文(100点)、実技・実技実績調べ(200点)の総点(500点)と調査書、推薦書及び志願理由書を総合して判定します。 講義理解力試験では、教員による講義を聴いた上で、その講義内容を理解しまとめる力を評価するための作文を課します。 問題解決型グループワークでは、課題に沿ってグループ活動を行います。その後、グループワークについての振り返り作文を課します。 グループワークでは受験者の活動の様子(発言、傾聴、行動等)について評価します。 振り返り作文では、グループワークを経た上での課題の理解度とそれをまとめる力を評価します。 実技は、基礎的運動能力試験を実施します。実技実績調べは実技と併せて採点します。 調査書、推薦書及び志願理由書は、出願資格の確認にも用います。		
推薦人員	学校長が推薦できる人員は、教育学部全体で1校につき2人以内とします。		

(注2) は34ページを参照ください。

実施学部等	理工学部数学物理学科	募集人員	10人
出願資格	高等学校を2026年3月卒業(修了)見込みの者で、次の各号に該当する者 (1) 調査書の全体の学習成績の状況が3.8以上の者 (2) 学校長が責任をもって推薦できる者 (3) 合格した場合は、入学することを確約できる者		
選抜方法等	大学入学共通テストを課さず、プレゼンテーション(数学)を含む面接(200点)、調査書、推薦書及び志願理由書を総合して判定します。 プレゼンテーション(数学)を含む面接は、個人面接の方法で行い、複数の採点者が志望動機、学習意欲、適性、数学の基礎知識などを総合的に評価します。なお、プレゼンテーション(数学)では、プレゼンテーションの内容に対する採点者からの質疑応答も含まれます。調査書、推薦書及び志願理由書は、プレゼンテーション(数学)を含む面接の資料とします。面接時間はおよそ20分です。		
推薦人員	学校長が推薦できる人員に制限はありません。		

実施学部等	理工学部情報科学科	募集人員	8人
出願資格	高等学校を2026年3月卒業（修了）見込みの者で、次の各号に該当する者 (1) 調査書の全体の学習成績の状況が3.8以上の者 (2) 学校長が責任をもって推薦できる者 (3) 合格した場合は、入学することを確約できる者		
選抜方法等	大学入学共通テストを課さず、口頭試問（情報）を含む面接（200点）、調査書、推薦書及び志願理由書を総合して判定します。 口頭試問を含む面接は、個人面接の方法で行い、複数の採点者が志望動機、学習意欲、適性、情報の基礎知識などを総合的に評価します。調査書、推薦書及び志願理由書は、口頭試問を含む面接の資料とします。面接時間はおおよそ20分です。		
推薦人員	学校長が推薦できる人員は、1校につき2人以内とします。		

実施学部等	理工学部生物科学科	募集人員	10人
出願資格	高等学校を2026年3月卒業（修了）見込みの者で、次の各号に該当する者 (1) 調査書の全体の学習成績の状況が3.8以上の者 (2) 学校長が責任をもって推薦できる者 (3) 合格した場合は、入学することを確約できる者		
選抜方法等	大学入学共通テストを課さず、口頭試問（生物、地学から1つを選択）を含む面接（200点）、調査書、推薦書及び志願理由書を総合して判定します。 口頭試問を含む面接は、個人面接の方法で行い、複数の採点者が志望動機、学習意欲、適性、理科の基礎知識などを総合的に評価します。調査書、推薦書及び志願理由書は、口頭試問を含む面接の資料とします。面接時間はおおよそ20分です。		
推薦人員	学校長が推薦できる人員に制限はありません。		

実施学部等	理工学部化学学生命理工学科	募集人員	13人
出願資格	高等学校を2026年3月卒業（修了）見込みの者で、次の各号に該当する者 (1) 調査書の全体の学習成績の状況が3.8以上の者 (2) 学校長が責任をもって推薦できる者 (3) 合格した場合は、入学することを確約できる者		
選抜方法等	大学入学共通テストを課さず、口頭試問（化学、生物から1つを選択）を含む面接（200点）、調査書、推薦書及び志願理由書を総合して判定します。 口頭試問を含む面接は、個人面接の方法で行い、複数の採点者が志望動機、学習意欲、適性、理科の基礎知識などを総合的に評価します。調査書、推薦書及び志願理由書は、口頭試問を含む面接の資料とします。面接時間はおおよそ20分です。		
推薦人員	学校長が推薦できる人員に制限はありません。		

実施学部等	理工学部地球環境防災学科	募集人員	8人
出願資格	高等学校を2026年3月卒業（修了）見込みの者で、次の各号に該当する者 (1) 調査書の全体の学習成績の状況が3.8以上の者 (2) 学校長が責任をもって推薦できる者 (3) 合格した場合は、入学することを確約できる者		
選抜方法等	大学入学共通テストを課さず、口頭試問（物理、化学、地学から1つを選択）を含む面接（200点）、調査書、推薦書及び志願理由書を総合して判定します。 口頭試問を含む面接は、個人面接の方法で行い、複数の採点者が志望動機、学習意欲、適性、理科の基礎知識などを総合的に評価します。調査書、推薦書及び志願理由書は、口頭試問を含む面接の資料とします。面接時間はおおよそ20分です。		
推薦人員	学校長が推薦できる人員に制限はありません。		

実施学部等	医学部看護学科	募集人員	27人
出願資格	高等学校を2026年3月卒業（修了）見込みの者で、次の各号に該当する者 (1) 学習成績・人物が優秀でかつ健康であり、調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者 (2) 看護学に関する勉学意欲が特に強く、将来はその専門分野における実務・指導に携わることを決意している者 (3) 学校長が責任をもって推薦できる者 (4) 合格した場合は、入学することを確約できる者		

選 抜 方 法 等	大学入学共通テストを課さず、総合問題（100 点）、面接（25 点）、調査書、推薦書及び志願理由書を総合して判定します。ただし、面接評価のみで不合格にすることがあります。 面接は、個人面接の方法で行い、態度、論理性、積極性等を評価します。調査書、推薦書、志願理由書は面接の資料とします。また、総合判定に加味することがあります。面接時間はおおよそ 10 分です。
推 薦 人 員	学校長が推薦できる人員に制限はありません。

実 施 学 部 等	農林海洋科学部農林資源科学科 フィールド科学コース（一般推薦A選抜）	募集人員	7 人
出 願 資 格	高等学校を卒業（修了）した者又は 2026 年 3 月卒業（修了）見込みの者で、次の各号に該当する者 (1) 調査書の全体の学習成績の状況が 3.8 以上の者 (2) 学校長が責任をもって推薦できる者、既に高等学校を卒業（修了）した者においては、出身高等学校長が責任をもって推薦できる者 (3) 合格した場合は、入学することを確約できる者		
選 抜 方 法 等	大学入学共通テストを課さず、口頭試問（物理、化学、生物から 1 つを選択）を含む面接（100 点）、調査書、推薦書及び志願理由書を総合して判定します。 口頭試問を含む面接は、個人面接の方法で行い、志望動機、学習意欲、適性、知識について総合的に評価します。口頭試問では、「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」で対応可能な 基礎知識 について質問します。面接時間はおおよそ 20 分です。調査書、推薦書及び志願理由書は口頭試問を含む面接の資料とします。また、総合判定に加味することがあります。		
推 薦 人 員	学校長が推薦できる人員に制限はありません。		

実 施 学 部 等	農林海洋科学部農林資源科学科 フィールド科学コース（一般推薦B選抜（地域志向枠））（注6）	募集人員	5 人
出 願 資 格	高等学校を卒業（修了）した者又は 2026 年 3 月卒業（修了）見込みの者で、次の各号に該当する者 (1) 調査書の全体の学習成績の状況が 3.8 以上の者 (2) 学校長が責任をもって推薦できる者、既に高等学校を卒業（修了）した者においては、出身高等学校長が責任をもって推薦できる者 (3) 合格した場合は、入学することを確約できる者 B 選抜（地域志向枠）出願者は、B 選抜のみの単願または A 選抜との併願が選択できます。		
選 抜 方 法 等	大学入学共通テストを課さず、小論文（100 点）、口頭試問（物理、化学、生物から 1 つを選択）を含む面接（100 点）、調査書、推薦書及び志願理由書を総合して判定します。 小論文は、 日本国内における中山間地域が抱える課題やその解決方法への関心 について問います。 口頭試問を含む面接は、個人面接の方法で行い、志望動機、学習意欲、適性、知識について総合的に評価します。口頭試問では、「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」で対応可能な 基礎知識 について質問します。面接時間はおおよそ 20 分です。調査書、推薦書及び志願理由書は口頭試問を含む面接の資料とします。また、総合判定に加味することがあります。 B 選抜志願者（B 選抜単願及び A 選抜との併願）で合格者を決定します。 A 選抜との併願を選択した者は、B 選抜において不合格であった場合、小論文の点数を除いたうえで A 選抜において判定を行います。		
推 薦 人 員	学校長が推薦できる人員に制限はありません。		

（注 6）は 34 ページを参照ください。

実 施 学 部 等	農林海洋科学部農林資源科学科 フィールド科学コース（専門推薦）（注 3）	募集人員	3 人
出 願 資 格	高等学校の農業、工業、水産に関する学科及び総合学科を卒業（修了）した者又は 2026 年 3 月卒業（修了）見込みの者で、次の各号に該当する者 ただし総合学科については、農業、工業又は水産に関する教科・科目を計 25 単位以上修得（見込みを含む）した者 (1) 調査書の全体の学習成績の状況が 4.3 以上の者 (2) 学校長が責任をもって推薦できる者、既に高等学校を卒業（修了）した者においては、出身高等学校長が責任をもって推薦できる者 (3) 合格した場合は、入学することを確約できる者		
選 抜 方 法 等	大学入学共通テストを課さず、口頭試問を含む面接（100 点）、調査書、推薦書及び志願理由書を総合して判定します。 口頭試問を含む面接は、個人面接の方法で行い、志望動機、学習意欲、適性、知識について総合的に評価します。口頭試問では、本コースに関する専門分野の基礎知識について質問します。面接時間はおおよそ 20 分です。調査書、推薦書及び志願理由書は口頭試問を含む面接の資料とします。また、総合判定に加味することがあります。		
推 薦 人 員	学校長が推薦できる人員に制限はありません。		

（注 3）は 34 ページを参照ください。

実施学部等	農林海洋科学部農林資源科学科 フィールド科学コース (専門推薦(高知県枠)) (注3) (注5)	募集人員	5人
出願資格	高知県内の高等学校の農業、工業、水産に関する学科及び総合学科を卒業(修了)した者又は2026年3月卒業(修了)見込みの者で、次の各号に該当する者 もしくは、高知県在住であって県外の高等学校の農業、工業、水産に関する学科及び総合学科を卒業(修了)した者又は2026年3月卒業(修了)見込みの者で、次の各号に該当する者 ただし総合学科については、農業、工業又は水産に関する教科・科目を計25単位以上修得(見込みを含む)した者 (1) 調査書の全体の学習成績の状況が4.3以上の者 (2) 学校長が責任をもって推薦できる者、既に高等学校を卒業(修了)した者においては、出身高等学校長が責任をもって推薦できる者 (3) 合格した場合は、入学することを確約できる者		
選抜方法等	大学入学共通テストを課さず、口頭試問を含む面接(100点)、調査書、推薦書及び志願理由書を総合して判定します。 口頭試問を含む面接は、個人面接の方法で行い、志望動機、学習意欲、適性、知識について総合的に評価します。口頭試問では、本コースに関する専門分野の基礎知識について質問します。面接時間はおおよそ20分です。調査書、推薦書及び志願理由書は口頭試問を含む面接の資料とします。また、総合判定に加味することがあります。		
推薦人員	学校長が推薦できる人員に制限はありません。		

(注3) 及び (注5) は34ページを参照ください。

実施学部等	農林海洋科学部農林資源科学科 農芸化学コース(高知県枠) (注4) (注5)	募集人員	5人
出願資格	高知県内の高等学校を卒業(修了)した者又は2026年3月卒業(修了)見込みの者で、次の各号に該当する者 (1) 調査書の全体の学習成績の状況が3.8以上の者 (2) 学校長が責任をもって推薦できる者、既に高等学校を卒業(修了)した者においては、出身高等学校長が責任をもって推薦できる者 (3) 合格した場合は、入学することを確約できる者		
選抜方法等	大学入学共通テストを課さず、口頭試問を含む面接(100点)、調査書、推薦書及び志願理由書を総合して判定します。 口頭試問を含む面接は、個人面接の方法で行い、志望動機、意欲、適性、本コースに関連があり興味のある理科分野の基礎知識などを総合的に評価します。面接時間はおおよそ20分です。調査書、推薦書及び志願理由書は口頭試問を含む面接の資料とし、総合判定に加味します。		
推薦人員	学校長が推薦できる人員に制限はありません。		

(注4) 及び (注5) は34ページを参照ください。

実施学部等	地域協働学部地域協働学科	募集人員	10人
出願資格	高等学校を2026年3月卒業(修了)見込みの者で、次の各号に該当する者 (1) 調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者 (2) 学校長が責任をもって推薦できる者 (3) 合格した場合は、入学することを確約できる者		
選抜方法等	大学入学共通テストを課さず、グループ活動及び振り返り演習適性試験※(200点)、作文(100点)、面接(100点)、調査書、推薦書及び志願理由書を総合して判定します。 面接は、個人面接の方法で行い、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」「関心・意欲」の4つの重点評価項目について、複数の採点者が評価します。調査書、志願理由書は面接の資料とします。面接時間はおおよそ10分です。 ※「グループ活動及び振り返り演習適性試験」 この試験では、ごく簡単なグループ活動を行ってもらい、それに続けて、グループ活動の振り返り演習を実施します。振り返り演習では、議論もしくは行動の結果と、グループ活動のプロセスでのチームのあり方について考えてもらいます。採点は、チームとしての成果を向上させる資質という視点から、グループ活動とその後の振り返り演習の両方での受験者の「ふるまい」(発言、傾聴、行為等)について試験者が観察し、行います。		
推薦人員	学校長が推薦できる人員は、1校につき1人とします。		

【注意事項】

- (注 1) 教科教育コースは募集枠の名称であり、2 年次から「国語教育・社会科教育・数学教育・理科教育・英語教育・技術教育・家庭科教育・音楽教育・美術教育・保健体育教育の各コース」のいずれかに分属されます。
- (注 2) 高知県以外の高等学校の卒業(修了)見込みの出願者は「一般枠」とします。高知県の高等学校の卒業(修了)見込み者は、出願時に「一般枠」又は「高知県枠」のいずれかを選択してもらいます。(高知県内の住所から、他県の高等学校に隣接通学している者を含みます。)
- (注 3) フィールド科学コースでは、高知県以外の高等学校の卒業(修了)者又は卒業(修了)見込みの出願者は「専門推薦」とします。高知県の高等学校の卒業(修了)者又は卒業(修了)見込み者は、出願時に「専門推薦」又は「専門推薦(高知県枠)」のいずれかを選択してもらいます。(高知県枠については、高知県内の住所から他県の高等学校に隣接通学している者及び高等学校在学中隣接通学していた者を含みます。)
- (注 4) 農芸化学コースでは、「高知県枠」は高知県の高等学校の卒業(修了)者又は卒業(修了)見込み者を対象とします。
- (注 5) 「高知県枠」は入学後に本学部が開設する「次世代農業教育プログラム」の「次世代農業科学コース」を履修します。
- (注 6) 「地域志向枠」は入学後に、地域への理解、地域の課題とその解決に関する講義・演習科目である地方創生推進土育成科目および指定の準正課活動を履修します。

2 出願期間

2025 年 11 月 2 日 (日) ～ 7 日 (金) (必着)

3 選抜期日

人文社会科学部 (国際社会コース B 選抜および社会科学コース) : 2025 年 11 月 15 日 (土)

人文社会科学部 (人文科学コースおよび国際社会コース A 選抜) : 2025 年 11 月 16 日 (日)

教育学部学校教育教員養成課程 (保健体育教育コース以外のコース) : 2025 年 11 月 16 日 (日)

教育学部学校教育教員養成課程保健体育教育コース : 2025 年 11 月 15 日 (土) ・ 16 日 (日)

理工学部 : 2025 年 11 月 15 日 (土)

医学部看護学科 : 2025 年 11 月 15 日 (土)

農林海洋科学部 農林資源科学科 : 2025 年 11 月 15 日 (土)

地域協働学部 : 2025 年 11 月 15 日 (土)

4 合格者発表日

2025 年 12 月 1 日 (月)

5 不合格者の国公立大学への出願

この学校推薦型選抜 I に出願し不合格となった者は、本学を含めた国公立大学が実施する一般選抜等に出願することができます。

一般選抜の出願期間は、2026 年 1 月 26 日 (月) ～ 2 月 4 日 (水) です。

3 学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す選抜）

入学定員の一部について、大学入学共通テストを課す「学校推薦型選抜Ⅱ」を実施します。

国公立大学の学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課す場合又は課さない場合を含めて）への出願は、一つの大学・学部に限ります。

ただし、本学の大学入学共通テストを課さない学校推薦型選抜Ⅰに不合格となった者は、同一学部・学科・コース等を志望する場合に限り、本学の大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜Ⅱに出願することができます。

1 募集人員・出願資格・選抜方法等

【共通の注意事項】

- ・医学部医学科以外の出願資格の高等学校には、中等教育学校、高等専門学校（3年次）及び文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程並びに文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科を含みます。
- ・医学部医学科の出願資格の高等学校には、中等教育学校、高等専門学校（3年次）並びに文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科を含みます。
- ・推薦人員に制限がある場合は、分校は本校とは別に1校として扱います。
- ・大学入学共通テストの利用教科・科目、配点等は、40～42 ページを参照してください。

実施学部等	人文社会科学部人文社会科学科 社会科学コース	募集人員	5 人
出 願 資 格	高等学校を2026年3月卒業（修了）見込みの者で、次の各号に該当する者 (1) 調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者 (2) 学校長が責任をもって推薦できる者 (3) 合格した場合は、入学することを確約できる者		
選 抜 方 法 等	令和8年度大学入学共通テストの成績、面接に加え、調査書、推薦書及び志願理由書を総合して判定します。 面接は、数人が1組となる集団面接の方法で行い、複数の採点者が総合的に評価します。面接内容は、社会問題に関する関心度合いや理解力や思考力をはかるための質問、志願理由書等の出願書類に関する質問、本コースの教育方針や内容、アドミッション・ポリシーとの適合性及び関心の度合いをはかる質問を行い、理解力、思考力、表現力、勉学意欲を総合的に評価します。志願理由書は、面接の資料とします。		
推 薦 人 員	学校長が推薦できる人員は、1校につき2人以内とします。		

実施学部等	教育学部学校教育教員養成課程 幼児教育コース（一般枠）（注1）	募集人員	2 人
出 願 資 格	高等学校を2026年3月卒業（修了）見込みの者で、次の各号に該当する者 (1) 調査書の全体の学習成績の状況が3.8以上で、人格・学力共に優れた者 (2) 学校教員（保育士）を目指す強い意志と情熱をもった者 (3) 学校長が責任をもって推薦できる者 (4) 合格した場合は、入学することを確約できる者		
選 抜 方 法 等	令和8年度大学入学共通テスト、小論文、集団討論の成績と、調査書、推薦書及び志願理由書を総合して判定します。 小論文は、文章あるいはその他の資料などの内容をよく理解し、自らの考えを的確に論述する能力をみます。集団討論は、保育士・幼稚園教諭という仕事に対する強い関心や意欲、及び質問の意図や人の意見を正確に理解し、自分の考えや意見を的確に伝えることができる能力をみます。調査書、推薦書及び志願理由書は、出願資格の確認にも用います。		
推 薦 人 員	学校長が推薦できる人員は、幼児教育コースの（一般枠）と（高知県枠）を合わせて1校につき3人以内とします。		

（注1）は38ページを参照ください。

実施学部等	教育学部学校教育教員養成課程 幼児教育コース（高知県枠）（注1）	募集人員	2 人
出 願 資 格	高等学校を2026年3月卒業（修了）見込みの者で、次の各号に該当する者 (1) 調査書の全体の学習成績の状況が3.8以上で、人格・学力共に優れた者 (2) 高知県の学校教員（保育士）を目指す強い意志と情熱をもった者 (3) 学校長が責任をもって推薦できる者 (4) 合格した場合は、入学することを確約できる者		
選 抜 方 法 等	令和8年度大学入学共通テスト、小論文、集団討論の成績と、調査書、推薦書及び志願理由書を総合して判定します。 小論文は、文章あるいはその他の資料などの内容をよく理解し、自らの考えを的確に論述する能力をみます。集団討論は、保育士・幼稚園教諭という仕事に対する強い関心や意欲、及び質問の意図や人の意見を正確に理解し、自分の考えや意見を的確に伝えることができる能力をみます。調査書、推薦書及び志願理由書は、出願資格の確認にも用います。		
推 薦 人 員	学校長が推薦できる人員は、幼児教育コースの（一般枠）と（高知県枠）を合わせて1校につき3人以内とします。		

（注1）は38ページを参照ください。

実施学部等	教育学部学校教育教員養成課程 教育科学コース・教科教育コース(注2)・特別支援教育コース (一般枠)(注1)	募集人員	14人
出願資格	高等学校を2026年3月卒業(修了)見込みの者で、次の各号に該当する者 (1) 調査書の全体の学習成績の状況が3.8以上で、人格・学力共に優れた者 (2) 学校教員を目指す強い意志と情熱をもった者 (3) 学校長が責任をもって推薦できる者 (4) 合格した場合は、入学することを確約できる者		
選抜方法等	令和8年度大学入学共通テスト、小論文、集団討論の成績と、調査書、推薦書及び志願理由書を総合して判定します。 小論文は、文章あるいはその他の資料などの内容をよく理解し、自らの考えを的確に論述する能力をみます。集団討論は、教師という仕事に対する強い関心や意欲、及び質問の意図や人の意見を正確に理解し、自分の考えや意見を的確に伝えることができる能力をみます。調査書、推薦書及び志願理由書は、出願資格の確認にも用います。		
推薦人員	学校長が推薦できる人員は、教育科学コース・教科教育コース・特別支援教育コースの(一般枠)と(高知県枠)を合わせて1校につき3人以内とします。		

(注1)、(注2)は38ページを参照ください。

実施学部等	教育学部学校教育教員養成課程 教育科学コース・教科教育コース(注2)・特別支援教育コース (高知県枠)(注1)	募集人員	14人
出願資格	高等学校を2026年3月卒業(修了)見込みの者で、次の各号に該当する者 (1) 調査書の全体の学習成績の状況が3.8以上で、人格・学力共に優れた者 (2) 高知県の学校教員を目指す強い意志と情熱をもった者 (3) 学校長が責任をもって推薦できる者 (4) 合格した場合は、入学することを確約できる者		
選抜方法等	令和8年度大学入学共通テスト、小論文、集団討論の成績と、調査書、推薦書及び志願理由書を総合して判定します。 小論文は、文章あるいはその他の資料などの内容をよく理解し、自らの考えを的確に論述する能力をみます。集団討論は、教師という仕事に対する強い関心や意欲、及び質問の意図や人の意見を正確に理解し、自分の考えや意見を的確に伝えることができる能力をみます。調査書、推薦書及び志願理由書は、出願資格の確認にも用います。		
推薦人員	学校長が推薦できる人員は、教育科学コース・教科教育コース・特別支援教育コースの(一般枠)と(高知県枠)を合わせて1校につき3人以内とします。		

(注1)、(注2)は38ページを参照ください。

実施学部等	理工学部数学物理学科	募集人員	4人
出願資格	高等学校を2026年3月卒業(修了)見込みの者で、次の各号に該当する者 (1) 調査書の全体の学習成績の状況が3.8以上の者 (2) 学校長が責任をもって推薦できる者 (3) 合格した場合は、入学することを確約できる者		
選抜方法等	令和8年度大学入学共通テストの成績、口頭試問(物理、化学から1つを選択)を含む面接に加え、調査書、推薦書及び志願理由書を総合して判定します。 口頭試問を含む面接は、個人面接の方法で行い、複数の採点者が志望動機、学習意欲、適性、理科の基礎知識などを総合的に評価します。面接時間はおおよそ20分です。調査書、推薦書、志願理由書及び活動報告書は口頭試問を含む面接の資料とします。		
推薦人員	学校長が推薦できる人員に制限はありません。		

実施学部等	医学部医学科	募集人員	20人以内(注3)
出願資格	四国・瀬戸内地域(高知県、香川県、徳島県、愛媛県、兵庫県、岡山県、広島県、山口県)の高等学校を2024年4月から2026年3月までに卒業又は卒業見込みの者で、高等学校長が責任をもって推薦でき、かつ、次の(1)から(5)のすべての要件を満たす者 (1) 高知県内の地域医療に従事する強い意欲を持つとともに、卒業後は高知県内の地域医療に貢献することを確約できる者 (2) 調査書の全体の学習成績の状況が4.3以上の者 (3) 医療従事者に不可欠な問題解決能力、態度・習慣、適性を具備している者 (4) 合格した場合は、入学することを確約できる者 (5) 入学した場合は、「高知県医師養成奨学金」を6年間受給することを確約できる者		

選 抜 方 法 等	令和 8 年度大学入学共通テストの成績、面接に加え、調査書、推薦書及び志望理由書を総合して判定します。 面接は、個人面接の方法で行い、志望動機、意欲、適性等について総合的に評価します。 面接時間はおおよそ 15 分です。 ただし、面接評価のみで不合格にすることがあります。調査書、推薦書及び志望理由書は面接の資料とします。
推 薦 人 員	学校長が推薦できる人員に制限はありません。

~~(注 3) は 38 ページを参照ください。~~

実 施 学 部 等	農林海洋科学部海洋資源科学科 海洋生物生産学コース(一般推薦)	募集人員	6 人
出 願 資 格	高等学校を卒業(修了)した者又は 2026 年 3 月卒業(修了)見込みの者で、次の各号に該当する者 ただし、農業、工業、水産に関する学科及び総合学科で農業、工業又は水産に関する教科・科目を計 25 単位以上修得(見込みを含む)した者を除く (1) 学業成績・人物が優秀な者 (2) 学校長が責任をもって推薦できる者、既に高等学校を卒業(修了)した者においては、出身高等学校長が責任をもって推薦できる者 (3) 合格した場合は、入学することを確約できる者		
選 抜 方 法 等	令和 8 年度大学入学共通テストの成績、面接に加え、調査書及び推薦書を総合して判定します。 面接は、個人面接の方法で行い、志望動機、意欲、適性について総合的に評価します。面接時間はおおよそ 10 分です。調査書、推薦書は面接の資料とします。		
推 薦 人 員	学校長が推薦できる人員に制限はありません。		

実 施 学 部 等	農林海洋科学部海洋資源科学科 海洋生物生産学コース(専門推薦)	募集人員	2 人
出 願 資 格	高等学校の農業、工業、水産に関する学科及び総合学科を卒業(修了)した者又は 2026 年 3 月卒業(修了)見込みの者で、次の各号に該当する者 ただし、総合学科については、農業、工業又は水産に関する教科・科目を計 25 単位以上修得(見込みを含む)した者 (1) 調査書の全体の学習成績の状況が 4.3 以上の者 (2) 学校長が責任をもって推薦できる者、既に高等学校を卒業(修了)した者においては、出身高等学校長が責任をもって推薦できる者 (3) 合格した場合は、入学することを確約できる者		
選 抜 方 法 等	令和 8 年度大学入学共通テストの成績、面接に加え、調査書及び推薦書を総合して判定します。 面接は、個人面接の方法で行い、志望動機、意欲、適性について総合的に評価します。面接時間はおおよそ 10 分です。調査書、推薦書は面接の資料とします。		
推 薦 人 員	学校長が推薦できる人員に制限はありません。		

実 施 学 部 等	農林海洋科学部海洋資源科学科 海底資源環境学コース	募集人員	5 人
出 願 資 格	高等学校を卒業(修了)した者又は 2026 年 3 月卒業(修了)見込みの者で、次の各号に該当する者 (1) 学業成績・人物が優秀な者 (2) 学校長が責任をもって推薦できる者、既に高等学校を卒業(修了)した者においては、出身高等学校長が責任をもって推薦できる者 (3) 合格した場合は、入学することを確約できる者		
選 抜 方 法 等	令和 8 年度大学入学共通テストの成績、面接により総合的に判定します。 面接は、個人面接の方法で行い、志望動機などから、思考力等、主体性等及び関心意欲を総合的に評価します。調査書、推薦書は面接の資料とします。		
推 薦 人 員	学校長が推薦できる人員に制限はありません。		

実 施 学 部 等	農林海洋科学部海洋資源科学科 海洋生命科学コース	募集人員	4 人
出 願 資 格	高等学校を卒業(修了)した者又は 2026 年 3 月卒業(修了)見込みの者で、次の各号に該当する者 (1) 学業成績・人物が優秀な者 (2) 学校長が責任をもって推薦できる者、既に高等学校を卒業(修了)した者においては、出身高等学校長が責任をもって推薦できる者 (3) 合格した場合は、入学することを確約できる者		
選 抜 方 法 等	令和 8 年度大学入学共通テストの成績、面接に加え、調査書及び推薦書を総合して判定します。 面接は、個人面接の方法で行い、志望動機、意欲、適性について総合的に評価します。調査書、推薦書は面の資料とします。		
推 薦 人 員	学校長が推薦できる人員に制限はありません。		

【注意事項】

- (注1) 高知県以外の高等学校の卒業見込みの出願者は「一般枠」とします。高知県の高等学校の卒業(修了)見込み者は、出願時に「一般枠」又は「高知県枠」のいずれかを選択してもらいます。(高知県内の住所から、他県の高등학교に隣接通学している者を含みます。)
- (注2) 教科教育コースは募集枠の名称であり、2年次から「国語教育・社会科教育・数学教育・理科教育・英語教育・技術教育・家庭科教育・音楽教育・美術教育・保健体育教育の各コース」のいずれかに分属されます。

~~(注3) 募集人員は「20人」となるよう現在調整中です。確定次第、本学ホームページに掲載します。~~

2 出願期間 (必着)

人文社会科学部人文社会科学科社会科学コース：2025年12月2日(火)～8日(月)
教育学部、理工学部数学物理学科、農林海洋科学部：2026年1月19日(月)～23日(金)
医学部医学科：2025年11月17日(月)～21日(金)

3 選抜期日

人文社会科学部人文社会科学科社会科学コース：2025年12月13日(土)
教育学部、理工学部数学物理学科、農林海洋科学部：2026年1月31日(土)
医学部医学科：2025年12月17日(水)～19日(金)のうち1日

4 合格者発表日

2026年2月11日(水)

5 不合格者の国公立大学への出願

この学校推薦型選抜Ⅱに出願し不合格となった場合に備えて、本学を含めた国公立大学が実施する一般選抜に出願することができます。一般選抜の出願期間は、2026年1月26日(月)～2月4日(水)です。

6 実施教科・科目等

(1) 各学部共通の注意事項

【表中の教科・科目等の表記について】

- 大学入学共通テストの利用教科・科目名等は略しています。(正式名称は、19ページを参照してください。)

【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

- 理科教科において「基礎を付した科目」とは、「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」を指し、「基礎を付していない科目」とは、「物理」「化学」「生物」「地学」を指します。
- 利用教科・科目の中で、指定された教科・科目数を超えて受験している場合には、選択となる各教科・科目において、高得点の科目の成績を用います。ただし、「地理歴史」、「公民」及び「理科」については、本学の指定する利用科目数が1科目又は選択の結果、1科目のみの利用となった場合、2科目受験者については、第1解答科目の成績を用いることとし、第1解答科目が本学の指定する利用教科・科目でない場合は合格者となりません。(個別試験等を受験することも出来ません。)
- 理科の基礎を付した科目は、大学入学共通テストにおいて2出題範囲を選択となります。選択した出題範囲が本学の指定する出題範囲でない場合、基礎を付した科目が採用できません。その結果、本学の必要科目を満たさない場合、合格者となりません。
また、基礎を付した科目・基礎を付していない科目両方の得点を採用することになった場合、同一名称を含む選択(例:化学基礎と化学)は認められません。その結果、本学の必要科目を満たさない場合、合格者となりません。ご注意ください。
- 地理歴史・公民においては大学入学共通テストにおいて、選択できる科目の組み合わせに制限があります。ご注意ください。
また、「地理総合/歴史総合/公共」は大学入学共通テストにおいて2出題範囲を選択となります。
- 「外国語」の教科について「英語」は、リーディングとリスニングの成績を用います。

【大学入学共通テスト・個別試験等の配点等】欄

- 数学①、数学②は、大学入学共通テストのグループの別を表します。
- 配点に * を付している教科は選択科目を表します。

- 大学入学共通テストの外国語の配点 200 点は英語を選択の場合、リーディング(100 点)とリスニング(100 点)を換算し配点します。その割合は、教育学部以外はリーディングを 160 点、リスニングを 40 点とし、教育学部はリーディングを 12 点、リスニングを 8 点とします。ただし、受験上の配慮により、リスニングの免除が認められた方はリーディングを 200 点(教育学部は 20 点)に換算して配点します。

(2)各学部の注意事項

以下の内容が表示してある表の下にも注意事項を記載している学部がありますので、必ず参照してください。

・人文社会科学部(学校推薦型選抜Ⅱ)

学科等名		大学入学共通テストの利用教科・科目名				個別試験等		大学入学共通テスト・個別試験等の配点等										
		教科	科目名 ※1	受験を要する 科目数		教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学		理科	情報	外国語	面接	配点 合計
												①	②					
人文社会科学科	社会科学コース	国	「国」	1科目		その他	「面接」	共通テスト	200	*100						200		500
		地歴	「地総、地探」、「歴総、日探」、 「歴総、世探」、「公共、倫理」、 「公共、政経」、「地総/歴総/公共」	1科目	1教科 1科目 又は 2教科 1科目													
		公民	「地総、地探」、「歴総、日探」、 「歴総、世探」、「公共、倫理」、 「公共、政経」、「地総/歴総/公共」															
		数	「数Ⅰ」、「数Ⅰ、数A」、 「数Ⅱ、数B、数C」	1科目														
		理	「物基/化基/生基/地学基」、 「物」、「化」、「生」、「地学」	1科目														
		情	「情報Ⅰ」	1科目														
		外	「英」、「独」、「仏」、「中」、「韓」	1科目														
		〔3教科3科目〕又は〔4教科3科目〕																

【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

※1 表中の「」内を1科目として数えます。

・教育学部(学校推薦型選抜Ⅱ)

学科等名		大学入学共通テストの利用教科・科目名				個別試験等		大学入学共通テスト・個別試験等の配点等											
		教科	科目名 ※2	受験を要する 科目数		教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学		理科	外国語	情報	小論文	集団 討論	配点 合計
												①	②						
学校教育 教員養成課程	幼児教育	国	「国」	1科目		その他 「小論文」、 「集団討論」	共通テスト (パターン1)	20	20 2科目 各10	10	10	10	20	5			95		
		地歴 公民	「地総、地探」、「歴総、日探」、 「歴総、世探」、「公共、倫理」、 「公共、政経」、「地総/歴総/公共」	1科目 又は 2科目	共通テスト (パターン2)		20	20 2科目 各10	10	20 2科目 各10	20	5		95					
		数	「数Ⅰ」、「数Ⅰ、数A」、 「数Ⅱ、数B、数C」	1科目 又は 2科目	3教科 5科目 又は 4教科 5科目		共通テスト (パターン3)	20	10	10	20 2科目 各10	20	5		95				
	教育科学 教科教育 ※1 特別支援	理	「物基/化基/生基/地学基」、 「物」、「化」、「生」、「地学」	1科目 又は 2科目	個別試験等								50	50	100				
		外	「英」、「独」、「仏」、「中」、「韓」	1科目	計		20	50						20	5	50	50	195	
		情	「情報Ⅰ」	1科目															
		〔6教科8科目〕又は〔7教科8科目〕																	

【学科等名】欄

※1 教科教育コースは募集枠の名称であり、2年次から「国語教育・社会科教育・数学教育・理科教育・英語教育・技術教育・家庭科教育・音楽教育・美術教育・保健体育教育の各コース」のいずれかに分属されます。

【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

※2 表中の「」内を1科目として数えます。

・理工学部(学校推薦型選抜Ⅱ)

学科等名	大学入学共通テストの利用教科・科目名			個別試験等		大学入学共通テスト・個別試験等の配点等												
	教科	科目名 ※1	受験を要する科目数	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学		理科	外国語	情報	面接	配点合計		
										①	②							
数学物理学科	国	「国」	1科目	その他	「口頭試問 (物理・化学から1つを選択)を含む面接」	共通テスト	200				100	100	200 2科目各100	200	50		850	
	数	「数Ⅰ」、「数Ⅱ、数A」	1科目			個別試験等												
		「数Ⅱ、数B、数C」	1科目															
	理	「物」、「化」、「生」、「地学」	2科目														200	200
	外	「英」、「独」、「仏」、「中」、「韓」	1科目			計	200			200	200	200	50	200	1050			
	情	「情報Ⅰ」	1科目															
[5教科7科目]																		

【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

※1 表中の「」内を1科目として数えます。

・医学部(学校推薦型選抜Ⅱ)

医学部(学校推薦型選抜Ⅱ)

学科等名	大学入学共通テストの利用教科・科目名			個別試験等		大学入学共通テスト・個別試験等の配点等										
	教科	科目名 ※1	受験を要する科目数	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学		理科	外国語	情報	面接	配点合計
										①	②					
医学科	国	「国」	1科目	その他	「面接」	共通テスト	200	100		100	100	200 2科目各100	200	50		950
	地歴	「地総、地探」、「歴総、日探」、「歴総、世探」、「公共、倫理」、「公共、政経」	1科目													
	公民					個別試験等										非公表
	数	「数Ⅰ、数A」	1科目													
		「数Ⅱ、数B、数C」	1科目													
	理	「物」、「化」、「生」	2科目													
	外	「英」	1科目			計	200	100		200		200	200	50		950
	情	「情報Ⅰ」	1科目													
〔6教科8科目〕																

【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

※1 表中の「」内を1科目として数えます。

・農林海洋科学部（学校推薦型選抜Ⅱ）

学科等名		大学入学共通テストの利用教科・科目名			個別試験等		大学入学共通テスト・個別試験等の配点等											
		教科	科目名 ※1	受験を要する 科目数	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学		理科	外国語	情報	面接	配点 合計	
											①	②						
海洋資源科学科	海洋生物生産学 コース (一般推薦) (専門推薦)	国	「国」	1科目	その他	「面接」	共通テスト	200			100		200	200	50			750
		数	「数I」、「数I, 数A」、 「数II, 数B, 数C」	1科目														
		理	「物基/化基/生基/地学基」、 「物」、「化」、「生」、「地学」	1科目			個別試験等									100	100	
		外	「英」、「独」、「仏」、「中」、「韓」	1科目														
		情	「情報 I」	1科目			計	200			100		200	200	50	100	850	
		〔5教科5科目〕																
	海底資源環境学 コース	国	「国」	1科目	その他	「面接」	共通テスト	100			50	50	400 2科目 各200	200	25			825
		数	「数 I」、「数 I, 数A」	1科目														
			「数II, 数B, 数C」	1科目			個別試験等									100	100	
		理	「物」、「化」、「生」、「地学」	2科目														100
		外	「英」、「独」、「仏」、「中」、「韓」	1科目														
		情	「情報 I」	1科目														
	〔5教科7科目〕																	
	海洋生命科学コース	国	「国」	1科目	その他	「面接」	共通テスト	100	50		50	50	200	200	50			700
		地歴	「地総,地探」、「歴総,日探」、 「歴総,世探」、「公,倫」、 「公,政経」、「地総/歴総/公共」	1科目														
		公民	「公,政経」、「地総/歴総/公共」															
		数	「数 I」、「数 I, 数A」	1科目			個別試験等									150	150	
			「数II, 数B, 数C」	1科目														
		理	「物基/化基/生基/地学基」、 「物」、「化」、「生」、「地学」	1科目														
		外	「英」、「独」、「仏」、「中」、「韓」	1科目			計	100	50		100		200	200	50	150	850	
		情	「情報 I」	1科目														
	〔6教科7科目〕又は〔7教科7科目〕																	

【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

※1 表中の「」内を1科目として数えます。

4 総合型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない選抜）

入学定員の一部について、大学入学共通テストを課さない「総合型選抜Ⅰ」を実施します。

実施学部等	人文社会科学部人文社会科学科 社会科学コース	募集人員	8人
出願資格及び要件	以下の1の(1)～(3)のいずれかに該当し、かつ、2の(1)～(5)のいずれか若しくは複数に該当し、合格した場合には必ず入学することを確認できる者 1 (1)高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者又は2026年3月卒業見込みの者 (2)通常の課程による12年の学校教育を修了した者又は2026年3月修了見込みの者 (3)学校教育法施行規則(昭和22年文部省令第11号)第150条(第6号及び第7号を除く)の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者又は2026年3月31日までにこれに該当する見込みの者 上記の(3)に該当する者は、次のとおりです。 ①外国において、学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの ②文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者 ③専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者 ④文部科学大臣の指定した者 ⑤高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者(旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。)で、2026年3月31日現在満18歳以上の者 2 (1)知識・技能：高等学校等で履修した科目について基礎的事項を理解している。 (2)思考力・判断力・表現力：社会に存在する諸問題の解決に、専門・学際両面から取り組むための論理的思考力と理性的判断力を有する。 (3)思考力・判断力・表現力：社会や自己を客観的にとらえることができ、自己の考えを他者に伝えるように表現することができる。 (4)主体性・多様性・協働性(※主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度)：社会科系の科目を積極的に学び、読書等を通じ、社会制度、社会問題に関する知識や理解力を高める習慣を獲得している。 (5)関心・意欲：経済・経営・会計・法律・政治等に関連する社会的なことがらについて、主体的に課題を発見し、多面的に課題を検討して、課題の解決に取り組む意思がある。		
選抜方法等	大学入学共通テストは課しません。 選抜は、第1次選抜と第2次選抜を行います。 第1次選抜合格者に対して、第2次選抜を行い、最終合格者を決定します。 (1)第1次選抜：志願理由書の評価(100点)と、本学で実施する講義理解力試験(100点)の結果を総合して、第1次選抜合格者を募集人員の2倍程度を基準として選抜します。 (2)第2次選抜：第1次選抜合格者に対して、ゼミナール形式の授業(少人数のグループで討論したり一定の課題を考えたりする授業)に関する適性試験(100点)とそれを踏まえた作文(100点)及び面接(100点)を実施し、当コースで学ぶ意欲、目的意識、自己表現力の他、当コースが重視しているゼミナール活動への適合性を総合的に判断します。 (第1次選抜の講義理解力試験(100点)の結果も利用します。) ※調査書は参考資料とします。		
出願期間	2025年9月1日(月)～9月5日(金) 17時まで(必着)		
選抜期日	第1次選抜:2025年9月12日(金) 第2次選抜:2025年10月11日(土)		
合格者発表日	第1次選抜:2025年9月26日(金) 最 終:2025年11月1日(土)		
その他	この総合型選抜Ⅰに出願し不合格となった者は、本学を含めた国公立大学が実施する一般選抜等に出願することができます。 募集要項は(https://nyusi.kochi-u.jp/nyushi)から閲覧またはダウンロードしてください。		

実施学部等	理工学部数学物理学科	募集人員	4人
出願資格及び要件	以下の(1)～(3)のいずれかに該当し、かつ、理工学部数学物理学科のアドミッションポリシーのいずれか若しくは複数に該当し、合格した場合には必ず入学することを確約できる者 (1)高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者又は2026年3月卒業見込みの者 (2)通常の課程による12年の学校教育を修了した者又は2026年3月修了見込みの者 (3)学校教育法施行規則(昭和22年文部省令第11号)第150条(第6号及び第7号を除く)の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者又は2026年3月31日までにこれに該当する見込みの者 上記の(3)に該当する者は、次のとおりです。 ①外国において、学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの ②文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者 ③専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者 ④文部科学大臣の指定した者 ⑤高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者(旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。)で、2026年3月31日現在満18歳以上の者		
選抜方法等	大学入学共通テストは課しません。 選抜は、第1次選抜と第2次選抜を行います。 第1次選抜合格者に対して、第2次選抜を行い、最終合格者を決定します。 (1)第1次選抜：物理に関する知識・技能や当学科で学ぶ関心・意欲に重点を置いて、志願理由書及び調査書の内容を総合的に評価(100点)し、募集人員の2倍程度を第1次選抜合格者として決定します。 (2)第2次選抜：当学科の教員による物理に関する模擬授業(講義、実験、実習を含む)を行い、その理解力を確認するための小論文と口頭試問を含む面接(200点)を実施します。口頭試問では思考力・判断力・表現力及び物理に関する知識・技能を、面接では関心・意欲・態度を重点的に見て、第1次選抜の成績に加えたうえで、最終合格者を決定します。志願理由書・調査書及び小論文は口頭試問を含む面接の資料とします。また、総合判定に加味することがあります。		
出願期間	2025年9月1日(月)～9月5日(金)17時まで(必着)		
選抜期日	第1次選抜:出願書類による選抜 第2次選抜:2025年10月11日(土)		
合格者発表日	第1次選抜:2025年9月26日(金) 最 終:2025年11月1日(土)		
その他	この総合型選抜Ⅰに出願し不合格となった者は、本学を含めた国公立大学が実施する一般選抜等に出願することができます。 募集要項は(https://nyusi.kochi-u.jp/nyushi)から閲覧またはダウンロードしてください。		

実施学部等	理工学部地球環境防災学科	募集人員	7人
出願資格及び要件	以下の1の(1)～(3)のいずれかに該当し、かつ、2の(1)～(3)のいずれか若しくは複数に該当し、合格した場合には必ず入学することを確約できる者 1 (1)高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者又は2026年3月卒業見込みの者 (2)通常の課程による12年の学校教育を修了した者又は2026年3月修了見込みの者 (3)学校教育法施行規則(昭和22年文部省令第11号)第150条(第6号及び第7号を除く)の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者又は2026年3月31日までにこれに該当する見込みの者 上記の(3)に該当する者は、次のとおりです。 ①外国において、学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの ②文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者 ③専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者 ④文部科学大臣の指定した者 ⑤高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者(旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。)で、2026年3月31日現在満18歳以上の者 2 (1)入学までの過程で、理科系の科目を積極的に学び、読書等を通じ、自然環境や自然災害の問題に関する知識や理解力を高める習慣を獲得している学生を受け入れます。 (2)自然との共生や国土の望ましい姿を模索・創造するための広い視野と柔軟な思考力を身に付けたい学生を受け入れます。 (3)さまざまな行動体験について、体験から学んだことを深く考えることができ、また、客観的な視点でとらえることのできる学生を受け入れます。		
選抜方法等	大学入学共通テストは課しません。 選抜は、第1次選抜と第2次選抜を行います。 第1次選抜合格者に対して、第2次選抜を行い、最終合格者を決定します。 (1)第1次選抜：当学科で学ぶ関心・意欲・適性に重点を置いて、志願理由書及び調査書の内容を総合的に評価(100点)し、募集人員の3倍程度を第1次選抜合格者として決定します。 (2)第2次選抜：模擬授業に基づく理解力と思考力を問う面接(100点)によって、学習意欲、目的意識、適合性、自己表現力を総合的に評価します。志願理由書及び調査書は面接の資料とします。		
出願期間	2025年9月1日(月)～9月5日(金) 17時まで(必着)		
選抜期日	第1次選抜:出願書類による選抜 第2次選抜:2025年10月11日(土)		
合格者発表日	第1次選抜:2025年9月26日(金) 最 終:2025年11月1日(土)		
その他	この総合型選抜Ⅰに出願し不合格となった者は、本学を含めた国公立大学が実施する一般選抜等に出願することができます。 募集要項は(https://nyusi.kochi-u.jp/nyushi)から閲覧またはダウンロードしてください。		

実施学部等	医学部医学科	募集人員	30 人以内
出願資格 及び要件	以下の 1 の(1)～(3)、2 の(1)～(2)の全てに該当し、かつ、合格した場合には必ず入学することを確約できる者 1 (1)高等学校若しくは中等教育学校を 2024 年 4 月から 2026 年 3 月までに卒業又は卒業見込みの者 (文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定した在外教育施設の卒業及び卒業見込みの者を含む) (2)高等学校若しくは中等教育学校における調査書の全体の学習成績の状況が 4.3 以上の者 (3)本学医学部の総合型選抜Ⅰの受験経験を有しない者 ただし、過去において本学医学部総合型選抜Ⅰを受験した者であっても、第 1 次選抜に不合格となった者は出願することができます。 2 (1)本学部への志望動機が明確であり、高知県内の地域医療に従事する強い意欲及び医学研究に対する強い志望動機を持つとともに、卒業後は高知県内の医療機関で 2 年間の医師臨床研修を行うことを確約できる者 (2)医学研究・医療従事者に不可欠な問題解決能力、態度、適性を具備している者		
選抜方法等	大学入学共通テストは課しません。 選抜は、第 1 次選抜と第 2 次選抜を行います。 第 1 次選抜では、募集人員の約 2 倍を限度として合格者を決定します。 第 1 次選抜合格者に対して、第 2 次選抜を行い、最終合格者を決定します。 (1)第 1 次選抜：本学で実施する試験[総合問題]及び英語資格・検定試験の結果を総合して選抜します。 (2)第 2 次選抜：態度・習慣領域評価及び面接の結果を総合して選抜します。 自己推薦書、活動報告書、調査書は面接の資料とします。 面接では、冒頭に医学科への志望理由と高知大学を選んだ理由を 3 分程度で話してもらいます。その後、過去 3 年間で継続的に取り組んだ活動(課題研究、部活動、ボランティアなど)についての具体的な状況を質問します。ご自身が一番熱心に取り組んだ活動を明確にしておいてください。ただし、第 1 次選抜試験の結果を参考として用いることがあります。		
出願期間	2025 年 9 月 1 日(月) ～ 9 月 5 日(金) 17 時まで(必着)		
選抜期日	第 1 次選抜:2025 年 9 月 13 日(土) 第 2 次選抜:2025 年 10 月 28 日(火) ～ 11 月 7 日(金)のうち 2 日間(1 日～3 日は除く)		
合格者発表日	第 1 次選抜:2025 年 10 月 16 日(木) 最 終:2025 年 11 月 13 日(木)		
その他	この総合型選抜Ⅰに出願し不合格となった者は、本学を含めた国公立大学が実施する一般選抜等に出願することができます。 募集要項は(https://nyusi.kochi-u.jp/nyushi)から閲覧またはダウンロードしてください。		

実施学部等	農林海洋科学部農林資源科学科 フィールド科学コース	募集人員	一般枠 10 人 高知県枠 5 人
出 願 資 格 及 び 要 件	以下の 1 の(1)～(3)のいずれかに該当し、かつ、2 の(1)～(3)のいずれか若しくは複수에該当し、合格した場合には必ず入学することを確約できる者 高知県枠の出願者については、加えて 3 の(1)～(2)のいずれかに該当する者。 1 (1)高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者又は 2026 年 3 月卒業見込みの者 (2)通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者又は 2026 年 3 月修了見込みの者 (3)学校教育法施行規則(昭和 22 年文部省令第 11 号)第 150 条(第 6 号及び第 7 号を除く)の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者又は 2026 年 3 月 31 日までにこれに該当する見込みの者 上記の(3)に該当する者は、次のとおりです。 ①外国において、学校教育における 12 年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの ②文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者 ③専修学校の高等課程(修業年限が 3 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者 ④文部科学大臣の指定した者 ⑤高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者(旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。)で、2026 年 3 月 31 日現在満 18 歳以上の者 2 (1) 農林業や環境保全を対象とするフィールド科学の修得に必要となる、高等学校卒業程度の教科学習に関する知識・技能を有する人 (2) 物事を客観的にとらえることができ、得られた知識及びデータに基づいて科学的・合理的思考ができる人 (3) 社会に貢献する熱意があり、地域の課題を率先的に学んで解決に導く意欲がある人 3 (1) 高知県内に所在する、上記1の(1)～(3)に該当する教育機関を卒業(修了)した者又は 2026 年 3 月に卒業(修了)見込みの者(県外在住者を含む) (2) 高知県在住であって、県外に所在する上記1の(1)～(3)に該当する教育機関を卒業(修了)した者又は 2026 年 3 月に卒業(修了)見込みの者 なお、上記 3 の(1)～(2)に該当する者であっても、高知県枠でなく一般枠で出願することも可能です。		
選 抜 方 法 等	入学者の選抜は、大学入学共通テストを課さず、以下の第 1 次選抜及び第 2 次選抜により行います。 (1)第 1 次選抜(出願書類による選抜) 本コースで学ぶ関心・意欲・適性に重点を置いて、志願理由書及び調査書を総合的に評価(100 点)し、募集人員の 2 倍程度を第 1 次選抜合格者として決定します。 (2)第 2 次選抜 第 1 次選抜の成績(100 点)に加えて、本コースの教員による模擬授業(講義、実験、実習を含む)を行い、その理解力を確認するための小論文(100 点)と口頭試問(物理、化学、生物から 1 つを選択)を含む面接(100 点)を実施して、本コースで学ぶ関心・意欲・態度、<u>理科の「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」</u>で対応可能な基礎知識に重点をおいて、思考・判断・技能・表現を総合的に判断し、最終合格者を決定します。 調査書、志願理由書は口頭試問を含む面接の資料とします。また、総合判定に加味することがあります。		
出 願 期 間	2025 年 9 月 1 日(月) ～ 9 月 5 日(金) 17 時まで(必着)		
選 抜 期 日	第 1 次選抜:出願書類による選抜 第 2 次選抜:2025 年 10 月 11 日(土)		
合格者発表日	第 1 次選抜:2025 年 9 月 26 日(金) 最 終:2025 年 11 月 1 日(土)		
そ の 他	「高知県枠」は入学後に本学部が開設する「次世代農業教育プログラム」の「次世代農業科学コース」を履修します。 この総合型選抜Ⅰに出願し不合格となった者は、本学を含めた国公立大学が実施する一般選抜等に出願することができます。 募集要項は(https://nyusi.kochi-u.jp/nyushi)から閲覧またはダウンロードしてください。		

実 施 学 部 等	農林海洋科学部農林資源科学科 農芸化学コース	募集人員	地域志向枠 5 人
出 願 資 格 及 び 要 件	以下の 1 の(1)～(3)のいずれかに該当し、かつ、2 の(1)～(3)のいずれか若しくは複数に該当し、合格した場合には必ず入学することを確約できる者 1 (1)高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者又は 2026 年 3 月卒業見込みの者 (2)通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者又は 2026 年 3 月修了見込みの者 (3)学校教育法施行規則(昭和 22 年文部省令第 11 号)第 150 条(第 6 号及び第 7 号を除く)の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者又は 2026 年 3 月 31 日までにこれに該当する見込みの者 上記の(3)に該当する者は、次のとおりです。 ①外国において、学校教育における 12 年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの ②文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者 ③専修学校の高等課程(修業年限が 3 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者 ④文部科学大臣の指定した者 ⑤高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者(旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。)で、2026 年 3 月 31 日現在満 18 歳以上の者 2 (1) 農芸化学分野、DX に関連する専門的知識を修得するために必要となる、高等学校卒業程度の教科学習に関する知識・技能を有する人 (2) 物事を客観的にとらえることができ、得られた知識及びデータに基づいて科学的・合理的思考ができる人 (3) 社会に貢献する熱意があり、地域の課題を率先的に学んで解決に導く意欲がある人		
選 抜 方 法 等	入学者の選抜は、大学入学共通テストを課さず、以下の第 1 次選抜及び第 2 次選抜により行います。 (1) 第 1 次選抜(出願書類による選抜) 当コースで学ぶ関心・意欲・適性に重点を置いて、志願理由書及び調査書を総合的に評価(100 点)し、募集人員の 2 倍程度を第 1 次選抜合格者として決定します。 (2) 第 2 次選抜 第 1 次選抜合格者に対して、「食」、「農」、「地方」をキーワードとして論理的な思考ができ、かつ適切に表現できるかを判断する小論文(100 点)と、本コースで学ぶ関心・意欲・態度を判断する面接(100 点)を実施し、第 1 次選抜の成績を加えて、最終合格者を決定します。 調査書、志願理由書は面接の資料とします。また、総合判定に加味することがあります。		
出 願 期 間	2025 年 9 月 1 日(月) ～ 9 月 5 日(金) 17 時まで(必着)		
選 抜 期 日	第 1 次選抜:出願書類による選抜 第 2 次選抜:2025 年 10 月 11 日(土)		
合格者発表日	第 1 次選抜:2025 年 9 月 26 日(金) 最 終:2025 年 11 月 1 日(土)		
そ の 他	「地域志向枠」は入学後に、地域への理解、地域の課題とその解決に関する講義・演習科目である地方創生推進土育成科目および指定の準正課活動を履修します。 この総合型選抜Ⅰに出願し不合格となった者は、本学を含めた国公立大学が実施する一般選抜等に出願することができます。 募集要項は(https://nyusi.kochi-u.jp/nyushi)から閲覧またはダウンロードしてください。		

実 施 学 部 等	地域協働学部地域協働学科	募集人員	15 人
出 願 資 格 及 び 要 件	以下の (1)～(3)のいずれかに該当し、かつ、地域協働学部のアドミッションポリシーのいずれか若しくは複数に該当し、合格した場合には必ず入学することを確約できる者 (1)高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者又は 2026 年 3 月卒業見込みの者 (2)通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者又は 2026 年 3 月修了見込みの者 (3)学校教育法施行規則(昭和 22 年文部省令第 11 号)第 150 条(第 6 号及び第 7 号を除く)の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者又は 2026 年 3 月 31 日までにこれに該当する見込みの者 上記の(3)に該当する者は、次のとおりです。 ①外国において、学校教育における 12 年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの ②文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者 ③専修学校の高等課程(修業年限が 3 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者 ④文部科学大臣の指定した者 ⑤高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者(旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。)で、2026 年 3 月 31 日現在満 18 歳以上の者		
選 抜 方 法 等	大学入学共通テストは課しません。 選抜は、第 1 次選抜と第 2 次選抜を行います。 第 1 次選抜では、募集人員の 2 倍を上限として合格者を決定します。 第 1 次選抜合格者に対し、第 2 次選抜を行い、最終合格者を決定します。 (1)第 1 次選抜：当学科の教員による講義を行い、その理解力を確認するための試験(小論文形式等)(200 点)及びゼミナール活動適性試験※(100 点)を実施します。両者の成績により、募集人員の 2 倍程度を第 1 次選抜合格者として選抜します。 (2)第 2 次選抜：第 1 次選抜の成績(300 点)に加えて、口頭試問を含む面接(200 点)を評価し、総合して最終合格者を選抜します。 口頭試問を含む面接では、個人面接により、個人課題の成果発表(5 分程度)、発表への質疑応答および志望理由に関する掘り下げ(15 分程度)を行います。個人課題は第 2 次選抜当日、口頭試問を含む面接の前に受験者に対して提示します。その後、口頭試問を含む面接までの間に 60 分程度時間を設け、この間に課題に対する成果物の作成を求めます。個人課題の成果発表は、その成果物に基づき、受験者自身が行います。 調査書は面接の資料とします。 ※「ゼミナール活動適性試験」 ゼミナール活動適性試験では、簡単なグループ活動を行ってもらい、それに続けて、グループ活動の振り返り演習を実施します。振り返り演習では、議論もしくは行動の結果と、グループ活動のプロセスでのチームのあり方について考えてもらいます。採点は、チームとしての成果を向上させる資質という視点から、グループ活動とその後の振り返り演習の両方での受験者の「ふるまい」(発言、傾聴、行為など)について試験者が観察し、行います。		
出 願 期 間	2025 年 9 月 1 日(月) ～ 9 月 5 日(金) 17 時まで(必着)		
選 抜 期 日	第 1 次選抜:2025 年 9 月 12 日(金) 第 2 次選抜:2025 年 10 月 11 日(土)		
合 格 者 発 表 日	第 1 次選抜:2025 年 9 月 26 日(金) 最 終:2025 年 11 月 1 日(土)		
そ の 他	この総合型選抜Ⅰに出願し不合格となった者は、本学を含めた国公立大学が実施する一般選抜等に出願することができます。 募集要項は(https://nyusi.kochi-u.jp/nyushi)から閲覧またはダウンロードしてください。		

5 国際バカロレア選抜(総合型選抜Ⅰ)(大学入学共通テストを課さない選抜)

入学定員の一部について、大学入学共通テストを課さない「国際バカロレア選抜」を実施します。出願に当たっては、日本語による日常会話ができることが必要です。授業は日本語で行い、カリキュラムは他選抜で入学した者と同じです。なお、面接は日本語で行います。

なお、国際バカロレア資格の取得見込で出願し、所定の期日までに IB 最終試験の成績証明書を本学へ提出できない場合は、不合格となります。

実施学部等	人文社会科学部人文社会科学科 国際社会コース	募集人員	若干名
出願資格及び要件	次の各号の要件(1)～(3)のすべてに該当する者 (1) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格証書(IB フルディプロマ)を 2023 年 4 月から 2026 年 3 月までに授与される(見込を含む)者で、2026 年 3 月 31 日までに 18 歳に達する者 (2) 国際バカロレア資格の取得において、次の①～②に該当する者 ① 言語 A(母語)を日本語により Higher Level(以下「HL」という)で履修し成績評価が 4 以上の者、又は言語 B(外国語)について「日本語」を HL で履修し成績評価が 6 以上の者、あるいは Standard Level(以下「SL」という)で履修し成績評価が 7 の者 ② グループ 3「個人と社会」から 1 科目を、HL 又は SL で履修し、成績評価が 4 以上の者 (3) 合格した場合は、入学することを確約できる者		
選抜方法等	書類審査(100 点)及び面接(100 点)にて評価します。書類審査は「志願理由書」「IB 最終試験 6 科目の成績評価証明書」「EE(課題論文の写し)」「TOK(知の理論)の学習成果物」「CAS(創造性活動・奉仕)の概要」「TOEFL 等外部英語試験の成績証明書」を総合的に判定します。面接は個人面接の方法で行い、複数の採点者が志望動機、学習意欲、適性などを総合的に評価します。面接時間はおよそ 20 分です。		
出願期間	2026 年 1 月 19 日(月)～ 1 月 23 日(金)17 時まで(必着)		
選抜期日	2026 年 1 月 31 日(土)		
合格者発表日	2026 年 2 月 11 日(水)		
その他	この国際バカロレア選抜に出願し不合格となった場合に備えて、本学を含めた国公立大学が実施する一般選抜に出願することができます。 募集要項は(https://nyusi.kochi-u.jp/nyushi)から閲覧またはダウンロードしてください。		

実施学部等	教育学部学校教育教員養成課程 教育科学コース・教科教育コース (注)・特別支援教育コース	募集人員	若干名
出願資格及び要件	次の各号の要件(1)～(3)のすべてに該当する者 (1) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格証書(IB フルディプロマ)を 2026 年 3 月までに授与される(見込を含む)者で、2026 年 3 月 31 日までに 18 歳に達する者 (2) 国際バカロレア資格の取得において、次の①～②に該当する者 ① 言語 A(母語)を日本語により Higher Level(以下「HL」という)又は Standard Level(以下「SL」という)で履修し成績評価が 4 以上の者、又は言語 B(外国語)について「日本語」を HL で履修し成績評価が 6 以上の者 ② グループ 3「個人と社会」、グループ 4「理科」、グループ 5「数学」グループ 6「芸術」の中からいずれか 1 科目を HL で履修し成績評価が 4 以上の者 (3) 合格した場合は、入学することを確約できる者		
選抜方法等	書類審査(50 点)及び面接(50 点)にて評価します。書類審査は「志願理由書」「IB 最終試験 6 科目の成績評価証明書」「EE(課題論文の写し)」「TOK(知の理論)の学習成果物」「CAS(創造性活動・奉仕)の概要」「TOEFL 等外部英語試験の成績証明書」を総合的に判定します。面接は個人面接の方法で行い、複数の採点者が志望動機、学習意欲、適性などを総合的に評価します。		
出願期間	2026 年 1 月 19 日(月)～ 1 月 23 日(金) 17 時まで(必着)		
選抜期日	2026 年 1 月 31 日(土)		
合格者発表日	2026 年 2 月 11 日(水)		
その他	この国際バカロレア選抜に出願し不合格となった場合に備えて、本学を含めた国公立大学が実施する一般選抜に出願することができます。 募集要項は(https://nyusi.kochi-u.jp/nyushi)から閲覧またはダウンロードしてください。		

(注)教科教育コースは募集枠の名称であり、2 年次から「国語教育・社会科教育・数学教育・理科教育・英語教育・技術教育・家庭科教育・音楽教育・美術教育・保健体育教育の各コース」のいずれかに分属されます。

実施学部等	教育学部学校教育教員養成課程 科学技術教育コース	募集人員	若干名
出願資格 及び要件	次の各号の要件(1)～(3)のすべてに該当する者 (1) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格証書(IB フルディプロマ)を2026年3月までに授与される(見込を含む)者で、2026年3月31日までに18歳に達する者 (2) 国際バカロレア資格の取得において、次の①～②に該当する者 ① 言語 A(母語)を日本語により Higher Level(以下「HL」という)又は Standard Level(以下「SL」という)で履修し成績評価が4以上の者、又は言語 B(外国語)について「日本語」を HL で履修し成績評価が6以上の者 ② グループ 4「理科」またはグループ 5「数学」の中からいずれか1科目を HL で履修し成績評価が4以上の者 (3) 合格した場合は、入学することを確約できる者		
選抜方法等	書類審査(50点)及び面接(50点)にて評価します。書類審査は「志願理由書」「IB 最終試験 6 科目の成績評価証明書」「EE(課題論文の写し)」「TOK(知の理論)の学習成果物」「CAS(創造性活動・奉仕)の概要」「TOEFL 等外部英語試験の成績証明書」を総合的に判定します。面接は個人面接の方法で行い、複数の採点者が志望動機、学習意欲、適性などを総合的に評価します。		
出願期間	2026年1月19日(月)～1月23日(金) 17時まで(必着)		
選抜期日	2026年1月31日(土)		
合格者発表日	2026年2月11日(水)		
その他	この国際バカロレア選抜に出願し不合格となった場合に備えて、本学を含めた国公立大学が実施する一般選抜に出願することができます。 募集要項は(https://nyusi.kochi-u.jp/nyushi)から閲覧またはダウンロードしてください。		

実施学部等	理工学部数学物理学科	募集人員	若干名
出願資格 及び要件	次の各号の要件(1)～(3)のすべてに該当する者 (1) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格証書(IB フルディプロマ)を2026年3月までに授与される(見込を含む)者で、2026年3月31日までに18歳に達する者 (2) 国際バカロレア資格の取得において、次の①～②に該当する者 ① 言語 A(母語)を日本語により Higher Level(以下「HL」という)又は Standard Level(以下「SL」という)で履修し成績評価が4以上の者、又は言語 B(外国語)について「日本語」を HL で履修し成績評価が6以上の者、あるいは SL で履修し成績評価が7の者 ② グループ 4「理科」から物理あるいは、グループ 5「数学」から数学：解析とアプローチのうち少なくとも1科目を HL で履修している者 (3) 合格した場合は、入学することを確約できる者		
選抜方法等	書類審査(100点)にて評価します。(面接は実施しません。)提出された「志願理由書」「IB 最終試験 6 科目の成績評価証明書」「EE(課題論文の写し)」をもとに、これまで身につけた知識・思考力および主体性、学習意欲などを総合的に評価します。なお、「EE(課題論文の写し)」が日本語以外で記述されている場合、日本語の訳をつけてください。		
出願期間	2026年1月19日(月)～1月23日(金) 17時まで(必着)		
選抜期日	2026年1月31日(土)		
合格者発表日	2026年2月11日(水)		
その他	この国際バカロレア選抜に出願し不合格となった場合に備えて、本学を含めた国公立大学が実施する一般選抜に出願することができます。 募集要項は(https://nyusi.kochi-u.jp/nyushi)から閲覧またはダウンロードしてください。		

実施学部等	理工学部 生物科学科	募集人員	若干名
出願資格及び要件	次の各号の要件(1)～(3)のすべてに該当する者 (1) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格証書(IB フルディプロマ)を2026年3月までに授与される(見込を含む)者で、2026年3月31日までに18歳に達する者 (2) 国際バカロレア資格の取得において、次の①～②に該当する者 ① 言語 A(母語)を日本語により Higher Level(以下「HL」という)又は Standard Level(以下「SL」という)で履修し成績評価が4以上の者、又は言語 B(外国語)について「日本語」を HL で履修し成績評価が6以上の者、あるいは SL で履修し成績評価が7の者 ② グループ 4「理科」から化学、生物の2科目を履修し、うち1科目は HL で履修している者 (3) 合格した場合は、入学することを確約できる者		
選抜方法等	書類審査(100点)及び面接(200点)にて評価します。書類審査は「志願理由書」「IB 最終試験6科目の成績評価証明書」「EE(課題論文の写し)」「TOK(知の理論)の学習成果物」「CAS(創造性活動・奉仕)の概要」「TOEFL 等外部英語試験の成績証明書」を総合的に判定します。面接は口頭試問を含む面接とし、個人面接の方法で行います。なお、口頭試問の範囲は学習指導要領の範囲です。複数の採点者が志望動機、学習意欲、適性など総合的に評価します。		
出願期間	2026年1月19日(月)～1月23日(金) 17時まで(必着)		
選抜期日	2026年1月31日(土)		
合格者発表日	2026年2月11日(水)		
その他	この国際バカロレア選抜に出願し不合格となった場合に備えて、本学を含めた国公立大学が実施する一般選抜に出願することができます。 募集要項は(https://nyusi.kochi-u.jp/nyushi)から閲覧またはダウンロードしてください。		

実施学部等	医学部 医学科	募集人員	若干名
出願資格及び要件	次の各号の要件(1)～(3)のすべてに該当する者 (1) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格証書(IB フルディプロマ)を2026年3月までに授与される(見込を含む)者で、2026年3月31日までに18歳に達する者 (2) 国際バカロレア資格の取得において、次の①～③に該当する者 ① 言語 A(母語)を日本語により Higher Level(以下「HL」という)又は Standard Level(以下「SL」という)で履修し成績評価が4以上の者、又は言語 B(外国語)について「日本語」を HL で履修し成績評価が6以上の者、あるいは SL で履修し成績評価が7の者 ② IB フルディプロマのスコア(45点満点)が35点以上の条件を満たしていること。 ③ グループ 4「理科」のうち物理、化学、生物から2科目(うち1科目は HL)で履修しており、かつグループ 5「数学」のいずれかの科目を HL 又は SL で履修している者。 (3) 合格した場合は、入学することを確約できる者		
選抜方法等	書類審査(150点)及び面接(150点)にて評価します。書類審査は「志願理由書」「IB 最終試験6科目の成績評価証明書」「EE(課題論文の写し)」「TOK(知の理論)の学習成果物」「CAS(創造性活動・奉仕)の概要」「TOEFL 等外部英語試験の成績証明書」を総合的に判定します。面接は個人面接(約25分)の方法で行い、複数の採点者が志望動機、学習意欲、適性などを総合的に評価します。ただし、面接評価のみで不合格にすることがあります。		
出願期間	2025年11月17日(月)～11月21日(金) 17時まで(必着)		
選抜期日	2025年12月19日(金)		
合格者発表日	2026年2月11日(水)		
その他	この国際バカロレア選抜に出願し不合格となった場合に備えて、本学を含めた国公立大学が実施する一般選抜に出願することができます。 募集要項は(https://nyusi.kochi-u.jp/nyushi)から閲覧またはダウンロードしてください。		

実施学部等	農林海洋科学部農林資源科学科 フィールド科学コース	募集人員	若干名
出願資格及び要件	次の各号の要件(1)～(3)のすべてに該当する者 (1) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格証書(IB フルディプロマ)を2026年3月までに授与される(見込を含む)者で、2026年3月31日までに18歳に達する者 (2) 国際バカロレア資格の取得において、次の①～②に該当する者 ① 言語 A(母語)を日本語により Higher Level(以下「HL」という)又は Standard Level(以下「SL」という)で履修し成績評価が4以上の者、又は言語 B(外国語)について「日本語」を HL で履修し成績評価が6以上の者、あるいは SL で履修し成績評価が7の者 ② グループ 4「理科」のうち化学、物理、生物のいずれか、もしくはグループ 5「数学」から1科目を HL 又は SL で履修している者 (3) 合格した場合は、入学することを確約できる者		
選抜方法等	書類審査(100点)及び面接(100点)にて評価します。書類審査は「志願理由書」「IB 最終試験 6 科目の成績評価証明書」「EE(課題論文の写し)」「TOK(知の理論)の学習成果物」「CAS(創造性活動・奉仕)の概要」「TOEFL 等外部英語試験の成績証明書」を総合的に判定します。面接は個人面接の方法で行い、複数の採点者が志望動機、学習意欲、適性などを総合的に評価します。		
出願期間	2026年1月19日(月)～1月23日(金) 17時まで(必着)		
選抜期日	2026年1月31日(土)		
合格者発表日	2026年2月11日(水)		
その他	この国際バカロレア選抜に出願し不合格となった場合に備えて、本学を含めた国公立大学が実施する一般選抜に出願することができます。 募集要項は(https://nyusi.kochi-u.jp/nyushi)から閲覧またはダウンロードしてください。		

実施学部等	農林海洋科学部海洋資源科学科 海洋生物生産学コース	募集人員	若干名
出願資格及び要件	次の各号の要件(1)～(3)のすべてに該当する者 (1) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格証書(IB フルディプロマ)を2026年3月までに授与される(見込を含む)者で、2026年3月31日までに18歳に達する者 (2) 国際バカロレア資格の取得において、次の①～②に該当する者 ① 言語 A(母語)を日本語により Higher Level(以下「HL」という)又は Standard Level(以下「SL」という)で履修し成績評価が4以上の者、又は言語 B(外国語)について「日本語」を HL で履修し成績評価が6以上の者、あるいは SL で履修し成績評価が7の者 ② グループ 4「理科」のうち生物、化学、物理から1科目を HL 又は SL で履修している者 (3) 合格した場合は、入学することを確約できる者		
選抜方法等	書類審査(200点)及び面接(100点)にて評価します。書類審査は「志願理由書」「IB 最終試験 6 科目の成績評価証明書」「EE(課題論文の写し)」「TOK(知の理論)の学習成果物」「CAS(創造性活動・奉仕)の概要」「TOEFL 等外部英語試験の成績証明書」を総合的に判定します。面接は個人面接の方法で行い、複数の採点者が志望動機、学習意欲、適性などを総合的に評価します。		
出願期間	2026年1月19日(月)～1月23日(金) 17時まで(必着)		
選抜期日	2026年1月31日(土)		
合格者発表日	2026年2月11日(水)		
その他	※この国際バカロレア選抜に出願し不合格となった場合に備えて、本学を含めた国公立大学が実施する一般選抜に出願することができます。 募集要項は(https://nyusi.kochi-u.jp/nyushi)から閲覧またはダウンロードしてください。		

6 総合型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す選抜）

入学定員の一部について、大学入学共通テストを課す「総合型選抜Ⅱ」を実施します。
なお、総合型選抜Ⅱは地域志向枠のみを対象とします。

1 募集人員・出願資格・選抜方法等

- ・ 中等教育学校、高等専門学校（3年次）及び文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を含みます。
- ・ 大学入学共通テストの利用教科・科目、配点等は、56 ページを参照してください。

実 施 学 部 等	農林海洋科学部農林資源科学科 フィールド科学コース	募集人員	地域志向枠 5 人
出 願 資 格 及 び 要 件	以下の1～3のすべてに該当する者 1 以下の(1)～(3)のいずれかに該当する者 (1)高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者又は 2026 年 3 月卒業見込みの者 (2)通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者又は 2026 年 3 月修了見込みの者 (3)学校教育法施行規則(昭和 22 年文部省令第 11 号)第 150 条(第 6 号及び第 7 号を除く)の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者又は 2026 年 3 月 31 日までにこれに該当する見込みの者 上記の(3)に該当する者は、次のとおりです。 ①外国において、学校教育における 12 年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの ②文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者 ③専修学校の高等課程(修業年限が 3 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者 ④文部科学大臣の指定した者 ⑤高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者(旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。)で、2026 年 3 月 31 日現在満 18 歳以上の者 2 以下の(1)～(3)のいずれか若しくは複수에該当する者 (1) 農林業や環境保全を対象とするフィールド科学の修得に必要な、高等学校卒業程度の教科学習に関する知識・技能を有する人 (2) 物事を客観的にとらえることができ、得られた知識及びデータに基づいて科学的・合理的思考ができる人 (3) 社会に貢献する熱意があり、地域の課題を率先的に学んで解決に導く意欲がある人 3 合格した場合に必ず入学することを確約できる者		
選 抜 方 法 等	入学者の選抜は、書類審査（100 点）、口頭試問（物理、化学、生物から 1 つを選択）を含む面接（200 点）及び大学入学共通テスト（850 点）により総合的にを行います。 書類審査では、志願理由書及び調査書を総合的に評価(100 点)します。志願理由書は、①当コースのアドミッション・ポリシーや教育方針との適合性、②当コースのカリキュラムへの適合性、③志願理由書に表されている熱意の強さと説得力、の 3 点で当コースの教育に関する適合性について総合的に評価します。また、調査書の記述事項も参考にします。 口頭試問を含む面接は、個人面接の方法で行い、本コースで学ぶ関心・意欲・態度、理科の「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」で対応可能な基礎知識及び日本国内の中山間地域が抱える課題に関する知識に重点をおいて、思考・知識・判断・技能・表現を総合的に判断し、評価します。調査書、志願理由書は口頭試問を含む面接の資料とします。また、総合判定に加味することがあります。		
出 願 期 間	2025 年 12 月 2 日(火) ～ 12 月 8 日(月) 17 時まで(必着)		
選 抜 期 日	2025 年 12 月 13 日(土)		
合 格 者 発 表 日	2026 年 2 月 11 日(水)		
そ の 他	「地域志向枠」は入学後に、地域への理解、地域の課題とその解決に関する講義・演習科目である地方創生推進士育成科目および指定の準正課活動を履修します。		

2 不合格者の国公立大学への出願

この総合型選抜Ⅱに出願し不合格となった場合に備えて、本学を含めた国公立大学が実施する一般選抜に出願することができます。一般選抜の出願期間は、2026 年 1 月 26 日(月)～ 2 月 4 日(水)です。

3 実施教科・科目等

(1) 各学部共通の注意事項

【表中の教科・科目等の表記について】

- ・ 大学入学共通テストの利用教科・科目名等は略しています。(正式名称は、19 ページを参照してください。)

【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

- ・ 理科教科において「基礎を付した科目」とは、「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」を指し、「基礎を付していない科目」とは、「物理」「化学」「生物」「地学」を指します。
- ・ 利用教科・科目の中で、指定された教科・科目数を超えて受験している場合には、選択となる各教科・科目において、高得点の科目の成績を用います。ただし、「地理歴史」、「公民」及び「理科」については、本学の指定する利用科目数が 1 科目又は選択の結果、1 科目のみの利用となった場合、2 科目受験者については、第 1 解答科目の成績を用いることとし、第 1 解答科目が本学の指定する利用教科・科目でない場合は合格者となりません。(個別試験等を受験することも出来ません。)
- ・ 理科の基礎を付した科目は、大学入学共通テストにおいて 2 出題範囲を選択となります。選択した出題範囲が本学の指定する出題範囲でない場合、基礎を付した科目が採用できません。その結果、本学の必要科目を満たさない場合、合格者となりません。
また、基礎を付した科目・基礎を付していない科目両方の得点を採用することになった場合、同一名称を含む選択(例:化学基礎と化学)は認められません。その結果、本学の必要科目を満たさない場合、合格者となりません。ご注意ください。
- ・ 地理歴史・公民においては大学入学共通テストにおいて、選択できる科目の組み合わせに制限があります。ご注意ください。
また、「地理総合/歴史総合/公共」は大学入学共通テストにおいて2出題範囲を選択となります。
- ・ 「外国語」の教科について「英語」は、リーディングとリスニングの成績を用います。

【大学入学共通テスト・個別試験等の配点等】欄

- ・ 数学①、数学②は、大学入学共通テストのグループの別を表します。
- ・ 配点に * を付している教科は選択科目を表します。
- ・ 大学入学共通テストの外国語の配点 200 点は英語を選択の場合、リーディング(100 点)とリスニング(100 点)を換算し配点します。その割合はリーディングを 160 点、リスニングを 40 点とします。ただし、受験上の配慮により、リスニングの免除が認められた方はリーディングを 200 点に換算して配点します。

(2) 注意事項

以下の内容が表示してある表の下の注意事項も、必ず参照してください。

・農林海洋科学部（総合型選抜Ⅱ）

学科等名 (募集人員)		大学入学共通テストの利用教科・科目名			個別試験等		大学入学共通テスト・個別試験等の配点等												
		教科	科目名 ※1	受験を要する 科目数	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学		理科	外国語	情報	面接	志願理由書・調査書	配点合計	
											①	②							
農林資源科学科	フィールド科学コース (5人)	国	「国」	1科目	その他	口頭試問を含む面接 志願理由書・調査書	共通テスト	200	100		100	100	100	200	50				850
		地歴	「地総,地探」、「歴総,日探」、「歴総,世探」、「公共,倫理」、「公共,政経」、「地総/歴総/公共」	1科目															
		数	「数Ⅰ」、「数Ⅰ,数A」	1科目			個別試験等									200	100	300	
			「数Ⅱ,数B,数C」	1科目															
		理	「物基/化基/生基/地学基」、「物」、「化」、「生」、「地学」	1科目			計	200	100		200		100	200	50	200	100	1150	
		外	「英」、「独」、「仏」、「中」、「韓」	1科目															
		情	「情報Ⅰ」	1科目															
		〔6教科7科目〕又は〔7教科7科目〕																	

【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

※1 表中の「」内を1科目として数えます。

7 社会人選抜

実施学部等	理 工 学 部	
	数学物理学科、情報科学科、生物科学科、化学生命理工学科、地球環境防災学科	
募集人員	5 人(各学科 1 人)	
出 願 資 格	2026 年 3 月 31 日現在満 23 歳以上であり、5 年以上の社会人の経験を有する者で、次のいずれかに該当する者 ただし、定時制・夜間・通信制以外の学校の在学期間は、社会人の経験期間に含めません。 1 高等学校又は中等教育学校を卒業した者 2 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者 3 文部科学大臣の指定した者又は 2026 年 3 月 31 日までにこれに該当する見込みの者 4 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者(旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。)又は 2026 年 3 月 31 日までに合格見込みの者 5 旧制諸学校の卒業生又は中途退学者で、文部科学大臣の定めるところにより大学入学資格を有する者 6 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18 歳に達した者 (注) 上記 6 により出願しようとする方は、個別の入学資格審査を行う必要がありますので、「VI 個別の入学資格審査(63～64 ページ)」の実施要項に従って申請してください。	
選 抜 方 法 等	入学者の選抜は、大学入学共通テストを課さず、口頭試問を含む面接及び出願書類を総合して判定します。 口頭試問を含む面接の科目は次のとおりです。	
	学 科	科 目
	数学物理学科	数学、物理、化学から 1 つを選択
	情報科学科	情報
	生物科学科	生物、地学から 1 つを選択
	化学生命理工学科	化学、生物から 1 つを選択
	地球環境防災学科	物理、化学、地学から 1 つを選択
出 願 期 間	2025 年 11 月 2 日(日) ～ 7 日(金) 17 時まで(必着)	
選 抜 期 日	2025 年 11 月 15 日(土)	
合 格 者 発 表 日	2025 年 12 月 1 日(月)	
そ の 他	詳細は、「2026 年度学生募集要項(社会人選抜)高知大学」(2025 年 6 月上旬公表)を参照してください。 募集要項は、高知大学受験生サイト(https://nyusi.kochi-u.jp/nyushi)から<u>閲覧またはダウンロード</u>してください。	

8 私費外国人留学生選抜

私費外国人留学生選抜はA選抜・B選抜があり、それぞれ出願資格及び実施学部・学科が異なります。

1 募集人員

人文社会科学部	人文社会科学科 各コース	A 選抜	若干名
理工学部	各学科・選抜方式区分	A・B 選抜	各若干名
医学部	医学科	A 選抜	若干名
医学部	看護学科	B 選抜	若干名
農林海洋科学部	各学科・コース	A 選抜	若干名

2 出願資格及び要件

【私費外国人留学生選抜 A 選抜】

次の(1)から(3)すべてに該当する者とします。ただし、人文社会科学部人文社会科学科社会科学コースに関しては、【私費外国人留学生選抜 B 選抜】の出願資格に該当する者も、【私費外国人留学生選抜 A 選抜】での出願を認めます。

- (1) 日本国籍を有しない者で、日本国の永住許可を得ていない者
(外国人であっても、日本の高等学校(中等教育学校の後期課程を含む。)を卒業した者又は同等以上の資格を取得した者、及び2026年3月31日までに卒業(取得)見込みの者は、この入試には出願できません。)
- (2) 出入国管理及び難民認定法において、大学入学に支障のない在留資格を有する者又は取得できる見込みの者で、以下の①から⑥のいずれかに該当するもの
 - ① 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び2026年3月31日までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
 - ② スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者
 - ③ ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者
 - ④ フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者
 - ⑤ グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格(GCEA レベル資格)を有する者
 - ⑥ 文部科学大臣が指定する国際的な評価団体(WASC^{*1}、ACSI^{*2}、CIS^{*3})から教育活動等に係る認定を受けた教育施設に置かれる12年の課程を修了した者
 - *1 WASC … ウェスタン・アソシエーション・オブ・スクールズ・アンド・カレッジズ
 - *2 ACSI … アソシエーション・オブ・クリスチャン・スクールズ・インターナショナル
 - *3 CIS … カウンセル・オブ・インターナショナル・スクールズ
- (3) 2025年度日本留学試験において、各学部学科等が指定する教科・科目を受験した者
人文科学コース、国際社会コースに関しては、日本留学生試験の必要教科・科目の受験に加え、2024年4月以降にTOEFL 試験又はIELTSTM試験を受験した者

【私費外国人留学生選抜 B 選抜】

次の(1)から(3)すべてに該当する者とします。

- (1) 日本国籍を有しない者で、日本国の永住許可を得ていない者
- (2) 出入国管理及び難民認定法において、大学入学に支障のない在留資格を有する者又は取得できる見込みの者で、以下の①から③のいずれかに該当する者
 - ① 日本の高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者又は2026年3月卒業見込みの者
 - ② 日本において通常の課程による12年の学校教育を修了した者又は2026年3月修了見込みの者
 - ③ 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (3) 2025年度日本留学試験において、各学部学科等が指定する教科・科目を受験した者

3 入学者選抜方法

入学者の選抜は、2025 年度日本留学試験、TOEFL 試験又は IELTS™ 試験（人文科学コース、国際社会コースのみ）、
 本学が実施する学力試験等及び出願書類を総合して判定します。

学部	学科等		日本留学試験		TOEFL 又は IELTS™	本学が実施する学力試験等
			理系・文系の別[科目]	出題の言語 の指定		
人文社会科学部	人文社会科学科	人文科学コース	文系[日本語、総合科目]	日本語	課す	日本語、面接
		国際社会コース	文系[日本語、総合科目]	日本語	課す	課さない
		社会科学コース	文系 [日本語、総合科目、 数学(コース1)]	日本語	課さない	面接
理工学部	数学物理 学科 ※1	数学受験	理系 [日本語、理科(2 科目選択・科目指定なし)、数学(コース2)]	日本語・英語どちらでも可	課さない	専門教科試験(数学)、面接
		理科受験				専門教科試験(物理、化学より1 科目選択)、面接
	情報科学科	専門教科試験(数学、物理、情報より1 科目選択)、面接				
	生物科学科	専門教科試験(生物、地学より1 科目選択)、面接				
	化学生命理工学科	専門教科試験(化学、生物より1 科目選択)、面接				
	地球環境防災学科	専門教科試験(物理、化学、地学より1 科目選択)、面接				
医学部	医学科		理系 [日本語、理科(2 科目選択・科目指定なし)、数学(コース2)]	日本語	課さない	数学、理科(物理、化学、生物から2科目選択)、英語、面接
	看護学科		理系 [日本語、理科(2 科目選択・科目指定なし)、数学(コース2)	日本語	課さない	小論文 面接
農林海洋科学部	各学科・コース		理系 [日本語、理科(2 科目選択・科目指定なし)、数学(コース2)]	日本語・英語どちらでも可	課さない	面接

※1・・・理工学部数学物理学科において、「数学受験」「理科受験」は入学試験における選抜方式の区分であり、入学後の
 教育コース選択を縛るものではありません。

4 出願期間

2026 年 1 月 19 日(月) ～ 1 月 23 日(金) 17 時まで(必着)

5 選抜期日

人文社会科学部、理工学部、農林海洋科学部 2026 年 1 月 31 日(土)
 医学部 2026 年 2 月 25 日(水)、26 日(木)
 (看護学科においては 2 月 25 日(水)のみ)

6 合格者発表日

人文社会科学部、理工学部、農林海洋科学部 2026 年 2 月 11 日(水)
 医学部 2026 年 3 月 6 日(金)

7 その他

詳細は、「2026 年度学生募集要項[私費外国人留学生選抜(学部学生)]」(2025 年 6 月上旬公表)を参照してくださ
 い。

募集要項は、高知大学受験生サイト（<https://nyusi.kochi-u.jp/nyushi>）から閲覧またはダウンロードしてくださ
 い。

V 障害等のある者の出願

障害等のある入学志願者で、受験上の配慮及び修学上の支援を必要とする場合は、出願に先立ち、以下の方法により本学と事前相談を行うことが可能です。なお、相談内容によっては対応に時間を要する場合や対応できない場合もありますので、出願前のできるだけ早い時期に相談してください。

修学支援の方法や内容は、障害の種類や修学環境等によって異なってきますが、少なくともどのような支援が必要になるかを把握しておくことで、入学後の対応をスムーズに進めることができます。本学では、障害学生の修学支援対応の準備時間はできるだけ多くあった方がよいとの観点から、出願前のできるだけ早い時期に、修学上の支援についてもご相談いただくことを推奨しています。

1 事前相談の時期

選 抜 の 種 類		相 談 の 期 限
一般選抜（前期日程・後期日程）		2026年1月9日（金）まで
総合型選抜Ⅰ	人文社会科学部人文社会科学科 社会科学コース	2025年7月25日（金）まで
	理工学部数学物理学科・地球環境防災学科	
	医学部医学科	
	農林海洋科学部農林資源科学科 フィールド科学コース、 農芸化学コース	
	地域協働学部地域協働学科	
国際バカロレア選抜	人文社会科学部人文社会科学科 国際社会コース	2025年12月19日（金）まで
	教育学部（幼児教育コース除く）	
	理工学部数学物理学科、生物科学科	
	農林海洋科学部農林資源科学科 フィールド科学コース、 海洋資源科学科 海洋生物生産学コース	
	医学部医学科	2025年10月3日（金）まで
学校推薦型選抜Ⅰ	全学部（一部の学科、コース等を除く）	2025年10月3日（金）まで
総合型選抜Ⅱ	農林海洋科学部農林資源科学科 フィールド科学コース	2025年10月31日（金）まで
学校推薦型選抜Ⅱ	人文社会科学部人文社会科学科 社会科学コース	2025年10月31日（金）まで
	教育学部（科学技術教育コース除く） 理工学部数学物理学科 農林海洋科学部海洋資源科学科 海洋生物生産学コース、 海底資源環境学コース、海洋生命科学コース	2025年12月19日（金）まで
	医学部医学科	2025年10月3日（金）まで
社会人選抜	理工学部	2025年10月3日（金）まで
私費外国人留学生 選抜	人文社会科学部、理工学部、医学部、 農林海洋科学部	2025年12月19日（金）まで

※ 相談期間は出願期間前になっています。出願を検討中の方は、必ずこの期日までに申請してください。

※ 試験日直前のケガ等で上記期限以降に受験上の配慮事由が生じた場合や、受験後に修学上の支援について相談したいなどの場合には期限以降でもご相談ください。

2 事前相談の方法

受験上の配慮・修学上の支援に関する事前相談の手順は、以下の(1)～(5)に従って進めてください。

※ 日常生活において、補聴器、松葉杖、車椅子等を使用している場合についても、試験における配慮の必要上、必ず事前相談してください。

(1) 電話もしくはメールによる相談

具体的に本学の受験を考える前の段階でも、受験上の配慮については「3の(1)又は(2)」の連絡先で、修学上の支援については「3の(3)」に記載のインクルージョン支援推進室で、随時、電話・メール等による相談を受け付けています。

(2) 「受験上の配慮・修学上の支援に関する申請書」等の必要書類について

障害等のある入学志願者で、受験上の配慮を必要とする場合や、入学後、修学上の支援を希望する場合は、(1)による相談のうえ、本学で対応可能な措置や申請にあたり、以下の書類を準備してください。

- ・本学所定の「受験上の配慮・修学上の支援に関する申請書」
- ・医師の診断書(可能な限り発行後3か月以内のもの)原本
- ・身体障害者手帳の写し(取得者のみ)
- ・大学入学共通テスト 受験上の配慮申請書の写し(申請者のみ)
- ・大学入学共通テスト 受験上の配慮事項決定通知書の写し(決定者のみ)
又は受験上の配慮事項審査決定通知書の写し(決定者のみ)

上記必要書類一式を「1 事前相談の時期」までのできるだけ早い時期に取り揃え、「3の(1)又は(2)」の連絡先まで提出してください。

※ 本学所定の様式は、高知大学受験生サイト(<https://nyusi.kochi-u.jp/nyushi/hairyo>)より、ダウンロードおよび印刷をしてご使用ください。

(重複した障害や様式に明確にあてはまらない障害のある方は、障害等の状況を伝えやすい申請書様式を利用してください。)

提出書類一式は、ご自身にてコピーを取ることをお勧めします。

(3) 「受験上の配慮・修学上の支援に関する申請書」への文書による回答

「受験上の配慮・修学上の支援に関する申請書」をご提出いただくことにより、本学での対応について具体的な検討を開始します。進路選択の参考になるよう、出願時までに配慮・支援の内容を検討し、入試課から文書によって回答を発送します。内容によっては、出願時までに回答できない場合や、必ずしも希望内容の全てに対応できない場合もありますので、ご了承ください。

(4) 必要に応じて個別面談

必要に応じて、本学において志願者又はその立場を代弁できる出身学校関係者等と直接面談を行います。

(5) その他

「相談の期限」(1. 事前相談の時期 参照)以降に、受験上の配慮を要する理由が生じた場合は、期限以降でも「3の(1)又は(2)」の連絡先へご相談ください。また、受験後に修学上の支援について相談したいなどの場合には、「3の(3)」に記載のインクルージョン支援推進室までご相談ください。修学上の支援が必要かどうかの意思確認を行い、必要であればその内容を一緒に考えますので、できるだけ早く連絡することを推奨します。

3 連絡先

(1) 高知大学学務部入試課

〒780-8520 高知市曙町二丁目5番1号

TEL 088-844-8153 FAX 088-844-8147

(2) 医学部

高知大学医学部・病院事務部学生課入試室
〒783-8505 南国市岡豊町小蓮
TEL 088-880-2295 FAX 088-880-2296

(3) インクルージョン支援推進室に関する情報ならびに本学の障害者支援について

高知大学学び創造センター 学生支援部門インクルージョン支援推進室
〒780-8520 高知市曙町二丁目5番1号
TEL 088-888-8037
E-mail shugakushien@kochi-u.ac.jp
URL: https://www.kochi-u.ac.jp/facilities/gakusei-shien/preuniversity_students/resources.html

(参考)

※ 受験上の配慮の例

- ・自家用車での入構、駐車場の使用
- ・別室受験
- ・試験室をトイレ又は障害者用トイレの近くに設定
- ・座席を最前列、最後列、出入り口付近に設定
- ・介助者の試験室付近までの同伴、介助者控室の準備
- ・試験時間の延長
- ・車椅子、松葉杖の使用
- ・車椅子用机の準備
- ・補聴器の使用
- ・注意事項等の文書による伝達
- ・拡大鏡の使用
- ・問題冊子、解答用紙の拡大

※ 修学上の支援の例（全ての支援を確約するものではありません）

（これまでに行った支援の例）

- ・欠席時の代替課題
- ・授業内支援（IC レコーダー使用・指示内容視覚化・資料配付・途中退室許可）
- ・教室環境（換気、教室変更）
- ・移動支援（別移動手段）
- ・試験の別室受験・支援機器利用許可
- ・スケジュール管理サポート
- ・段差にスロープ設置
- ・教室に近い場所に送迎車の駐車スペース確保

（想定される支援の例）

- ・書類提出における介助者代筆許可
- ・聴覚障害等のある学生へのノートテイクなどの情報保障
- ・視覚障害のある学生への電子ファイルや点字・拡大資料提供
- ・リスニングが難しい学生についての他の形態の授業代替
- ・教育実習、病棟実習等の実習授業における実習施設の事前見学
- ・授業、講習、行事等での休憩の許可、休憩時間の延長許可

Ⅵ 個別の入学資格審査

本学において、個別の入学資格審査により、入学資格の認定を希望される方は、次の「入学資格審査実施要項」に基づき、入学資格審査の申請をしてください。

入学資格審査実施要項

本学へ学校教育法施行規則第 150 条第 7 号(大学において、個別の入学資格審査により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18 歳に達した者)により出願する者については、事前に個別の入学資格審査を受け、入学資格を認められた場合に限り出願を認める(総合型選抜及び医学部学校推薦型選抜Ⅱを除く)ものとする。

入学資格審査については下記のとおりとする。

記

1. 対象者

大学において個別の入学資格審査を要する者

2. 審査の目安

大学入学時に 18 歳に達する者で、次の項目のいずれかに該当する場合を目安とする。

- (1) 申請者が、高等学校に相当する教育施設で 3 年以上の学習又は社会での実務経験を有する者であること。
 - ① 高等学校に相当する教育施設で 3 年以上の学習は、組織的な教育により相当の時間以上の授業によるものであることを目安とする。
 - ② 実務経験については、当該学部等の教育目的、教育課程に照らし相応する内容であることを目安とする。
- (2) 申請者が、日本の大学で科目等履修生として在籍中又は在籍した者であること。
- (3) その他、申請者が高等学校卒業と同等以上の学力を有する者と認められる者であること。

3. 提出書類

次の書類を取り揃え申請すること。

- (1) 本要項 2.(1)①に該当する者
 - ① 入学資格認定申請書(本学所定の用紙)
 - ② 当該教育施設の教育課程がわかる書類
 - ③ 卒業証明書又は卒業見込証明書
- (2) 本要項 2.(1)②に該当する者
 - ① 入学資格認定申請書(本学所定の用紙)
 - ② 学習歴等に関する申立書(本学所定の用紙)
 - ③ 最終学歴の卒業(修了)証明書
 - ④ 実務経験の期間及び内容を証明するもの
- (3) 本要項 2.(2)に該当する者
 - ① 入学資格認定申請書(本学所定の用紙)
 - ② 学習歴等に関する申立書(本学所定の用紙)
 - ③ 最終学歴の卒業(修了)証明書
 - ④ 科目等履修生の在学(在籍)証明書
- (4) 本要項 2.(3)に該当する者
 - ① 入学資格認定申請書(本学所定の用紙)
 - ② 学習歴等に関する申立書(本学所定の用紙)
 - ③ 学習歴を証明するもの

4. 審査の方法

申請者から提出される書類により、高知大学入試企画実施機構会議において審査する。

5. 申請期間及び送付先

2025 年 7 月 1 日(火)から 8 月 29 日(金)(必着)まで

ただし、令和 8 年度大学入学共通テストに出願又は受験した者は、各募集要項で指定した日まで申請することができます。申請書類を郵送する場合は必ず書留郵便とし、封筒に「高知大学入学資格認定申請書在中」と朱書きすること。

※ 送付先: 〒780-8520

高知市曙町二丁目 5 番 1 号 高知大学学務部入試課(電話 088-844-8153)

6. 審査結果の通知

審査結果は「入学資格審査結果通知書」により通知する。

7. 高知大学入学者選抜試験の出願について

「高知大学入学資格認定書」の交付を受けた者は、出願の際は必ず「高知大学入学資格認定書(写し)」を提出すること。

Ⅶ 入学試験に関する情報開示

本学では、2026 年度入学試験に関する情報を次のとおり開示します。

1 受験者の入学試験成績に関する事項

(1) 開示内容

〔人文社会科学部、教育学部、理工学部、農林海洋科学部、地域協働学部〕

・試験成績(一般選抜、学校推薦型選抜Ⅰ、学校推薦型選抜Ⅱ)

大学入学共通テスト成績の合計、個別試験等科目毎の成績、順位

〔医学部〕

・試験成績(一般選抜)

大学入学共通テスト成績の合計、個別学力試験等成績の合計

(2) 開示は、受験者本人に対して行います。(代理人には開示いたしません。)

(3) 開示請求の受付期間は、2026 年 5 月 7 日(木)から 5 月 15 日(金)までです。(土曜日、日曜日を除く 8:30～17 時)

(4) 開示の請求方法

開示は、受験者本人が上記受付期間に本学所定の「個人成績開示願書」、「本学受験票」、「大学入学共通テスト受験票」(大学入学共通テスト出願者のみ)、返信用の封筒(長形 3 号封筒に簡易書留郵便料金 460 円分の切手を貼り、受験者本人の住所・氏名を明記したもの)を郵送してください。書類に不備がある場合、成績開示は行えません。

※ 本学所定の「個人成績開示願書」は、高知大学受験生サイト(<https://nyusi.kochi-u.jp/nyushi/date>)より、ダウンロードしてください。

※ 「本学受験票」、「大学入学共通テスト受験票」はダウンロード期間が定められています。期間終了後は入手する方法がありませんので、必ず事前にご準備ください。

2 入学者選抜実施状況資料

次の情報を公表します。

(1) 志願者数、受験者数、合格者数、入学者数、追加合格者数、入学辞退者数

(2) 合格者成績情報(合格者が 10 人未満の場合は公表しません。)

〔人文社会科学部、教育学部、理工学部、農林海洋科学部、地域協働学部 : 一般選抜、学校推薦型選抜Ⅰ、学校推薦型選抜Ⅱ〕

〔医学部 : 一般選抜〕

大学入学共通テスト成績の合計、個別学力試験等成績の合計及び総得点について、それぞれの最高・最低・平均点

※ 入学者選抜実施状況資料は 2026 年 4 月中旬以降に、高知大学受験生サイト(<https://nyusi.kochi-u.jp/nyushi/date>)に公表します。

3 問題・正解・解答例、出題意図

一般選抜(前期日程)の正解・解答例、出題意図及び学力試験の問題は、2026 年 4 月以降に、高知大学受験生サイト(<https://nyusi.kochi-u.jp/nyushi/date>)に公表します。

VIII 2025年度 入学者選抜実施状況

学部	学 科・課 程 等		入 学 定 員	一 般 選 抜										総 合 型 選 抜									学 校 推 薦 型 選 抜							
				前 期 日 程					後 期 日 程					総 合 型 選 抜 I			国 際 バ カ ロ レ ア 選 抜			総 合 型 選 抜 II			学 校 推 薦 型 選 抜 I			学 校 推 薦 型 選 抜 II				
				募集人員 (人)	志願者数 (人)	受験者数 (人)	合格者数 (人)	実質倍率 (倍)	募集人員 (人)	志願者数 (人)	受験者数 (人)	合格者数 (人)	実質倍率 (倍)	募集人員 (人)	志願者数 (人)	合格者数 (人)	募集人員 (人)	志願者数 (人)	合格者数 (人)	募集人員 (人)	志願者数 (人)	合格者数 (人)	募集人員 (人)	志願者数 (人)	合格者数 (人)	募集人員 (人)	志願者数 (人)	合格者数 (人)		
人 文 社 会 学 科 学 部	人 文	人文科学コース	275	64	150	136	76	1.8	10	76	22	10	2.2									20	40	20						
		国際社会コース		A選抜	38	107	102	43	2.4	10	118	36	13	2.8					0	0										
	社会科学コース			B選抜																			23	34	24					
		A選抜												8	34	9							12	21	17					
	B選抜																						20	35	22	5	8	5		
	小 計				275	167	396	362	191	1.9	20	194	58	23	2.5	8	34	9		0	0			75	130	83	5	8	5	
教 育 学 部	学 校 教 育 教 員 養 成 課 程	幼児教育コース	130	6	14	8	6	1.3																	4	11	6			
		教育科学コース																												
		教科教育コース		54	80	61	54	1.1									0	0					14	43	14	28	35	31		
		特別支援教育コース																												
		音楽教育コース		7	6	6	6	1.0																						
		美術教育コース																												
		保健体育教育コース		6	20	17	10	1.7															6	15	6					
		科学技術教育コース		5	8	7	5	1.4										0	0											
小 計		130	78	128	99	81	1.2									0	0					20	58	20	32	46	37			
理 工 学 部	数学物理学科	数学受験	240						2	64	22	5	4.4						0	0										
		理科受験		19	54	43	22	2.0																	10	12	11			
	情報科学科	数学受験		15	33	27	22	1.2																		8	3	3		
		情報・物理受験							3	56	19	6	3.2													8				
	生物科学科	数学受験		9	17	16	11	1.5																						
		情報・物理受験		9	17	16	9	1.8																						
	化学生命理工学科	29		65	59	34	1.7	5	65	25	5	5.0					0	0						10	14	11				
	地球環境防災学科	48		110	102	57	1.8	8	72	29	8	3.6												13	23	14				
小 計		240	19	40	37	24	1.5	5	62	24	5	4.8	7	12	7							8	11	6						
医 学 部	医学科	109	59	360	225	56	4.0						30	129	30		11	8							39	65	39	18	15	14
農 林 海 洋 学 科 学 部	農 林 資 源 科 学 科	フィールド科学コース	140	40	138	127	47	2.7	15	146	52	18	2.9					0	0											
		(一般推薦)																												
	(専門推薦)																													
	(専門推薦 (高知県枠))																													
	(一般枠)																													
	(高知県枠)													10	22	11														
	(地域志向枠)													5	17	5														
	農芸化学コース	30		105	88	42	2.1	5	142	39	6	6.5																		
	(高知県枠)																													
	(地域志向枠)																													
	海洋資源科学科	65																												
	海洋生物生産学コース	18		58	46	20	2.3	7	106	37	7	5.3																		
	(一般推薦)																		0	0						6	35	7		
	(専門推薦)																									2	1	0		
海底資源環境学コース	9	9	7	7	1.0																			5	4	4				
海洋生命科学コース	14	31	27	16	1.7																			4	8	3				
小 計		205	111	341	295	132	2.2	27	394	128	31	4.1	20	42	19		0	0	5	4	4	25	31	26	17	48	14			
学 協 地 域 働 域	地域協働学科	60	35	57	51	40	1.3						15	53	16							10	17	10						
	小 計	60	35	57	51	40	1.3						15	53	16							10	17	10						
合 計			1,079	625	1,663	1,374	706	1.9	76	981	321	89	3.6	80	270	81		11	8	5	4	4	196	360	213	92	169	90		

※1. 教育科学コースは募集枠の名称であり、2年次から「国語教育・社会科教育・数学教育・理科教育・英語教育・技術教育・家庭科教育・音楽教育・美術教育・保健体育教育の各コース」のいずれかに分属されます。

※2. この募集枠は、1年次から該当コースに所属する入試を行います。

※3. 学校教育教員養成課程の学校推薦型選抜の上段は一般枠、下段は高知県枠を表します。

- ・ 社会人選抜は、志願者1名、合格者1名
- ・ 私費外国人留学生選抜は、志願者43名、合格者6名
- ・ 実質倍率＝受験者数/合格者数
- ・ 医学部医学科前期日程第1段階選抜合格者は280名
- ・ 追加合格者は含みません。

IX 2027 年度（2026 年度実施）入学者選抜の変更点（予告）

1. 人文社会科学部

人文社会科学部人文社会科学科 社会科学コース 一般選抜（前期日程）の選抜方法・配点を以下のように変更します。

2026 年度入試 選抜方法

一般選抜（前期日程）B 選抜

共通テスト 820 点

パターン 1

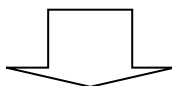
国語（1 科目）100 点、地歴・公民（2 科目）200 点（各 100 点）、数学（1 科目）200 点、理科（1 科目）100 点、外国語（1 科目）200 点、情報（1 科目）20 点

パターン 2

国語（1 科目）100 点、地歴・公民（1 科目）100 点、数学（1 科目）200 点、理科（2 科目）200 点（各 100 点）、外国語（1 科目）200 点、情報（1 科目）20 点

個別試験 400 点

小論文 400 点



【変更後】2027 年度入試

一般選抜（前期日程）B 選抜

パターン 1、2 を廃止する。

共通テスト 570 点

国語（1 科目）200 点、地歴・公民（1 科目）100 点、数学（1 科目）50 点、理科（1 科目）50 点、外国語（1 科目）150 点、情報（1 科目）20 点

個別試験 200 点

小論文 200 点

2. 教育学部

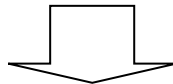
教育学部学校教育教員養成課程 一般選抜（前期日程）の個別試験「英語」において、出題範囲を以下のように変更します。

2026 年度入試 選抜方法

一般選抜（前期日程）

個別試験

外国語「英語」（論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ）



【変更後】2027 年度入試

一般選抜（前期日程）

個別試験

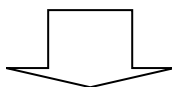
外国語「英語」（論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、**論理・表現Ⅲ**、英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ）

3. 医学部

医学部看護学科の選抜区分・出願資格・選抜方法を以下のように変更します。

2026 年度入試 選抜方法

〔一般選抜前期日程〕	募集人員	27 人
〔一般選抜後期日程〕	募集人員	6 人
〔学校推薦型選抜Ⅰ〕	募集人員	27 人
〔総合型選抜Ⅰ〕	実施せず	



【変更後】2027 年度入試

〔一般選抜前期日程〕	募集人員	30 人
〔一般選抜後期日程〕	実施せず	
〔学校推薦型選抜Ⅰ〕	募集人員	10 人
〔総合型選抜Ⅰ〕	募集人員	20 人

総合型選抜Ⅰ 出願資格及び選抜方法等

＜出願資格＞

高等学校もしくは中等教育学校を 2025 年 4 月から 2027 年 3 月までに卒業又は卒業見込みの者
(詳細は募集要項をご確認ください。)

＜選抜方法＞

大学入学共通テストは課しません。

選抜は第 1 次選抜と第 2 次選抜を行います。

第 1 次選抜では募集人員の約 3 倍を限度として、第 1 次選抜合格者として決定します。

第 1 次選抜合格者に対して、第 2 次選抜を行い、最終合格者を決定します。

(1) 第 1 次選抜 (出願書類による選抜)

出願時提出の小論文、その他出願書類の評価を総合して選抜を行います。

(2) 第 2 次選抜

態度・習慣領域評価及び面接の結果を総合して選抜します。

態度・習慣領域評価では、看護職となるのに基本的に不可欠な、長期間をかけて培われた能力を評価します。

面接は個人面接を 20 分程度で行います。

志望理由書、活動報告書は面接の資料とします。

Ⅰ 「アドミッション・ポリシー(入学者受入方針)」及び「入学者選抜方法と評価する能力」

高知大学のアドミッション・ポリシーは、学部・学科(コース)ごとに、「養成する人物像」、「求める学生像及び高等学校段階で修得すべき内容・水準」及び「入学者選抜方法と評価する能力」を示しています。

なお、「入学者選抜方法と評価する能力」では、選抜ごとの「選抜方法と評価する能力の対応表」を示します。表にある◎、○は、当該能力の重要度又はそれを評価する比重・目安を示しています(◎は必須・最重要項目、○は必要・重点項目)。なお、◎、○は配点の内訳とは直接関係はありません。

また、「主体性・多様性・協働性」は、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を示します。

なお、養成する人物像で記載されている「○○学」の具体的な内容については、各学部のホームページ等を参照してください。

人文社会科学部

■人文社会科学科

人文科学コース

【養成する人物像】

人文科学コースは、「哲学・心理学・歴史学・考古学・地理学・文学・言語学等について学び、グローバルな視点とローカルな視点の双方から、過去や現在の地域文化の特性や、人間そのものに対する考え方について、批判的な精神をもって理解し、主体的に考え、社会・文化の維持・発展に貢献できる人間」を養成します。

【求める学生像及び高等学校段階で修得すべき内容・水準】

知識・技能

1. 高等学校等で諸科目を幅広く履修し、基礎的な素養を身につけている。
2. 主として言語による、正確で論理的な表現技術を身につけている。

思考力・判断力・表現力

1. 物事を論理的にとらえ、判断し、言語で的確に表現することができる。

主体性・多様性・協働性

1. 地域の文化や地域社会の課題、人類全体に共通の普遍的な問題について、主体的に考えることができる。

関心・意欲

1. 地域の文化や地域社会の課題、人類全体に共通の普遍的な問題について関心を持ち、取り組む意欲がある。

【入学者選抜方法と評価する能力】

一般選抜(前期)

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
大学入学共通テスト		◎	○		
個別試験等	英語	○	◎		
	活動報告書			◎	○

一般選抜(後期)

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
大学入学共通テスト		◎	○		
個別試験等	面接		○	○	◎

学校推薦型選抜Ⅰ(大学入学共通テストを課さない選抜)

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
英語		◎	○		
面接			○	◎	○

国際社会コース

【養成する人物像】

国際社会コースは、「多様な視点を持って異文化・自文化を理解し、グローバル化に対する批判的考察ができる人間、また言語・文化・社会に関する専門的知識と外国語の運用能力を生かして、グローバル社会の課題解決に貢献できる人間」を養成します。

【求める学生像及び高等学校段階で修得すべき内容・水準】

知識・技能

1. 多面的価値・異文化を理解するための基礎的な素養として、高等学校卒業程度の教科学習に関する知識がある。
2. 十分な日本語力と高等学校卒業程度の外国語によるコミュニケーションの技能を有する。

思考力・判断力・表現力

1. 得られた知識を相互に関連づけて、グローバル化に対して批判的に思考し判断する能力を有する。
2. 目的や場面に応じて適切な言語とメディアを選択し、学習の成果などを発信する基礎的な力を有する。

主体性・多様性・協働性

1. 言語・文化・社会の多様性を理解しつつ、多様な人々と協働する能力を身につけている。
2. 世界の人々と積極的に関わり、地域社会に貢献する素養がある。

関心・意欲

1. 世界における多様な言語・文化・社会の問題に強い関心を持っている。
2. 世界の人々と積極的に関わり、地域社会に貢献する意欲がある。

【入学者選抜方法と評価する能力】

一般選抜(前期)

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
大学入学共通テスト		◎	○		
個別試験等	英語	○	◎		
	活動報告書			○	○

一般選抜(後期)

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
大学入学共通テスト		◎	○		
個別試験等	面接			○	◎

学校推薦型選抜Ⅰ(大学入学共通テストを課さない選抜)

選抜区分	選抜方法	評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
A選抜	小論文	○	◎		
	面接		◎	○	◎
B選抜	面接	◎	◎	○	○

国際バカロレア選抜(大学入学共通テストを課さない選抜)

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
書類審査		◎	○	○	○
面接			◎	○	◎

社会科学コース

【養成する人物像】

社会科学コースは、「経済学・経営学・会計学・法学・政治学等について複合的に学び、社会制度に関する幅広い教養と専門的能力を身につけ、社会的問題に実践的に取り組む人間」を養成します。

【求める学生像及び高等学校段階で修得すべき内容・水準】

知識・技能

1. 高等学校等で履修した科目について基礎的事項を理解している。

思考力・判断力・表現力

1. 社会に存在する諸問題の解決に、専門・学際両面から取り組むための論理的思考力と理性的判断力を有する。
2. 社会や自己を客観的にとらえることができ、自己の考えを他者に伝わるように表現することができる。

主体性・多様性・協働性

1. 社会科系の科目を積極的に学び、読書等を通じ、社会制度、社会問題に関する知識や理解力を高める習慣を獲得している。

関心・意欲

1. 経済・経営・会計・法律・政治等に関連する社会的なことからについて、主体的に課題を発見し、多面的に課題を検討して、課題の解決に取り組む意思がある。

【入学者選抜方法と評価する能力】

一般選抜(前期)A選抜・B選抜

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
大学入学共通テスト		◎	○		
個別試験等	小論文	○	◎		
	活動報告書			○	○

学校推薦型選抜Ⅰ(大学入学共通テストを課さない選抜)

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
口頭試問を含む面接		○	◎	○	○

学校推薦型選抜Ⅱ(大学入学共通テストを課す選抜)

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
大学入学共通テスト		◎	○		
個別試験等	面接		◎	○	○

総合型選抜Ⅰ(大学入学共通テストを課さない選抜)

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
第1次選抜	講義理解力試験(小論文)	○	◎		
	志願理由書		◎	○	◎
第2次選抜	※講義理解力試験(小論文)	○	◎		
	ゼミナール活動適性試験	○	◎	◎	○
	作文	○	◎	○	
	面接		◎	○	○

※第1次選抜で実施した講義理解力試験の結果を利用

教育学部

■学校教育教員養成課程

【養成する人物像】

教育学部は、「幅広い教養と教育(保育)とりわけ学校教育に関して総合的な理解を持ち、教育を深く探究して学校教育をめぐる諸課題の解決に向け適切な方策を考えることができ、確かな教育実践に必要な高い技能と豊かなコミュニケーション能力を身につけ、教育(保育)という営みや教師(保育士)という仕事に深い関心を持って主体的に探究し続けることができる人材」を育成します。

【求める学生像及び高等学校段階で修得すべき内容・水準】

知識・技能

1. 教育実践に必要な教養や教育(保育)に関する専門的な知識の修得に必要な幅広い分野の基礎知識として、高等学校卒業程度の各教科に関する知識・技能を有する。
2. これまで学んだ知識・技能を新たな学びにつなげることができる。

思考力・判断力・表現力

1. 論理的に思考する能力を有する。
2. 学習した内容を状況や課題に応じて応用する能力を有する。
3. 学習した内容や自分の意見を他者に対して適切に表現する能力を有する。

主体性・多様性・協働性

1. 主体的に課題を探究する態度を有する。
2. 課題について多様な考え方を有する態度を有する。
3. さまざまな人々と協働して課題を解決する態度を有する。

関心・意欲

1. 教育(保育)と教師(保育士)の仕事について強い関心を有する。
2. 教職への強い意欲を有する。
3. 高知県の教師(保育士)を目指す強い意志を有する(学校推薦型選抜Ⅰ・Ⅱ「高知県枠」)

【入学者選抜方法と評価する能力】

幼児教育コース

一般選抜(前期日程)

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
大学入学共通テスト		◎	○		
個別試験等	科目試験・小論文	○	◎		
	活動報告書・志願理由書			○	○

学校推薦型選抜Ⅱ(大学入学共通テストを課す選抜)

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
大学入学共通テスト		◎	○		
個別試験等	小論文	○	◎		
	集団討論		○	◎	○

教育科学・教科教育※・特別支援教育コース

一般選抜(前期日程)

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
大学入学共通テスト		◎	○		
個別試験等	科目試験・小論文	○	◎		
	活動報告書・志願理由書			○	○

学校推薦型選抜Ⅰ(大学入学共通テストを課さない選抜)

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
講義理解力試験		◎	◎		
問題解決型グループワーク		○	◎	◎	○
振り返り作文		○	◎		

学校推薦型選抜Ⅱ(大学入学共通テストを課す選抜)

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
大学入学共通テスト		◎	○		
個別試験等	小論文	○	◎		
	集団討論		○	◎	○

国際バカロレア選抜(大学入学共通テストを課さない選抜)

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
書類審査		◎	◎		○
面接			○	○	◎

※教科教育コースは募集枠の名称であり、2年次から「国語教育・社会科教育・数学教育・理科教育・英語教育・技術教育・家庭科教育・音楽教育・美術教育・保健体育教育の各コース」のいずれかに分属されます。

音楽教育・美術教育コース

一般選抜(前期日程)

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
大学入学共通テスト		◎	○		
個別試験等	実技	◎	◎		
	活動報告書・志願理由書			○	○

保健体育教育コース

一般選抜(前期日程)

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
大学入学共通テスト		◎	○		
個別試験等	実技、実技実績調べ	◎	◎		
	活動報告書・志願理由書			○	○

学校推薦型選抜Ⅰ(大学入学共通テストを課さない選抜)

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
講義理解力試験		◎	◎		
問題解決型グループワーク		○	◎	◎	○
振り返り作文		○	◎		
実技、実技実績調べ		◎	◎		

科学技術教育コース

一般選抜(前期日程)

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
大学入学共通テスト		◎	○		
個別試験等	口頭試問を含む面接	○	◎	◎	◎

国際バカロレア選抜(大学入学共通テストを課さない選抜)

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
書類審査		◎	◎		○
面接			○	○	◎

理工学部

■数学物理学科

【養成する人物像】

数学物理学科は、「数学や物理学の専門的知識の修得を通じて理学の発展・活用に寄与し、またグローバル化する社会の中で自ら課題を発見し解決する能力を身に付けることで社会に貢献できる人材」を養成します。

【求める学生像及び高等学校段階で修得すべき内容・水準】

知識・技能

- 高等学校卒業程度の教科学習に関する知識を有する。特に、専門的知識を習得するために必要な事項として、数学あるいは理科についての内容を十分に理解している。

思考力・判断力・表現力

- 筋道を立てて物事をとらえることができる。
- 知識・技能を活用して自ら課題を見出し、その解決に向けた探求心が旺盛である。
- 自分が理解している事柄をわかりやすく説明することができる。

主体性・多様性・協働性

- 問題に対し、自ら考えて解法を導くことができる。
- 課題解決に向け、多様な人々と協力する意志を持っている。

関心・意欲

- 数や図形、自然の現象等に関連する数学的な事柄に関心があり、理解を深めたり課題を解決したりする意欲がある。あるいは、自然の現象や法則に関心があり、実験等を通じて理解を深めたり課題を解決したりする意欲がある。
- 基礎理学として数学又は物理学を学ぶ意欲がある。
- 数学又は物理学を核として学びつつ、他の分野にも知見を広める意欲がある。
- 科学と社会のあり方、科学と倫理のあり方について関心がある。

【入学者選抜方法と評価する能力】

一般選抜(前期日程)

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
大学入学共通テスト		◎	○		
個別試験等	科目試験	○	◎		
	活動報告書			○	○

一般選抜(後期日程)

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
大学入学共通テスト		◎	○		
個別試験等	面接	○	◎	○	◎

学校推薦型選抜Ⅰ(大学入学共通テストを課さない選抜)

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
プレゼンテーション(数学)を含む面接		○	◎	○	◎

学校推薦型選抜Ⅱ(大学入学共通テストを課す選抜)

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
大学入学共通テスト		◎	○		
個別試験等	口頭試問を含む面接	○	◎	○	◎

総合型選抜Ⅰ(大学入学共通テストを課さない選抜)

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
第1次選抜	志願理由書・調査書	◎	○	○	○
第2次選抜	小論文に基づいた口頭試問を含む面接	○	◎	○	◎

国際バカロレア選抜(大学入学共通テストを課さない選抜)

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
書類審査		◎	○	○	○

■情報科学科

【養成する人物像】

情報科学科では、情報科学、情報工学の「計算システム科学」「ソフトウェア科学」「数理情報学」分野に関する知識及び情報処理能力を涵養し、その学習を通して論理的思考力を身に付け、さらには高度情報化社会で活躍できる人材を養成します。

【求める学生像及び高等学校段階で修得すべき内容・水準】

知識・技能

- 理工学を学ぶにあたって必要となる数学・理科・英語の基礎的事項に関して、高等学校卒業程度の知識があり理解している。
- 情報科学の専門知識を修得するために必要となる幅広い分野の基礎知識として、高等学校卒業程度の教科学習に関する事項の知識と理解及び技能を有する。

思考力・判断力・表現力

- 知識・技能を活用して自ら課題を見出し、その解決に向けた探求心が旺盛である。
- 物事の考え方や判断基準を科学的・論理的にとらえること

- が得意である。
- 自分が理解している事柄をわかりやすく説明することができる。

主体性・多様性・協働性

- 主体的に学習に取り組む習慣が身についている。
- さまざまな考え方をもち人とコミュニケーションを取り、良好な協働ができる。

関心・意欲

- コンピュータや情報通信技術、アルゴリズムやプログラミング等に関心がある。
- 情報科学の広範な学問分野を学び、高度情報化社会で活躍する意欲がある。
- 情報科学を核として学びつつ、数学や物理学にも知見を広める意欲がある。

【入学者選抜方法と評価する能力】

一般選抜(前期日程)

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
大学入学共通テスト		◎	○		
個別試験等	科目試験	○	◎		
	活動報告書			○	○

一般選抜(後期日程)

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
大学入学共通テスト		◎	○		
個別試験等	面接		○	○	○

学校推薦型選抜 I (大学入学共通テストを課さない選抜)

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
口頭試問を含む面接		○	◎	◎	◎

■生物科学科

【養成する人物像】

生物科学科は、「地球生態系から分子レベルの現象を扱う生物科学(分類学、生態学、古生物学、比較生化学、細胞生物学、生理学、分子進化学の諸分野)についての専門的な知識と野外調査・室内実験の技術を修得し、生物及び生物圏の在り方をさまざまな視点から理解し、生物多様性の保全や自然環境教育などを通じて広く社会に貢献できる人材」を養成します。

【求める学生像及び高等学校段階で修得すべき内容・水準】

知識・技能

- 理学を修得するために必要となる数学・理科・英語の基礎的事項に関して、高等学校卒業程度の知識を有する。
- 生物科学の専門知識を修得するために必要となる幅広い分野の基礎知識として、高等学校卒業程度の教科学習に関する知識があり理解している。

思考力・判断力・表現力

- 知識・技能を活用して自ら課題を見出し、その解決に向けた探求心が旺盛である。
- 物事の考え方や判断基準を科学的・論理的にとらえることが得意である。

- 自分が理解している事柄をわかりやすく説明することができる。
- 事実を客観的にとらえ、合理的な思考により判断できる。

主体性・多様性・協働性

- 科学に関する活動等で自然に親しみ、多様な人々と社会の課題解決に取り組むことができる。
- 実験や演習等に積極的に取り組むことができる。

関心・意欲

- 生物科学のさまざまな分野に興味・関心がある。
- 自然法則や科学者・科学技術者の守るべき倫理、あるいは応用的な科学を学ぶことに興味・関心がある。

【入学者選抜方法と評価する能力】

一般選抜(前期日程)

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
大学入学共通テスト		◎	○		
個別試験等	科目試験	○	◎		
	活動報告書			◎	○

一般選抜(後期日程)

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
大学入学共通テスト		◎	○		
個別試験等	面接		◎	○	◎

学校推薦型選抜 I (大学入学共通テストを課さない選抜)

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
口頭試問を含む面接		◎	◎	○	○

国際バカロレア選抜(大学入学共通テストを課さない選抜)

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
書類審査				◎	○
口頭試問を含む面接		◎	◎	○	○

■化学生命理工学科

【養成する人物像】

化学生命理工学科では、化学反応の仕組み、物質の性質や機能、細胞でおこる生命現象の仕組みを分子や原子レベルで理解するための基礎的な知識と技術を身につけます。それらを土台として、化学と生命科学分野の基礎科学研究及び環境、エネルギー、材料科学、ナノテクノロジー、バイオテクノロジー等に関連する応用研究に取り組むことで、社会で生じるさまざまな問題の解決へとつながる革新的な発見や発展に貢献できる研究者・技術者を養成します。

【求める学生像及び高等学校段階で修得すべき内容・水準】

知識・技能

1. 理工学を学ぶために必要となる幅広い分野の基礎知識として、高等学校卒業程度の教科学習に関する知識を有する。
2. 化学や生命科学の専門知識を修得するために必要となる理科・数学・英語の基礎的事項に関して、高等学校卒業程度の知識・技能を身につけ、理解している。

思考力・判断力・表現力

1. 知識・技能を活用して自ら問題点を見出し、原因の探求、解決に向けた課題設定ができる。
2. 自然現象や身近な現象を科学的に考えることができる。
3. 物事を筋道立てて考えたり、明確な基準や理由をもって判断したりすることが得意である。
4. 自分が理解している事柄を他者にわかりやすく説明することができる。

主体性・多様性・協働性

1. 自己の向上及び自身に関わるさまざまな活動の活性化のために、自ら学び、行動できる。
2. 持続可能な社会を実現するためのさまざまな課題に目を向け、化学や生命科学の領域から主体的に課題に取り組むことができる。
3. 多様な人々と協働して、学んだり、さまざまな課題に取り組んだりすることができる。

関心・意欲

1. 科学が好きで、特に化学反応や生命現象に強い関心がある。
2. 化学や生命科学の分野で、新たな法則や原理を発見したり、新たな技術、材料等を開発したりする意欲がある。

【入学者選抜方法と評価する能力】

一般選抜(前期日程)

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
大学入学共通テスト		◎	○		
個別試験等	科目試験	○	◎		
	活動報告書			◎	○

一般選抜(後期日程)

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
大学入学共通テスト		◎	○		
個別試験等	面接		◎	○	◎

学校推薦型選抜Ⅰ(大学入学共通テストを課さない選抜)

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
口頭試問を含む面接		◎	◎	○	○

■地球環境防災学科

【養成する人物像】

地球環境防災学科では、地球を作っている物質の特性、自然現象や災害が起こる仕組み、災害から命や暮らしを守る方法について教育・研究を行い、自然共生型社会の構築・発展に貢献できる人材を養成します。

【求める学生像及び高等学校段階で修得すべき内容・水準】

知識・技能

1. 理工学を学ぶにあたって必要となる数学・理科・英語の基礎的事項に関して、高等学校卒業程度の知識を有する。
2. 地球の成り立ち、自然現象の発生機構、防災の専門知識を修得するために必要な基礎的事項を理解している。
3. 実験や実習等に積極的に取り組むための知識や技能を有する。

思考力・判断力・表現力

1. 知識・技能を活用して自ら課題を見出し、その解決に向けた探求心が旺盛である。
2. 物事の考え方や判断基準を科学的・論理的にとらえることが得意である。
3. 自分が理解している事柄をわかりやすく説明することができる。

主体性・多様性・協働性

1. 自然法則や科学者・技術者の守るべき倫理、あるいは応用的な科学を主体的に学ぶことができる。
2. 科学に関する活動等で自然に親しみ、多様な人々と社会の課題解決に取り組むことができる。

関心・意欲

1. 自然との共生や国土の望ましい姿を模索・創造するための広い視野と柔軟な思考力を身に付ける意欲がある。

【入学者選抜方法と評価する能力】

一般選抜(前期日程)

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
大学入学共通テスト		◎	○		
個別試験等	科目試験	○	◎		
	活動報告書			◎	○

一般選抜(後期日程)

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
大学入学共通テスト		◎	○		
個別試験等	面接			○	◎

学校推薦型選抜Ⅰ(大学入学共通テストを課さない選抜)

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
口頭試問を含む面接		◎	◎	○	○

総合型選抜Ⅰ(大学入学共通テストを課さない選抜)

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
第1次選抜	志願理由書・調査書	○	○	○	◎
第2次選抜	理解力と思考力を問う面接	○	◎	○	◎

医学部

■医学科

【養成する人物像】

医学科は、「医師としての倫理観を持ち、良識のある社会人として行動する力」、「コミュニケーション力」、「医学に関する幅広い知識と技能」、「地域の医療へ貢献する力」及び「自ら真理の探求に取り組む力」を有する人材を養成します。

【求める学生像及び高等学校段階で修得すべき内容・水準】

知識・技能

1. 医学知識を修得するために必要となる幅広い分野の基礎知識として、高等学校卒業程度の教科学習に関する知識があり理解している。

思考力・判断力・表現力

1. 学習及び生活の中で自ら積極的に問題点をみつけ、解決方法を探求することができる。
2. 科学的根拠に基づいて問題を分析的、批判的に考え、解決することができる。
3. 自分の考えを口頭あるいは図や文章を用いて筋道を立てて明確に表現することができる。

主体性・多様性・協働性

1. 自発的で継続的な自己学習の習慣を身につけている。
2. 協調性や他者への深い思いやりがあり、周囲と良好なコミュニケーションをとることができる。
3. 多様な背景を持つ他者の能力を認め、同じ目標に向かって協働することができる。

関心・意欲

1. 生命科学や医学・医療に対する強い関心・意欲を持っている。
2. 高知県内の地域医療に従事する強い意欲がある。(一般選抜[地域枠(大学独自枠)]、学校推薦型選抜Ⅱ、総合型選抜Ⅰ)
3. 社会的な善悪に対して正しく判断し、自分の発言や行動に責任を持つことができる。

【入学者選抜方法と評価する能力】

一般選抜(前期日程)

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
大学入学共通テスト		◎	○		
個別試験等	科目試験(数・理)	○	◎		
	科目試験(外国語)	◎	○		
	面接		○	◎	◎

学校推薦型選抜Ⅱ(大学入学共通テストを課す選抜)

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
大学入学共通テスト		◎	○		
個別試験等	面接		◎	◎	◎

総合型選抜Ⅰ(大学入学共通テストを課さない選抜)

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
第1次選抜	総合問題	◎	◎		
	英語資格・検定試験	◎	◎		
第2次選抜	態度・習慣 領域評価	○	◎	◎	◎
	面接		◎	◎	◎

国際バカロレア選抜(大学入学共通テストを課さない選抜)

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
書類審査		◎	◎	○	◎
面接			◎	◎	◎

■看護学科

【養成する人物像】

看護学科は、「教養と専門知識を基盤に、人々のところに寄り添う感性と高い社会正義感を持って、看護実践能力を用いて、人々の健康と生活を支えることができる看護専門職」を養成します。同時に、「社会に生じてくるさまざまな問題を看護の視点でとらえ、多職種と協働しながら課題の解決に向かうよう自ら学びつづけ、よりよい医療・看護を実現できる革新力を備えた人材」の養成を目指します。

【求める学生像及び高等学校段階で修得すべき内容・水準】

知識・技能

1. 看護学・医学を学ぶために必要な高等学校卒業程度の知識があり、特に理科・社会・英語の基礎学力を有する。

思考力・判断力・表現力

1. 筋道を立てて物事を考え、的確な判断ができる。
2. 自分の考えや思いをわかりやすく伝えることができる。

主体性・多様性・協働性

1. 他の人と協働しながら、主体的に取り組むことができる。
2. 自ら学び、挑戦することができる。
3. 相手の立場に敬意を払い、関心を持って他の人の話を聞くことができる。

関心・意欲

1. 人と触れ合うことが好きであり、人々の健康と生活を支える専門職を目指す意欲がある。

【入学者選抜方法と評価する能力】

一般選抜(前期日程)

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
大学入学共通テスト		◎	○		
個別試験等	面接		◎	◎	◎

学校推薦型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない選抜）

選抜方法	評価する能力			
	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
総合問題	◎	○		
面接		◎	◎	◎

総合型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない選抜）

選抜方法	評価する能力			
	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
第1次選抜	書類審査	◎	◎	○
第2次選抜	態度・習慣 領域評価	○	◎	◎
	面接	○	◎	◎

農林海洋科学部

■農林資源科学科

【養成する人物像】

農林資源の有効活用による持続的社会的創造を志し、俯瞰的に問題を分析し、データに基づく論理的考察により問題の本質を把握し、実際に行動し解決できる能力を有するとともに、農林業に関わるフィールド科学または農芸化学に関する専門的な知識、並びに農林業に関わるデータサイエンスや DX の知識を併せもった持続的資源開発・利用、環境保全等の諸課題や6次産業化に対応できる実践力のある専門人材を育成します。

【求める学生像及び高等学校段階で修得すべき内容・水準】

知識・技能

- 農学分野の専門知識と技能修得や一次産業の DX に資するデータサイエンスに関する専門的な知識を修得するために必要となる、高等学校卒業程度の教科学習に関する知識・技能を有する。

思考力・判断力・表現力

- 物事を客観的にとらえることができる。
- 得られた知識及びデータに基づいて科学的・論理的思考ができる。
- 言語や数式を使って、自らの思考を適切に表現することができる。

主体性・多様性・協働性

- さまざまな人と意見交換ができる。
- 主体的に学ぶことができる。
- チームの一員として積極的に活動することができる。

関心・意欲

- 専門分野の修得について強い関心と意欲を持っている。
- DX やスマート化、先端的生物生産・利用、生産基盤の環境保全の様々な問題について高い関心を持ち、地域の課題を率先的に学び、解決に導く意欲がある。
- データサイエンスに関する専門的な知識を修得し、地域社会及び国際社会に役立つ研究・開発を行う意欲がある。

フィールド科学コース

【養成する人物像】

フィールド科学コースは、「農林業や環境保全を対象としたフィールド科学に関連する専門的知識、技術及び研究能力を有し、地域の課題を積極的に解決できる人材」を養成します。

【求める学生像及び高等学校段階で修得すべき内容・水準】

知識・技能

- 専門的知識の修得に必要な、高等学校卒業程度の教科学習に関する知識・技能を有する。

思考力・判断力・表現力

- 物事を客観的にとらえることができる。
- 得られた知識及びデータに基づいて科学的・合理的思考ができる。
- 正しい日本語、英語や数式を使って、自らの思考を適切に表現することができる。

主体性・多様性・協働性

- さまざまな人と意見交換ができる。
- 主体的に学ぶことができる。
- チームの一員として積極的に活動することができる。

関心・意欲

- 常識ある社会人として社会に貢献する熱意がある。
- 地域の課題を率先的に学び、解決に導く意欲がある。
- 専門分野の修得について強い関心と意欲を持っている。

【入学者選抜方法と評価する能力】

一般選抜（前期日程）

選抜方法	評価する能力			
	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
大学入学共通テスト	◎	○		
個別試験等	科目試験	○	◎	
	活動報告書		○	○

一般選抜（後期日程）

選抜方法	評価する能力			
	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
大学入学共通テスト	◎	○		
個別試験等	面接	◎	○	◎

学校推薦型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない選抜）

選抜区分	選抜方法	評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
一般推薦 A選抜	口頭試問を含む面接	○	◎	○	◎
一般推薦 B選抜 (地域志向枠)	小論文	◎	◎	○	○
	口頭試問を含む面接	○	◎	○	◎
専門推薦	口頭試問を含む面接	○	◎	○	◎

総合型選抜Ⅰ(大学入学共通テストを課さない選抜)

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
第1次選抜	志願理由書・調査書	○	○	○	◎
第2次選抜	模擬授業及び小論文	○	◎	○	○
	口頭試問を含む面接	○	◎	○	◎

総合型選抜Ⅱ(大学入学共通テストを課す選抜)

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
大学入学共通テスト		◎	○		
個別試験等	口頭試問を含む面接	○	◎	○	◎
	志願理由書・調査書	○	○	○	◎

国際バカロレア選抜(大学入学共通テストを課さない選抜)

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
書類審査		◎	○	○	○
面接			○	◎	◎

農芸化学コース

【養成する人物像】

農芸化学コースは、「化学的視点から生物生産を幅広く探求でき、その成果を地域社会への貢献に結びつけられる人材」を養成します。

【求める学生像及び高等学校段階で修得すべき内容・水準】

知識・技能

- 農芸化学分野、DXに関連する専門的知識を修得するために必要となる幅広い分野の基礎知識として、高等学校卒業程度の教科学習に関する知識があり理解している。

思考力・判断力・表現力

- 生命現象や食料生産の場を取り巻く生態系を化学的に観察し考察できる。
- 言語や数式を使って、自らの思考を適切に表現する基礎が身についている。
- 物事を客観的にとらえることができる。
- 得られた知識やデータに基づいて科学的・論理的に判断することができる。

主体性・多様性・協働性

- 主体的かつ真摯に学ぶことができる。
- さまざまな分野に興味を持つ多様な人々と、理科、特に化学や生物に関する意見交換ができる。
- チームの一員として主体的・積極的に活動することができる。
- 豊かな感性、高い倫理観、協調性を備えている。

関心・意欲

- 生命現象を遺伝子やタンパク質、生理的な機能を持つ化合物など、目に見えない分子レベルで解明し、我々の生活に役立つ技術開発を行う意欲がある。
- 食料生産の場を取り巻く生態系に興味を持ち、土壌・動物・植物・微生物が果たす役割について理解し、生活環境の改

善に役立てる意欲がある。

- 健康増進作用など食品が持つ多様な機能について学ぶ意欲がある。
- 生命現象、生物が生産する物質、食と健康、多様な生態系などを化学の視点から理解し、それらを利用して地域社会に役立つ研究・開発を行う意欲がある。
- データサイエンスに関する専門的知識を修得し、地域社会及び国際社会に役立つ研究・開発を行う意欲がある。
- 理科、特に化学や生物に関連する学問や研究に強い関心を持っている。

【入学者選抜方法と評価する能力】

一般選抜(前期日程)

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
大学入学共通テスト		◎	○		
個別試験等	面接		○	○	◎

一般選抜(後期日程)

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
大学入学共通テスト		◎	○		
個別試験等	面接		○	○	◎

学校推薦型選抜Ⅰ(大学入学共通テストを課さない選抜)

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
口頭試問を含む面接		○	○	○	◎

総合型選抜Ⅰ(大学入学共通テストを課さない選抜)

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
第1次選抜	志願理由書・調査書	○	○	○	◎
第2次選抜	小論文	○	◎	○	○
	面接	○	◎	○	◎

■海洋資源科学科

【養成する人物像】

海洋資源の有効活用による持続的社会的創造を志し、俯瞰的に問題を分析し、データに基づく論理的考察により問題の本質を把握し、実際に行動し解決できる能力を有するとともに、海洋生物生産、海底資源環境、または海洋生命科学に関する専門的知識、並びに海洋科学のDXに資するデータサイエンスの知識を併せもった海洋資源管理に長けた実践力のある海洋専門人材を育成します。

【求める学生像及び高等学校段階で修得すべき内容・水準】

知識・技能

- 専門的知識の修得に必要な、高等学校卒業程度の教科学習に関する知識・技能を有する。

思考力・判断力・表現力

- 「海洋資源」及び「海洋資源管理」に関する諸問題や疑問となることを理解し、解決策を探索するうえで必要となる論理的思考力、読解力を有する。
- 言語や数式を使って、自らの思考を適切に表現する基礎を身につけている。

主体性・多様性・協働性

- 「海洋資源」及び「海洋資源管理」に関心を持ち、地域社会及び国際社会に役立つ研究・開発を行いたいと考えている。
- 本学の教育研究環境を最大限活用して、自ら主体的に学び、成長しようという意志を持ち、多様な人々と協働しながら学ぶことで知を深めていこうとする能動的な姿勢を持っている。

関心・意欲

- 専門分野の修得について強い関心と意欲を持っている。

海洋生物生産学コース

【養成する人物像】

海洋生物生産学コースは、「海洋生物資源の育成・管理・利用に関する知識・技術を身につけ、“持続可能な海洋生物生産”に関わる課題を科学的な観点・思考から理解・解決できる人材」を養成します。

【求める学生像及び高等学校段階で修得すべき内容・水準】

知識・技能

- 海洋の生物生産に関する専門的な知識を修得するために必要となる高等学校卒業程度の教科学習に関して知識があり理解している。

思考力・判断力・表現力

- 科学的・論理的な思考で物事を分析しながら、解決すべき問題や方策を考えることができる。
- 言語や数式を使って、自らの思考を論理的に表現する基礎が身についている。

主体性・多様性・協働性

- 主体的に学ぶことができる。
- 異分野を含む多様な人々と協働できる。

関心・意欲

- 「海洋生物資源」及び「海洋資源管理」に関心を持ち、海洋生物資源の育成・管理・利用に関することに取り組もうとする意欲がある。

【入学者選抜方法と評価する能力】

一般選抜(前期日程)

選抜方法	評価する能力			
	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
大学入学共通テスト	◎	○		
個別試験等	面接	○	○	◎

一般選抜(後期日程):海洋資源科学科で一括募集

選抜方法	評価する能力			
	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
大学入学共通テスト	◎	○		
個別試験等	面接	○	◎	◎

学校推薦型選抜Ⅱ(大学入学共通テストを課す選抜)

選抜方法	評価する能力			
	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
大学入学共通テスト	◎	○		
個別試験等	面接	○	◎	○

国際バカロレア選抜(大学入学共通テストを課さない選抜)

選抜方法	評価する能力			
	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
書類審査	◎	◎	○	○
面接		○	◎	○

海底資源環境学コース

【養成する人物像】

海底資源環境学コースは、地学・化学・物理学の分野から、海底資源の探査、成因解明、環境保全及び利活用も視野に入れた研究・開発に貢献することができる人材を養成します。

【求める学生像及び高等学校段階で修得すべき内容・水準】

知識・技能

- 海底資源環境に関する専門的な知識を修得するために必要となる高等学校の教科、特に理科に関する基礎的な知識を有する。

思考力・判断力・表現力

- さまざまな問題について、科学的思考から総合的に判断し、行動・解決する基礎が身につけている。
- 言語や数式を使って、自らの思考を適切に表現する基礎が身につけている。

主体性・多様性・協働性

- 理科に関して主体的に学ぶことができる。
- 異分野を含む多様な人々と協調・協働できる。

関心・意欲

- 「海底資源」及び「海洋資源を管理すること」に関心を持ち、地域社会及び国際社会に役立つ研究や開発を行う意欲がある。

【入学者選抜方法と評価する能力】

一般選抜(前期日程)

選抜方法	評価する能力			
	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
大学入学共通テスト	◎	○		
個別試験等	面接	○	◎	◎

一般選抜(後期日程):海洋資源科学科で一括募集

選抜方法	評価する能力			
	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
大学入学共通テスト	◎	○		
個別試験等	面接	○	◎	◎

学校推薦型選抜Ⅱ(大学入学共通テストを課す選抜)

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
大学入学共通テスト		◎	○		
個別試験等	面接		○	◎	◎

海洋生命科学コース

【養成する人物像】

海洋生命科学コースは、「海洋で起こる生命現象や海洋生物由来の有用物質等について、生物学並びに化学的視点から幅広く探求でき、その成果を国際社会及び地域社会への貢献に結びつけられる人材」を養成します。

【求める学生像及び高等学校段階で修得すべき内容・水準】

知識・技能

1. 海洋フィールドでみられる、生命現象や海洋生物由来の有用物質や海洋資源の管理に関連する専門的知識を修得するために必要となる、高等学校卒業程度の教科学習に関する知識・技能を有する。

思考力・判断力・表現力

1. 海洋フィールドでみられる生命現象、海洋生物由来の有用物質や海洋資源の管理について、化学あるいは生物学の視点から観察し考察するための基礎的な思考力と判断力を有する。
2. 言語や数式を使って、自らの思考を適切に表現するための基礎が身についている。
3. 物事を客観的に捉えるための基礎が身についている。
4. 得られた知識やデータに基づいて科学的・論理的に判断するための基礎が身についている。

主体性・多様性・協働性

1. 海洋フィールドでみられる生命現象や海洋生物由来の有用物質に関係する知識及び最新成果について、主体的かつ真摯に学ぶための基礎が身についている。
2. 理科に関して主体性を持って学ぶことができる。
3. 異分野を含むさまざまな人々と、海洋生命科学に関連した意見交換を行い協働するための基礎が身についている。
4. 豊かな感性、高い倫理観、協調性を備えるための基礎が身についている。
5. チームの一員として主体的・積極的に活動するための基礎が身についている。

関心・意欲

1. 生物をはじめとする海洋資源、海洋フィールドでみられる生命現象、並びに海洋生物由来の有用物質について関心を持ち、生物学ならびに化学的視点から地域社会及び国際社会に役立つ研究・開発を行う意欲がある。

【入学者選抜方法と評価する能力】

一般選抜(前期日程)

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
大学入学共通テスト		◎	○		
個別試験等	科目試験	○	◎		
	活動報告書			○	○

一般選抜(後期日程):海洋資源科学科で一括募集

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
大学入学共通テスト		◎	○		
個別試験等	面接		○	◎	◎

学校推薦型選抜Ⅱ(大学入学共通テストを課す選抜)

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
大学入学共通テスト		◎	○		
個別試験等	面接		○	◎	◎

地域協働学部

■地域協働学科

【養成する人物像】

地域協働学部は、地域理解力・企画立案力・協働実践力の3つの能力を統合した「地域協働マネジメント力」を有し、多様な複雑な地域の課題を発見しその解決のための取り組みを行う中で、立場や利害を越えて人や組織などの協働を創出・促進することができる「地域協働人材」を育成します。

【求める学生像及び高等学校段階で修得すべき内容・水準】

知識・技能

1. 地域協働に関連する専門的知識を修得するために必要となる、理系・文系を問わない幅広い分野の基礎知識として、高等学校卒業程度の教科学習に関する知識・技能を有している。

思考力・判断力・表現力

1. 物事を論理的に思考する能力を有している。
2. 物事を客観的に分析し判断する能力を有している。
3. 自分の意見を口頭と文章の両面で他者に適切に伝えることができる表現能力を有している。

主体性・多様性・協働性

1. 主体的に課題の探求や解決にあたる態度を有している。
2. 課題について多様な考え方を受け入れる態度を有している。
3. 考え方や価値観の異なるさまざまな人と協働し課題の解決にのぞむ態度を有している。

関心・意欲

1. 地域社会に存在する諸課題とその実践的解決に関心を持っている。
2. 地域課題解決や地域振興に向けた協働的活動に粘り強く取り組む意欲を持っている。
3. 地域での協働的取り組みの中で自分が成長することに意欲を持っている。

【入学者選抜方法と評価する能力】

一般選抜(前期日程)

選抜方法		評価する能力			
		知識・ 技能	思考力・ 判断力・ 表現力	主体性・ 多様性・ 協働性	関心・ 意欲
大学入学共通テスト		◎	○		
個別試験等	小論文	◎	◎		○
	面接	○	◎	◎	◎

学校推薦型選抜Ⅰ(大学入学共通テストを課さない選抜)

選抜方法		評価する能力			
		知識・ 技能	思考力・ 判断力・ 表現力	主体性・ 多様性・ 協働性	関心・ 意欲
グループ活動及び 振り返り演習適性試験		○	◎	◎	◎
作文		○	◎	◎	◎
面接		○	◎	◎	◎

総合型選抜Ⅰ(大学入学共通テストを課さない選抜)

選抜方法		評価する能力			
		知識・ 技能	思考力・ 判断力・ 表現力	主体性・ 多様性・ 協働性	関心・ 意欲
第1次 選抜	講義理解力 試験	◎	◎		○
	ゼミナール 活動適性試験	○	◎	◎	◎
第2次 選抜	口頭試問を 含む面接	○	◎	◎	◎

X 学生募集要項の公表及び請求方法

1 学生募集要項の公表時期

2025 年 6 月上旬	※総合型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない選抜） [人文社会科学部、理工学部、医学部、 農林海洋科学部、地域協働学部] ※総合型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す選抜） [農林海洋科学部] ※学校推薦型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない選抜） [人文社会科学部、教育学部、理工学部、医学部、 農林海洋科学部、地域協働学部] ※学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す選抜） [人文社会科学部、教育学部、理工学部、医学部、農林海洋科学部] ※国際バカロレア選抜（大学入学共通テストを課さない選抜） [人文社会科学部、教育学部、理工学部、医学部、農林海洋科学部] ※社会人選抜 [理工学部] ※私費外国人留学生選抜（学部学生） [人文社会科学部、理工学部、医学部、農林海洋科学部]
2025 年 10 月下旬	※一般選抜（前期日程・後期日程）

2 学生募集要項等の請求方法

(1) 大学のホームページから請求する方法

大学のホームページから直接、テレメールによる資料請求ができます。

詳しくは、高知大学受験生サイト(<https://nyusi.kochi-u.jp/seikyu>)をご覧ください。

(2) テレメールによる請求方法 (24 時間受付)



<https://telemail.jp>



取扱資料名	送料(予定)	発送開始日 (予定)
大学案内	250 円	7 月中旬
人文社会科学部案内	215 円	5 月下旬
教育学部案内	180 円	7 月上旬
理工学部案内	215 円	7 月上旬
医学部案内	215 円	4 月中旬
農林海洋科学部案内	180 円	5 月下旬
地域協働学部案内	180 円	6 月中旬
高知でくらすガイドブック	180 円	7 月中旬
高知でくらすガイドブック + 大学案内	310 円	7 月中旬

※学部入試の「入学者選抜に関する要項」「一般選抜」「総合型選抜」「学校推薦型選抜」「国際バカロレア選抜」「社会人選抜」「私費外国人留学生選抜」の学生募集要項については、高知大学受験生サイト (<https://nyusi.kochi-u.jp/nyushi>) から閲覧またはダウンロードしてください。

※発送開始日以前に請求された資料は予約受付となり、発送開始日に一斉に発送します。

※資料は通常、発送日から 3～5 日で届きます。17 時 30 分までの受付は当日発送、17 時 30 分以降は翌日発送となります。

なお、地域や郵便事情によりお届けに 1 週間程度要する場合があります。

※随時発送の資料が 1 週間以上 (予約受付の資料は発送開始日から 1 週間以上) 経っても届かない場合は、テレメールカスタマーセンターまでお問合せください。

※料金は、資料に同封された料金支払い用紙の支払方法に従いお支払いください。お支払い方法は「コンビニ支払い」「スマホアプリの請求書支払い (LINE Pay、Pay Pay、au Pay)」「ゆうちょ銀行・郵便局での払込み」「ケータイ払い」「クレジットカード払い」がご利用になれます。ケータイ払い、クレジットカード払い、コンビニ支払いは、1 回分の手数料で、複数資料の料金をまとめて支払うこともできます。料金は資料の重量変更により変更される場合がありますので、予めご了承ください。

前記 (1)、(2) の請求方法についてのお問合せ先 →

テレメールカスタマーセンター
IP 電話 050-8601-0102
(9:30～18:00)

(3) 大学へ直接請求する方法

入試課の窓口（平日の 8 時 30 分から 17 時まで）で直接配付する方法以外に郵送による請求の方法があります。

<郵送による請求>

封筒の表に下記の資料名を朱書き、下記①返信用封筒と②メモを中に入れ、④請求先まで郵送してください。

① 返信用封筒（角形 2 号）

郵送に必要な郵便切手（下記③料金表を参照）を貼り、あなたの「郵便番号」「住所」「氏名」を記入してください。

② 請求資料名、連絡先等を記載したメモ

「請求資料名」「部数」「連絡可能な電話番号」を記入したメモを必ず同封してください。電話番号の情報は、請求内容についてお問合せする場合にのみ利用します。

③【送 料】

資 料 名	予定送料
大学案内	310 円
人文社会科学部案内	215 円
教育学部案内	215 円
理工学部案内	215 円
医学部案内	215 円
農林海洋科学部案内	180 円
地域協働学部案内	180 円

※学部入試の「入学者選抜に関する要項」「一般選抜」「総合型選抜」「学校推薦型選抜」「国際バカロレア選抜」「社会人選抜」「私費外国人留学生選抜」の学生募集要項については、高知大学受験生サイト（<https://nyusi.kochi-u.jp/nyushi>）から閲覧またはダウンロードしてください。

④【請求先】〒780-8520 高知市曙町二丁目 5 番 1 号

高知大学学務部入試課 TEL 088-844-8153

交通アクセス

○朝倉キャンパス(高知市曙町二丁目5番1号)

人文社会科学部・教育学部・理工学部・地域協働学部

①ＪＲで来られる方へ

ＪＲ朝倉駅	徒歩(約5分)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・▶	高知大学朝倉キャンパス
ＪＲ 高知駅	路面電車(とさでん交通、以下、省略)「高知駅前」電停で乗車(約5分)、 「はりまや橋」電停で下車、以下の①・②・③へ乗り換え	

②航空機で来られる方へ

空港連絡バス	「高知龍馬空港」で乗車(約30分)、「はりまや橋」で下車、以下の①・②・③へ乗り換え
--------	--

【乗り換え】高知市内中心部より

①路面電車 「はりまや橋」電停	「朝倉(高知大学前)」・「いの」行きに乗車(「鏡川橋」経由)(約30分)、 「朝倉(高知大学前)」下車、すぐ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・▶	高知大学 (朝倉キャンパス)
②とさでん交通バス 「堺町」バス停	「宇佐」・「高岡」・「天王ニュータウン」(いずれも朝倉駅経由)方面行きに乗車 (約25分)、 「朝倉(高知大学前)」下車、すぐ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・▶	
③県交北部交通バス 「堺町」バス停	「長沢」・「土居」(いずれも朝倉駅経由)方面行きに乗車(約25分)、 「朝倉(高知大学前)」下車・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・▶	

※発着時刻・料金は、時刻表などでご確認ください。

○物部キャンパス(南国市物部乙200)

農林海洋科学部

〔注：農林海洋科学部の一般選抜（前期日程・後期日程試験）は朝倉キャンパスで実施します。〕

①ＪＲで来られる方へ

ＪＲ 高知駅	空港連絡バス(「高知駅前観光バス」または「とさでん交通」)に乗車(約30分)し、 「高知龍馬空港」で下車後、徒歩約15分。・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・▶ タクシー(約30分)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・▶	高知大学 物部キャンパス
ＪＲ 後免駅	タクシー(約20分)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・▶	

②航空機で来られる方へ

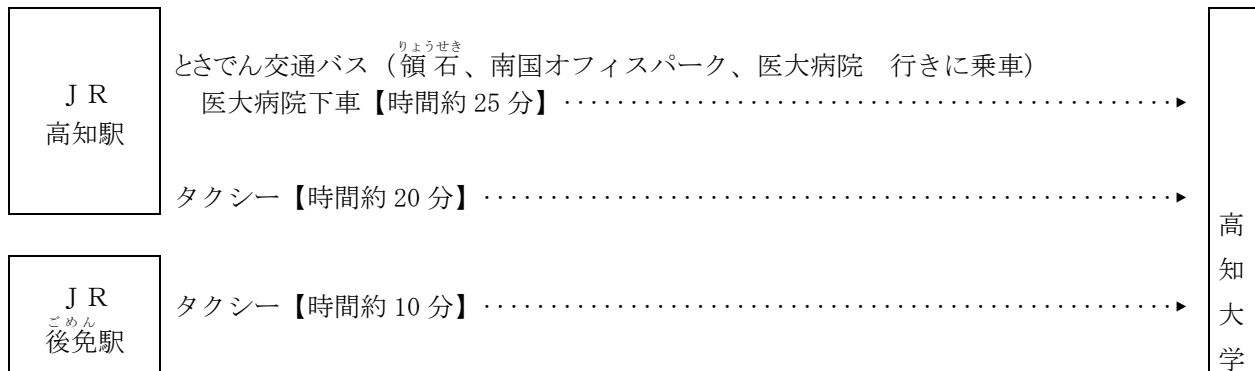
高知龍馬 空港	徒歩約15分。又はタクシー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・▶	高知大学 物部キャンパス
------------	--	-----------------

※発着時刻・料金は、時刻表などでご確認ください。

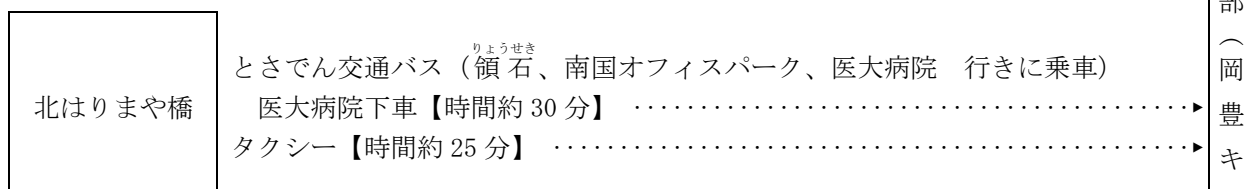
○岡豊キャンパスなんこくしおこうちょうこはす (南国市岡豊町小蓮)

医学部・附属病院

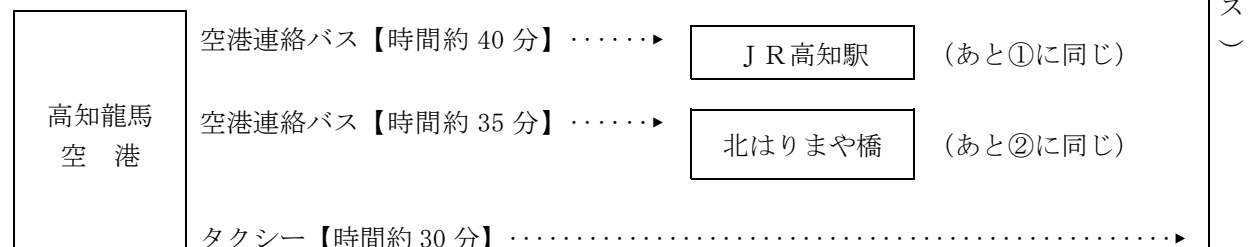
① JRで来られる方へ



② 高知市内よりバスで来られる方へ



③ 航空機で来られる方へ



発着時刻・料金は、時刻表などでご確認ください。



入 試 情 報

高知大学受験生サイト (<https://nyusi.kochi-u.jp/>) にアクセスしてください。

学部・学科等の案内は下記でもご覧いただけます。

・「マナビジョン」 (<https://manabi.benesse.ne.jp/>)

◎ 入学試験に関する問合せ先

入学試験に関することについては、月曜日～金曜日（祝日等を除く）の 8 時 30 分～17 時までの間に次のところに問い合わせてください。

高知大学学務部入試課 TEL 088-844-8153
 FAX 088-844-8147

医学部担当 TEL 088-880-2295
 FAX 088-880-2296

高知大学学務部入試課
〒780-8520 高知市曙町二丁目5番1号